

3. 評価グリッド (和文)

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法									
	大項目	小項目													
実績の検証	上位目標の達成度(見込み)	COGESによる学校運営を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する	アクセスの改善は見込めるか	【PDM指標】就学率の変化	・2006年度および2007年度の就学率(2008年度も)、修了率の州別データ	国民教育省データ	データ提供依頼								
		質の改善は見込めるか		【PDM指標】修了率の変化											
プロジェクト目標達成度	全国の小学校に機能するCOGESを設置し、維持するためのCOGES政策実施体制が強化される	COGESが設置されたか。		【PDM指標1】 民主的選挙によるCOGESの設置数	<ul style="list-style-type: none"> ・COGES設置に係る議事録提出数(州毎、タワア・ザンデル以外) ・アガデス、ニアメでCOGES設置率が低い理由 ・COGES委員の選出方法 ・民主選挙によるCOGES委員選出に対する関係者の意見 ・州別の学校活動計画提出数 ・州別の学校活動計画実施状況(%) ・学校活動計画の内容 ・資源動員量(金額等) ・計画が策定されていない理由と対策 ・住民総会の開催数、参加者数(率) ・事務局会合の開催数、参加者数(率) ・COGES委員の改選状況 ・COGESの会計報告の公表状況 	進捗報告書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメントレビュー 質問票調査(対象: COGES、サンプル数: 20程度(フェーズ1対象州・非対象州、都市部・農村部等を考慮し、4程度のコミュニティ内から10ずつ任意に抽出)) インタビュー調査								
		COGESが機能しているか。		<ul style="list-style-type: none"> 【PDM指標2】 COGESIによって策定・実施される学校活動計画数と内容(計画・実施能力) ・事務局会合・総会の開催実績 ・COGES委員の民主的選出 ・資源の動員実績 											
成果の達成度	1 機能するCOGESを全国に設置するために様々なレベルの関係者の能力が強化される	地方行政官はCOGES政策についての十分な意識と理解をもっているか。		【PDM指標1】 COGES政策に関する地方行政官の意識と理解のレベル	<ul style="list-style-type: none"> ・州教育事務所長、監督官、NGO要員対象の導入研修の実施実績(参加者数) ・経験シェアリングセミナーの実施実績(参加者、内容) ・COGES政策に対する地方行政官等(州教育事務所長、COGES監督官、県視学官、COGES担当官、NGO要員)の意識と理解のレベル 	進捗報告書 インタビュー結果 COGES政策文書	ドキュメントレビュー データ提出依頼 インタビュー								
		COGES監督官、COGES担当官等に対する研修は計画通り実施されたか。		<ul style="list-style-type: none"> 【PDM指標2】 導入研修に参加した関係者の数 【PDM指標3】 研修を受講するCOGES監督官及びCOGES担当官の数 				<ul style="list-style-type: none"> ・COGES監督官・COGES担当官 ・NGO要員に対する研修の実施実績(参加者、内容) 							
		研修実施計画は策定され、計画通り実施されたか。		【PDM指標4】 各州における研修実施計画の策定					<ul style="list-style-type: none"> ・研修実施計画の策定状況 ・計画の実施状況 						
		校長に対するCOGES選挙研修、COGES委員代表に対する学校活動計画研修は計画通り実施されたか。		【PDM指標5】 COGES選挙研修を受ける校長の数、学校活動計画研修を受講するCOGES委員代表の数						<ul style="list-style-type: none"> ・民主選挙研修を受講した校長数(州毎、タワア・ザンデル以外) ・学校活動計画研修を受講したCOGES委員数(州毎、タワア・ザンデル以外) 					
		COGES政策は改善したか。		【PDM指標6】 COGES政策の改定の有無および内容							<ul style="list-style-type: none"> ・COGES政策強化(モデルの公式化、法令制定、政策文書策定等)に関するプロセス、結果(外部評価の実施、連合モデルの承認等) 				
		2 COGESのモニタリング体制が構築される	COGES連合の設置とモニタリングに関するマニュアルが改定されているか。利用されているか。									<ul style="list-style-type: none"> 【PDM指標1】 COGES連合の設置とモニタリングに関するマニュアルの改訂 マニュアルの利用度 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル・ガイドの作成実績 	進捗報告書 インタビュー結果	データ提出依頼 インタビュー
		COGES連合モデルは公式に承認されたか。		【PDM指標2】 COGES政策におけるCOGES連合モデルの承認								<ul style="list-style-type: none"> ・COGES連合モデル承認のプロセス、結果 ・州別のCOGES連合設置議事録数 ・COGES連合への参加COGES数 ・今後のCOGES連合設置数の見込み 			
COGES連合は設置されたか。		【PDM指標3】 COGES連合が設置されるコミュニティの数													
COGES連合は機能しているか。		COGES連合の機能度	<ul style="list-style-type: none"> ①総会開催状況 <ul style="list-style-type: none"> ・総会計画数 ・総会開催数(開催率) ・総会参加COGES数 ・総会内容 ②事務局会合開催状況 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局会合計画数 ・事務局会合開催数(開催率) ・事務局会合内容 ③活動状況 <ul style="list-style-type: none"> ・連合参加COGES数 ・第1活動計画策定数(策定率) ・第2活動計画策定数(策定率) ・第2活動計画実施数(実施率) ・学校活動計画提出数(回収率) ・分担金回収状況 ・分担金徴収に係る課題・対策 ④コミュニティとの協力・連携状況 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ役場からの支援額 ・その他コミュニティとの協力実績(会合出席等) 												
COGES担当官は適切にCOGES連合をモニタリングしているか。		COGES担当官によるモニタリングの実施状況		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの実施方法、頻度、内容 ・COGES担当官によるCOGES連合、COGESIに対する技術支援の実績 											

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目				
		COGES担当官月例会議は機能しているか。	【PDM指標4】定期的なCOGES担当官月例会議の開催	・COGES担当官会議実施実績 ・会議内容、会議の有効性 ・COGES連合、COGESの課題解決につながる技術支援の実績		
		COGESIに関する情報が上層部に共有されているか。	【PDM指標5】定期的なCOGES監督官からの報告書提出	・COGES監督官による報告書作成、州教育事務所長・COGES推進室への提出状況 ・COGES連合、COGESの課題解決につながる技術支援の実績		
			【PDM指標6】学校活動計画の収集システムの構築	・レポートシステムの現状と課題、伝達される情報の内容 ・各州における収集状況 ・フィードバックの方法、フィードバックの事例		
		その他のモニタリングの仕組みはあるか。	視学官会議の実施状況	・開催の経緯 ・実施状況(頻度、参加者) ・会議内容→内容によっては成果(教育改善モデル)に位置づけた方がよいかもしれません。 ・会議の有効性、持続可能性		
3.パイロット地域(タウア州及びザンデル州)においてCOGESを通じた教育改善活動のモデルが構築される	教育改善のモデル活動の事例が整理されているか。	【PDM指標】モデル活動に関するグッド・プラクティスの収集とマニュアルの作成	・マニュアルの作成実績	進捗報告書 インタビュー結果	データ提出依頼 インタビュー	
	コミュニティ幼稚園について、普及可能なモデルが構築されたか。	モデルとしての汎用性 モデルの普及の現状と将来的な展開計画 モデルに関する5項目評価(妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性)	・UNICEF・就学前教育局との連携状況 ・コミュニティ幼稚園モデル承認の実績 ・コミュニティ幼稚園設立・運営研修実施状況 ・コミュニティ幼稚園設置状況・通園児童数(女児数) ・コミュニティ幼稚園の実施体制、運営経費、予算手当て、住民負担額(実施容易度) ・マニュアル・ガイドライン作成、経験共有の有無 ・就学前教育に関する政策文書(PDDEの記載) ・コミュニティ・利用者の意識			
	COGES連合によるフォーラム・アプローチについて、普及可能なモデルが構築されたか。	モデルとしての汎用性 (女子)就学促進キャンペーン、教育の質向上キャンペーンの有効性・持続可能性	・連合フォーラムの実施状況(頻度、出席状況、内容) ・キャンペーンの実施体制、必要経費、予算手当て(実施容易度) ・キャンペーン実施の経緯、具体的な活動内容、成果、課題 ・マニュアル・ガイドライン作成、経験共有の有無 ・キャンペーンに対する関係者の意識			
	その他COGESを通じた教育改善活動の良い事例があるか。	教育改善活動の実施状況	・APPクラブ等の活動の実施状況、活動参加者等関係者の意識			
投入の実績	日本側 A.日本人専門家派遣 1)長期専門家(4名) 2)短期専門家(必要に応じて) B.機材供与(巡回用車輛、オートバイ、その他(必要に応じて)) C.現地業務費	投入量、投入の質及び時期は計画通りか。計画と齟齬がある場合の(阻害)要因は何か。	計画と進捗の比較	時期、投入量、投入の質	進捗報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
	ニジュール側 A.カウンターパートの配置(国民教育省次官、基礎教育総局長、COGES推進室長、調査計画局長、各州国民教育局長、各県視学官) B.事務所の提供(国民教育省内事務所) C.ローカルコスト負担(NGO業務委託費用(COGES選挙研修及び学校活動計画研修実施にかかる費用、COGESのモニタリングにかかる費用))	投入量、投入の質及び時期は計画通りか。計画と齟齬がある場合の(阻害)要因は何か。	計画と進捗の比較	時期、投入量、投入の質		
前提条件	COGES政策が維持される。	COGES政策の変更の有無	教育省政策文書	教育省政策文書	ドキュメントレビュー	
実施プロセスの検証	計画の進捗状況	成果1: 機能するCOGESを全国に設置するために様々なレベルの関係者の能力が強化される。 1-1 行政責任者(州国民教育局長、県視学官等)を対象にしたCOGES政策に関する啓発セミナーを実施する。 1-2 COGES監督官及びCOGES担当官が実施する講師研修(民主的選挙、学校活動計画の策定・実施、財務管理)を支援する。 1-3 COGES推進室長、COGES監督官、COGES担当官、及びNGO要員が各州において実施する研修計画策定を支援する。 1-4 COGES監督官、COGES担当官、及びNGO要員が各州において実施するCOGES研修(選挙研修及び学校活動計画研修)をモニタリングし、技術支援を行なう。 1-5 COGES推進室長によるCOGES政策及びCOGES連合戦略の改訂を支援する。 成果2: COGESのモニタリング体制が構築される。 2-1 COGES連合の設置とモニタリングに関するマニュアルを改訂する。 2-2 COGES推進室が開催するCOGES連合モデルの政策承認に係る全国ワークショップを支援する。 2-3 COGES委員に対するCOGES連合設置研修を実施する。 2-4 COGES監督官及びCOGES担当官の開催する各州月例会議をモニタリングし、技術支援を行なう。 2-5 COGESIに関する情報伝達システム(各校から中央へ)を構築し、モニタリングを行なう。 2-6 COGESのモニタリングに係る経験共有ワークショップを開催する	達成度、達成時期などの確認及び計画との比較	達成度、達成時期 3-4「経験共有セミナー」の内容の整理	進捗報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目				
	成果3: パイロット地域(タウア州及びザンデル州)においてCOGESを通じた教育改善活動のモデルが構築される。 3-1 タウア州及びザンデル州における教育改善活動に係るニーズ調査を実施する。 3-2 タウア州及びザンデル州のパイロット校に対して、教育改善活動の実施を支援する。 3-3 教育改善活動モデルに係る経験を文書化する。 3-4 教育改善活動に係る経験共有セミナーを開催する。 活動の促進要因、阻害要因はあるか。 追加・中止された活動はあるか。またその要因は何か。					
実施体制・プロジェクト運営	プロジェクトスタッフの人数、役割分担は適当か。		・専門家・現地雇用スタッフ、NGOの人数、役割 ・COGES担当者会議のモニタリング、見返り資金活用に関して州担当制の効率性、業務負担 ・担当分野の自己評価と課題についての認識	・TOR、専門家、現地雇用スタッフ、NGOの意見	プロジェクト資料 インタビュー結果	文書レビュー インタビュー
	プロジェクト関係者間の情報共有、関係は良好か。	プロジェクトチーム内(専門家、ローカルスタッフ/NGO)の相互コミュニケーションは十分か。意思決定プロセスは適当か。	・情報共有の方法、頻度、内容	・プロジェクトチームメンバーの意見	インタビュー結果	インタビュー
		プロジェクトチームとカウンターパート(中央及び地方レベル)の相互コミュニケーションは十分か。信頼関係が醸成されているか。 合同調整委員会は機能しているか。	・情報共有の方法、頻度、内容 ・合同調整委員会の開催頻度、委員出席率、内容	・プロジェクトチームメンバーの意見 ・COGES推進局長の意見 ・州教育事務所長、COGES監督官の意見 ・会議議事録 ・会議参加者の意見	合同調整委員会議事録	文書レビュー
C/Pのオーナーシップ	CPIは主体的にプロジェクト活動を実施しているか。		C/Pの意識、活動への参加状況	・活動実績 ・関係者の意見 ・関係者の意見	進捗状況報告書 インタビュー結果	文書レビュー インタビュー
	COGES連合、COGES委員、住民は主体的に活動を実施しているか。		COGES連合事務局員、COGES委員、住民の意識			
他ドナーとの連携	他ドナーとの連携は効果的に行われたか。重複はないか。	世界銀行との連携は計画通り適切に実施されているか。必要な情報共有は行われているか。		・調整による活動の実績 ・会合の頻度 ・関係者の意見	進捗報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
		コミュニティ幼稚園にかかるUNICEFとの連携は計画通り適切に実施されているか。必要な情報共有は行われているか。		・調整による活動の実績 ・会合の頻度 ・関係者の意見		
		その他ドナーとの情報共有は行われているか。	・情報共有の対象ドナー、方法、頻度、内容	・情報共有の実績 ・関係者の意見		
JOCVとの連携	相互の情報提供や活動における連携があるか。連携による活動は有効だったか。			・連携の実績 ・関係者の意見	進捗報告書	ドキュメントレビュー
SMASSEとの連携	相互の情報提供や活動における連携があるか。連携による活動は有効だったか。			・連携の実績 ・関係者の意見	進捗報告書	ドキュメントレビュー
阻害要因及び貢献要因	活動進捗、成果達成、目標達成に阻害、貢献する要因はあるか	見返り資金による先方予算は提出されるか。提出滞りの理由は何か。対策は実施されているか。 PADEB支援によるCOGES全国普及研修が計画通りに実施されているか。遅滞の要因は何か。対策は実施されているか。 その他の阻害、貢献要因はあるか。		・見返り資金の拠出見込み、金額、時期、支出方法 ・COGES全国普及研修の実施状況 ・関係者の意見 ・関係者の意見	進捗報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
妥当性	必要性	プロジェクト目標とニジェール側(ターゲット・グループ)のニーズは一致しているか。	COGESの活動は住民・児童のニーズと合致しているか。	住民、児童の満足度 関係者の意見 住民・児童のCOGES活動への参加度・COGESの動員額	進捗報告書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメントレビュー 質問票 インタビュー
	優先度	上位目標とニジェール国家開発計画との整合性はあるか	COGESを柱の一つとして位置づけた「教育開発10か年計画」(PDDE)に変更はないか。 コミュニティに権限を委譲する地方分権化政策に変更はないか。	教育政策、地方分権化政策 PDDEの実施状況・実績 関係者の意見	PDDE 進捗報告書 専門家、COGES推進室へのインタビュー結果	ドキュメントレビュー 質問票 インタビュー
		プロジェクトと日本の援助政策、JICA国別事業実施計画との整合性はあるか	日本の対ニジェール援助重点課題、JICA国別事業実施計画に変更はないか。	日本の教育協力、対ニジェール二国間協力に関する政策文書	「ODA大綱」「ODA中期政策」等援助政策文書 JICA国別事業実施計画	
	手段としての妥当性	プロジェクトのアプローチは適切だったか	COGESの設置・機能化はニジェールの教育課題の解決に効果をあげる戦略として適切か。 ミニマムパッケージはCOGESの機能化に効果を挙げる戦略として適切か。特にCOGES担当官及びCOGES連合によるモニタリングはCOGESの機能化に効果を挙げる戦略として適切か。 地域間格差は生まれていないか		活動実績 関係者の意見 活動実績 関係者の意見 活動実績 関係者の意見	報告書 関連文書 インタビュー結果
日本の協力としての優位性はあるか		日本に対象技術のノウハウが蓄積されているか、日本の経験が活かせるか		類似案件の実績・評価 活動実績	関係文書 関係者意見	ドキュメントレビュー インタビュー
		プロジェクト目標は適切か	プロジェクト目標が達成される可能性は高いか。 プロジェクト目標指標の設定レベルは適切か。		投入・活動の実績 目標、成果の達成度 関係者の意見 現時点での達成度 上位目標との因果関係	進捗報告書 関連文書 インタビュー結果
有効性	プロジェクト目標の達成予測					
	因果関係	プロジェクトのアウトプットはプロジェクト目標達成に貢献しているか	COGES関係者の能力強化がCOGESの全国普及に貢献しているか。 COGESモニタリング体制の構築(COGES担当官、COGES連合)はCOGESの機能強化に貢献しているか。 COGESを通じた教育改善活動モデルの構築は、COGESの機能強化・定着に貢献しているか。	関係者の意見 関係者の意見	進捗報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目				
	プロジェクト目標達成を促進あるいは阻害する外部要因はあるか	校長もしくは教員等のストライキ等により学校が長期的に閉鎖状態に陥ったか。(外部条件)		ストライキによる閉鎖状況	進捗報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
		研修の効果に影響を及ぼすような大規模な人事異動(教員及び行政官)等が行なわれない(外部条件)		教員および行政官の異動状況		
	成果の達成度	成果は計画通り達成しているか。阻害要因があるとすれば何か。	実績と計画(目標値)の比較	計画の達成度、時期 関係者の意見	進捗報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
		各成果の指標の設定水準は適切か。		関係者の意見		
	因果関係	成果を産出するために十分な活動であったか	啓発セミナー、講師研修、研修計画策定支援、研修のモニタリング、COGES連合戦略の改訂支援等の活動は、COGES関係者の能力強化に寄与したか。	関連情報 関係者の意見	進捗報告書 関連文書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメントレビュー 質問票 インタビュー
		達成されたアウトプットから見て投入の質、量、タイミングは適切か。	COGES連合に関するマニュアル策定支援、COGES連合承認に関するワークショップ実施支援、COGES連合設置研修、COGES担当官月例会議に対する技術支援、情報伝達システムの構築、経験共有ワークショップ実施等の活動は、COGESのモニタリング体制構築に寄与したか。	関連情報 関係者の意見		
	プロジェクトの実施プロセスの効率性に影響を与えている要因	他のドナーとの連携による効率化が実現しているか。	世銀との連携は計画通り実施されているか。連携による費用削減効果はいくらか。	関連情報 関係者の意見	進捗報告書 関連文書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
		ローカル資源を有効に活用しているか。	UNICEFとの連携は計画通り実施されているか。連携による費用削減効果はいくらか。	UNICEFによる支出実績		
	インパクト	投入・成果の実績、活動の状況から、上位目標の達成の可能性は高いか。上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか。	現地スタッフ、既存のシステム等が有効に活用されているか。	プロジェクト支出実績	進捗報告書 関連データ インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
		上位目標達成に必要なプロジェクト以外の要因が満たされる可能性は高いか。	フェーズ1で育成された人材、構築されたシステム等が有効に活用されているか。	プロジェクト実施体制 関係者の意見		
	波及効果	面的な広がりはあるか。	他言語圏アフリカ諸国への波及効果はあるか。	周辺国に対する技術支援・経験共有の実績 プロジェクトチームの意見	報告書 関連文書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
		上位目標以外の正負の効果・影響があるか。		関係者の意見		
	自立発展性	政策・制度面	教育政策においてCOGESによる学校運営改善が今後重要な位置を占めるか。	COGES政策の将来計画、戦略 教育省の意見	進捗報告書 政策文書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー 質問票 インタビュー
		組織・財政面	教育省はプロジェクト終了後のCOGESの継続に係る戦略を持っているか。	COGES政策の将来計画、戦略 教育省の意見		
	技術面	COGES関係者の能力開発は十分に行われているか。	COGES監督官の関連研修実施能力、モニタリング能力は十分か。	活動実績及び評価結果 関係者の意見	報告書 関連文書 インタビュー結果 関係者の意見	
		COGES連合およびCOGESの維持に必要な財源は確保される見込みか。	COGES監督官の州教育局内の位置づけ、権限、体制、予算	COGES監督官の州教育局内の位置づけ、権限、体制、予算		

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目				
社会・文化・環境面		COGES連合はCOGESをモニタリングする能力(機能)を十分に備えているか。		活動実績・及び評価結果 関係者の意見		
		COGESは、活動を計画・実施する能力を十分に備えているか。		COGES活動実績 関係者の意見		
	僻地の学校との格差、都市・農村間の格差が生まれていないか。	COGES、COGES連合の収入について大きな地域間格差はないか。		関連データ 関係者の意見	データ インタビュー結果	
		コミュニティからCOGES連合への財政支援額について大きな地域間格差はみられるか。		関連データ 関係者の意見		
住民負担は、持続可能なレベルか。	動員額は、住民にとって過度な負担となっていないか。		世帯あたりの寄付額と収入に占める割合 住民の意見	関連データ インタビュー結果		
その他	軌道修正の必要性(総合的な判断)	投入・活動・成果の内容を軌道修正する必要があるか。		関連情報 関係者の意見	PDM 進捗報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
		有効性・汎用性(実施容易度)・持続可能性の観点から、普及モデルを軌道修正する必要があるか。		関連情報 関係者の意見	進捗報告書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメントレビュー 質問票 インタビュー
		PDM(指標も含め)を改訂する必要があるか。		関連情報 関係者の意見	進捗報告書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメントレビュー 質問票 インタビュー
		今後、留意していかなければならないことは何か。		関連情報 関係者の意見	進捗報告書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメントレビュー 質問票 インタビュー

4. 評価グリッド (英文)

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
Verification of Achievement Achievement of Quality and access of basic education is improved by school management through community participation. Overall Goal (prospect)	Structure to establish and sustain COGES is reinforced to make COGES effective nationwide.	Is access of basic education likely to be improved?	<p>【PDM indicator 1】 Changes in enrollment rate</p> <p>【PDM indicator 2】 Changes in completion rate</p> <p>【PDM indicator 1】 Number of schools that established COGES through democratic election</p> <p>【PDM indicator 2】 Number of COGES that develops school action plans and percentage of COGES that implement them, and contents of school action plans (capacity of COGES for planning and implementation)</p> <p>• Organizing COGES members meetings and general assemblies</p> <p>• Selecting COGES members in a democratic manner</p> <p>• Resource mobilized by COGES</p>	<p>MNE statistics</p> <p>Project progress report</p> <p>Questionnaire results</p> <p>Interviews results</p>	Requesting data	
		Is quality of basic education likely to be improved?				<p>• Number of COGES which submitted the minutes of meetings for establishing COGES in respective regions other than Taboua and Zinder.</p> <p>• Reasons for lower establishment rate in Agadez and Niamey</p> <p>• Selection processes of COGES members</p> <p>• Stakeholders' views on democratic election of COGES members</p> <p>• Number of COGES that develops school action plans in respective regions</p> <p>• Percentage of COGES that implements school action plans in respective regions</p> <p>• Contents of school action plans</p> <p>• Resources mobilized by COGES</p> <p>• Reasons for failure in planning school action plans</p> <p>• Number of organized community assemblies, number of participants and its ratio</p> <p>• Number of COGES members meetings organized and participants and its ratio</p> <p>• Status on reelection of COGES members</p> <p>• Status of disclosure of COGES financial report</p>
Achievement of Output Capacity of actors related to COGES is developed at all levels.	Do local administrators have sufficient knowledge and a keen awareness on COGES strategy?	Is COGES effective?	<p>【PDM indicator 1】 Level of understanding and awareness of local administrators on the COGES strategy</p> <p>【PDM indicator 2】 Number of related actors participated in the introductory workshop</p>	<p>Number of Directors and COGES Supervisors of Regional Office of MNE, and NGO personnel participated in introductory workshops</p> <p>Track record of sharing experience seminar (Number of participants and contents)</p> <p>Level of understanding and awareness of local administrators on the COGES strategy</p> <p>Track record of training for COGES supervisors and COGES, and NGO personnel (number of participants and contents)</p>	<p>Project progress report</p> <p>Interview results</p> <p>Policy paper on COGES</p>	<p>Document review</p> <p>Requesting data</p> <p>Interview</p>

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
		Were training plan developed and implemented as planned?	<p>【PDM indicator 3】Number of COGES supervisors and COGES officers who were trained</p> <p>【PDM indicator 4】Training plan developed for each region</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Status of developed training plan (status of implementation of training plan) 		
		Were training for principals on COGES establishment and training for COGES members on school action plan were implemented as planned?	<p>【PDM indicator 5】Number of principals who received training on COGES establishment and number of COGES members who received training on school action plan</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Number of principals who received training on democratic election in respective regions other than Taboun and Zinder • number of COGES members who received on school action plan in respective regions other than Taboun and Zinder 		
		Was COGES strategy improved?	<p>【PDM indicator 6】Improvement made in COGES strategy</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Process for strengthening COGES strategy (institutionalizing models, legislation, and formulating policy document) and its results (external evaluation and approval of COGES commune model) 		
	2. COGES monitoring system is established.	Were the manuals on establishment of COGES commune and monitoring revised? Are they used properly?	<p>【PDM indicator 1】Revision made in the manuals on establishment of COGES commune and Level of usage of revised manuals</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Revised manuals • Views of COGES officers regarding usage and appropriateness of revised manuals 	Project progress report Interview results	Requesting data Interview
	Was the COGES commune model officially endorsed by COGES strategy?	<p>【PDM indicator 2】Endorsement of the model of COGES commune</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Process and results of endorsement of the COGES commune model 			
	Were COGES communes established?	<p>【PDM indicator 3】Number of COGES communes established</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Number submitted minutes of meetings for establishing COGES communes in respective region (Program on the number of COGES communes to be established) 			

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
		Are COGES communes effective?	Degree of effectiveness of COGES communes	<ul style="list-style-type: none"> 1. Status of convening general assembly • Number of convened general assemblies and its ratio • Number of COGES participants in general assembly • Contents of general assemblies 2. Status of COGES communes members meeting • Number of COGES communes members meetings that were planned • Number of COGES communes members meetings that were actually convened and its ratio • Contents of COGES communes members meetings 3. Status of activities • Number of COGES joining COGES communes • Number of COGES communes that formulated the first activity plan and its ratio • Number of COGES communes that formulated the second activity plan and its ratio • Number of COGES communes that implemented the second activity plan and its ratio • Number of COGES communes that submitted the school activity plans to COGES communes and its ratio • Status of collecting contribution from COGES • Types and counter measures associated with collecting contribution • Status of cooperation with commune • Financial support from commune central • Other cooperation from other communes 		
	Do COGES officers monitor COGES commune properly?		Status of monitoring by COGES officers	<ul style="list-style-type: none"> • Misses frequency and amount of monitoring • Track record of technical support to COGES commune and COGES officers 		
	Are monthly meetings of COGES officers effective?		<ul style="list-style-type: none"> • PDM indicator 4 Monthly meetings are held regularly.	<ul style="list-style-type: none"> • Track record of monthly meetings • Contents and effectiveness of monthly meeting • Track record of technical support which leads to monitoring activity issued by COGES commune and COGES 		

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
		<p>Is information on COGES shared with the management?</p> <p>Are there any other monitoring system?</p>	<p>[PDM indicator 5] Report of COGES supervisors are submitted regularly.</p> <p>[PDM indicator 6] Information on school action plans compiled through the reporting system</p> <p>Status of convening inspectors meetings</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Status of submission of report prepared by COGES supervisors to regional offices and C.P. COGES • Total record of technical support which leads to additional advising issued by COGES contractors and consultants • Status and nature of current reporting systems and contents of information reported • Status of collected information in respective regions • Means and modes of feedback • Budgets/modes of organizing inspectors meeting • Frequency and participants of inspector meetings • Contents of inspectors meeting • Efficiency and sustainability of inspectors 		
3. A model of school improvement activities conducted by COGES is established in pilot regions (Tahoua and Zinder).	<p>Are model activities for school improvement processed and documented?</p> <p>Was the model of community pre-school that can be replicated established?</p>	<p>[PDM indicator] Collection of good practices and manuals of model activities</p> <p>Possibility of replication as a model</p> <p>Status of promotion of model and future plan</p> <p>Five criteria evaluation on the model (relevance, effectiveness, efficiency, impact and sustainability)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Compiled manuals • Status of collaboration with UNICEF and pre-school education department • Status of endorsement of community pre-school model • Status of training for establishment and management of community pre-school • Status of establishment of community pre-schools and number of children enrolled with data for girls • Management system of community pre-schools • Personnel level, resource mobilization, contribution from community and its affordability • Completion of manuals and guidelines and development/updates opportunities • Strategy paper on pre-school education including WPP 	<p>Project progress report</p> <p>Interview results</p>	<p>Requesting data</p> <p>Interview</p>	

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
		Was the model of forum approach by COGES communes that can be replicated established?	Possibility of replication as a model Effectiveness and sustainability of enrollment promotion campaign (for girls) and education quality improvement campaign	<ul style="list-style-type: none"> • Status of COGES commune forums (frequency, participatory and content) • Implementation mechanism of campaigns, necessary cost, resource mobilization and its affordability • Process of campaign implementation, activities, achievement and challenges • Perceptions of men and girls/teen, and sharing experiences opportunities • Views of related actors on campaign 		
		Are there any other good practices for school improvement efforts by COGES?	Track record of school improvement activities	<ul style="list-style-type: none"> • Status of implementation of AYP clubs and other activities, and • Views of participants and related actors 		
Inputs Provided	Japan side A. Dispatch of Japanese experts 1) Long-term experts (4 persons) 2) Short-term experts (if necessary) B. Provision of equipment: vehicle for monitoring, motorcycles, etc. (as necessary) C. Allocation of project implementation cost	Were inputs provided as planned in terms of quantity, quality and timing? If not, what are the factors?	Comparison between plan and progress	Timing, quantity and quality of inputs provided	Project progress report Interview results	Document review Interview

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
	<p>Niger side</p> <p>A. Assignment of the counterpart: Secretary, Director-General of Basic Education, National Coordinator of C.P., COGES, Director of Department of Studies and Programming at MNE, Regional Directors of National Education, Inspectors</p> <p>B. Provision of office at MNE compound</p> <p>C. Allocation of project implementation cost: cost associated with training for election and school activity plan, and monitoring COGES</p>	<p>Were inputs provided as planned in terms of quantity, quality and timing? If not, what are the factors?</p>	<p>Comparison between plan and progress</p>	<p>100% availability and quality of inputs provided</p>		
Prerequisite	The COGES policy exists.		Any changes in COGES policy	COGES policy document of MNE	COGES policy document	Document review
Validation of Process of the Project Implementation	Validation of Process of the Project Implementation					
Implementation of planned activities	<p>Output 1: Capacity of actors related to COGES is developed at all levels</p> <p>1-1 To hold introductory workshops for the local administrators related to COGES (ex. DRPN, Inspectors, etc.)</p> <p>1-2 To support trainers training to COGES supervisors and COGES officers on democratic election, planning and implementation of school plans, and financial management</p> <p>1-3 To support C.P. COGES, COGES supervisors, and NGO personnel on developing training plan</p> <p>1-4 To support COGES supervisors, COGES officers, NGO personnel on conducting training to establish COGES and planning and implementation of school action plans</p> <p>1-5 To support C.P. COGES to refine COGES and COGES commune</p> <p>Output 2: COGES monitoring system is established.</p> <p>2-1 To revise manuals on establishment and monitoring COGES commune</p> <p>2-2 To support C.P. COGES in holding national workshop to endorse the model of COGES commune</p> <p>2-3 To conduct training for COGES members on establishment of COGES</p>	<p>Comparison between planned and implemented activities</p>	<p>Level and timing of implemented activities (tracking and documenting the evolution of project/sharing activities)</p>	<p>Project progress report Interview results</p>	<p>Document review Interview</p>	

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods	
	Major Items	Minor Items					
Project management and implementation system	2-4	To support COGES supervisors and COGES officers on holding monthly meetings at the regional level					
	2-5	To support the development of COGES reporting system from school to national level					
	2-6	To hold workshop to share experience					
	Output 3:	A model of school improvement activities conducted by COGES is established in pilot regions (Tahoua and Zinder).					
	3-1	To conduct needs survey on school improvement activities in Tahoua and Zinder					
	3-2	To support school improvement activities in pilot schools in Tahoua and Zinder					
	3-3	To compile documents on the model of school improvement activities					
	3-4	To hold seminar to mutually share experience of school improvement activities					
	Are there any promoting and hindering factors for implementing activities?				Views of the concerned personnel		
	Are there any activities added or suspended? What are the factors?				Views of the concerned personnel Views of the counterpart (local and) Views of the concerned personnel		
Are project staff enough? Are their roles and responsibilities appropriate?				TOUR of staff Views of experts and local staff/NGO personnel	Project progress report Interview results	Document review Interview	
Are information sharing efforts and relations among actors of the Project appropriate?			<ul style="list-style-type: none"> Number, roles and responsibilities of experts, local staff/NGO personnel Efficiency and workloads of current project management system Views on staff performance and challenges Means, frequency and contents of information sharing 				
Is communication among the members (experts, local staff/NGO) sufficient? Is decision making process is appropriate?				Views of the Project team members			
Is communication between the Project team and the counterparts sufficient? Have they built mutual trust?			<ul style="list-style-type: none"> Means, frequency and contents of information sharing 	Views of the Project team members Views of the coordinator of C.P. COGES Views of the Director of regional office of IMF and COGES supervisors Views of Inspectors and COGES officers			

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
Ownership of the counterparts	Are counterparts actively involved in the project activities?	Is the Joint Coordination Committee (JCC) effective?	<ul style="list-style-type: none"> • Frequency; participation rate of members and contents of JCC • Motivation of counterparts; status of participation of counterparts in project activities • Motivation of COGES commune members, COGES members and community residents 	<ul style="list-style-type: none"> • Minutes of the JCC meetings • Views of JCC members 	Project progress report Interview results	Document review Interview
	Do COGES communes, COGES members and community residents activity implement the project activities?			<ul style="list-style-type: none"> • Implemented coordinated activities • Frequency of meetings • Views of the personnel concerned • Implemented coordinated activities • Frequency of meetings • Views of the personnel concerned 	<ul style="list-style-type: none"> • Views of the personnel concerned 	Project progress report Interview results
Relation with other donors	Was collaboration with other donors effective? Is there any duplication of activities?	<ul style="list-style-type: none"> Has collaboration with the World Bank been implemented as planned? Is necessary information shared? Has collaboration with Unicef for community pre-school been implemented as planned? Is necessary information shared? Is necessary information shared with other donors? 	<ul style="list-style-type: none"> • Targets, means, frequency and contents of information sharing 	<ul style="list-style-type: none"> • Implemented coordinated activities • Views of the personnel concerned 	Project progress report Interview results	Document review Interview
Relation with JOCV	Did the Project share necessary information and work with JOCV? Were collaborated activities effective?			<ul style="list-style-type: none"> • Track record of collaboration • Views of the personnel concerned 	Project progress report	Document review
Relation with SMASSE	Did the Project share necessary information and work with SMASSE? Were collaborated activities effective?			<ul style="list-style-type: none"> • Views of the personnel concerned 	Project progress report Interview results	Document review Interview
Preventing and promoting factors	Are there any preventing and promoting factors for progress of activities, achievement of output and project purpose?	<ul style="list-style-type: none"> Has the counterpart fund been disbursed? What are the reasons for delay in disbursement? Any counter measures taken? Have nationwide COGES establishment trainings supported by PADEB been implemented as planned? What are the reasons for delay? Any counter measures taken? Any other preventing and promoting factors? 		<ul style="list-style-type: none"> • Status of implementation of nationwide COGES establishment training • Views of the personnel concerned 	Project progress report Interview results	Document review Interview
				<ul style="list-style-type: none"> • Views of the personnel concerned 		

Continued

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods	
	Major Items	Minor Items					
Necessity	Does the Project Purpose correspond with the needs of target groups?	Do activities of COGES correspond with the needs of community residents and school children?		Degree of satisfaction of residents and children Views of the personnel concerned Degree of participation of students and children in COGES activities and resource mobilizations	Project progress report Interview results Questionnaire results	Document review Interview Questionnaire	
Priority	Does the Project Goal correspond with the Niger government national development plan?	Has the PDDE, which stipulates COGES as one of the priorities, not changed? Has the decentralization policy, which delegates power to commune, not changed?		Education policy and decentralization policy Status of implementation of PDDE Views of the personnel concerned	PDDE Project progress report Interview results	Document review Interview Questionnaire	
	Is the Project consistent with the cooperation policy of Japan and the JICA country program?	Is there any important change concerning the cooperation policy of Japan and the JICA country program after the Project started?		cooperation policy of Japan and the JICA country program	ODA Charter, ODA mid-term policy, JICA country program and etc.	Document review	
Sustainability as a Means	Is the Project approach appropriate?	Is establishment of functional COGES appropriate strategy to address the educational issues of Niger?		Track record of activities	Project progress report Document	Document review Interview	
		Is COGES minimum package appropriate strategy to make COGES effective? Is monitoring by COGES officers and COGES commune effective?		Track record of activities Views of the personnel concerned			
		Does the Project cause inequality among areas?	Is cost sharing fair? Are benefits shared equally?		Track record of activities Views of the personnel concerned		
	Does Japan have advantage in technical cooperation in this field?	Has Japan accumulated knowledge and skills in the field? Has the experience from similar projects been utilized in the Project?		Track record and evaluation of similar projects Project progress report	Document Interview results	Document review Interview	
3. Effectiveness							
Prospect of the Project Purpose Achievement	Is the Project Purpose appropriate?	Is the Project Purpose likely to be achieved?	Comparison between plan and achievement	Achievement level of Inputs, Activities, Output and Project Purpose Views of the personnel concerned	Project Progress Report Document Interview results		
		Is the level of Indicators of the Project Purpose appropriate?		Current achievement level Cause and effect relations with Overall Goal			

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
Cause and effect relations	Does the Project Output contribute to the achievement of Project Purpose?	Does capacity development of COGES related actors contribute to nationwide COGES establishment?		Views of the personnel concerned	Project Progress Report Interview results	Document review Interview
		Does establishment of COGES monitoring system (COGES officers and COGES commune) contribute to strengthening COGES?		Views of the personnel concerned		
		Does establishment of the model on education improvement activities through COGES contribute to strengthening and sustaining COGES?		Views of the personnel concerned in Tabora and Morogoro		
	Are there preventing and contributing factors for the Project Purpose?	Were schools closed for a long period due to principals and teachers' strike? (Important Assumption)		Record of school closure due to strike	Project Progress Report Interview results	Document review Interview
		Was large scale staff transfer (teachers and administrators), which affect impact of training, implemented? (Important Assumption)		Transfer of teachers and administrators		
	Did the poverty situation of households with school age children worsen? (Important Assumption)		Economy index Impact of fuel economy on school attendance			
	Any other preventing and contributing factors?		Views of the personnel concerned			
Efficiency						
Degree of Output Achievement	Is Output produced as planned? If not, what are the preventing factors?		Comparison between produced and planned output	Degree and timing of producing output Views of the personnel concerned	Project Progress Report Interview results	Document review Interview
	Is the level of Indicators of the Output appropriate?					
Cause and effect relations	Are activities effective to produce Output?	Did awareness seminar, training of trainers support to developing training plan, monitoring of training, and refining COGES commune strategy contribute to capacity development of COGES related actors?		Related information Views of the personnel concerned	Project progress report Interview results Questionnaire results Related document	Document review Interview Questionnaire

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods	
	Major Items	Minor Items					
Factors which have affected the efficiency of the implementation process of the Project	<p>Are quality, quantity, and timing of inputs suitable from the attained Outputs?</p> <p>Does the collaboration with other donors result in improving efficiency?</p> <p>Are local resources used effectively?</p>	<p>Did revising manuals on COGES commune, workshop to endorse COGES commune model, training for establishing COGES commune, holding monthly COGES officers meeting, establishment of reporting system and workshop to share experience contribute to establishment of COGES monitoring system?</p> <p>Did needs survey on school improvement activities, pilot activities, documentation of pilot activities, seminars for sharing experiences contribute to establishment of the model of school improvement activities through COGES?</p>					
		<p>Are the number, field of expertise and dispatch timing of experts appropriate?</p> <p>Are the specification, quantity, and installation timing of equipment appropriate?</p> <p>Are the field, contents, timing of the training in Japan appropriate?</p> <p>Is the local activity budget of Japanese side appropriate?</p> <p>Are the counterparts assignment and local activity budget of Niger side appropriate?</p>		<p>Record of dispatched experts Views of the personnel concerned</p> <p>The provided equipment Views of the personnel concerned</p> <p>Record of training in Japan Views of the Director, Regional Office of MNS in study</p> <p>Record of local activity budget expenses Views of the personnel concerned</p> <p>Status of counterparts assignment Status of other inputs from Niger side Views of the personnel concerned</p> <p>Expenditure by the WB</p> <p>Expenditure by Unicef</p> <p>Expenditure of the Project</p>	<p>Project progress report</p> <p>Interview results</p> <p>Related document</p>	<p>Document review</p> <p>Interview results</p>	
		<p>Is collaboration with the World Bank implemented as planned? How much cost is saved by the collaboration?</p> <p>Is collaboration with Unicef implemented as planned? How much cost is saved by the collaboration?</p> <p>Are local personnel and existing system used effectively?</p>				<p>Project progress report</p> <p>Interview results</p> <p>Related document</p>	<p>Document review</p> <p>Interview results</p>

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
	Are experiences of the phase I of the Project used effectively?	Are the personnel and established system developed in the phase I used effectively?		Project implementation structure Views of the personnel concerned Views of the personnel concerned		
	Any other contributing and preventing factors for efficiency?					
Impact						
Achievement possibility of Overall Goal	Is achievement of Overall Goal expected from the present situation of the Project? Any gap between Overall Goal and Project Purpose?			Related information Views of the personnel concerned	Project progress report Interview results Related data and document	Document review Interview results
	Is important Assumption to achieve overall goal likely to be secured?	The Niger education policy which places importance on COGES is unchanged.		Policy document on COGES Views of the personnel concerned		
Extended effects	Any preventing factors to achieve overall goal?			Views of the personnel concerned		
	Is there any expansion of effects?	Does the Project affect other Francophone African countries?		Track record of technical assistance and sharing experience with neighboring countries Views of the project team members		
	Any positive and negative impacts other than Overall Goal?			Views of the personnel concerned		
Sustainability						
Policy and System Aspects	Is there high possibility for continuation of the policy support after the cooperation period?	Will the Niger education policy which places importance on COGES be maintained?		Future strategy and plan of COGES Views of MNE	Project progress report Interview results Policy document	Document review Interview results
		Does MNE have strategy to maintain COGES after the cooperation period?				
Organization and Financial Aspects	Is the implementation system of COGES policy sustainable?	Does C.P. COGES have sufficient power, staff members and recurrent budget to formulate, control and implement COGES policy at national level?		Position, mandate, staff allocation and budget of C.P. COGES	Project progress report Interview results Policy document	Document review Interview results
		Does regional offices of MNE have sufficient power, staff members and recurrent budget to formulate, control and implement COGES policy at regional level?			Priority, mandate, and budget of COGES inspectors	
	Does inspectors, offices have sufficient power, staff members and recurrent budget to formulate, control and implement COGES policy at provincial level?			Position, mandate, and budget of COGES officers		

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

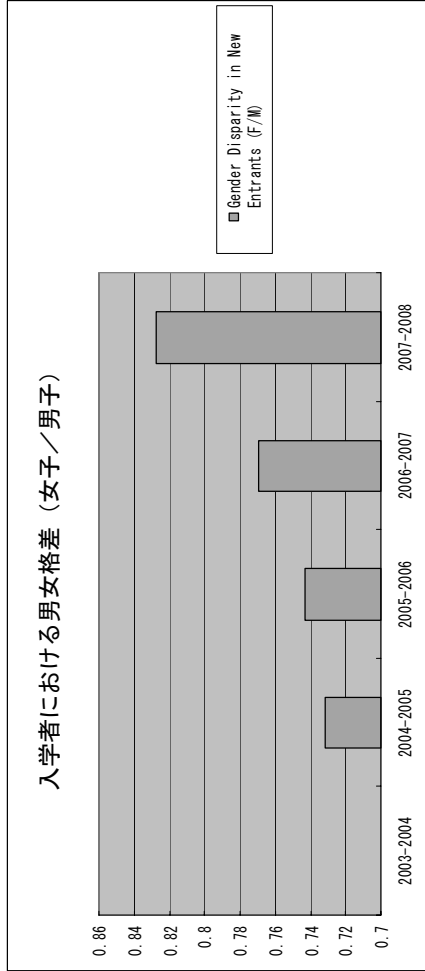
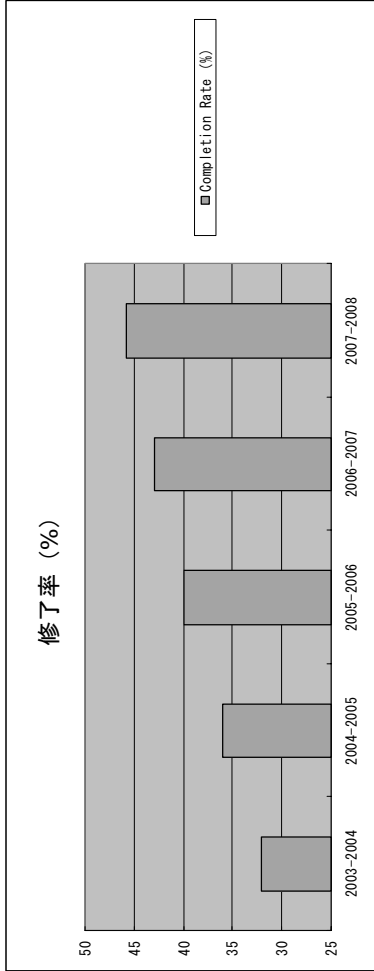
Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
		<p>Does COGES commune have sufficient power, staff members and resources to sustain and develop their activities?</p> <p>Does COGES have sufficient power, staff members and resources to sustain and develop their activities?</p> <p>Will commune council continue and expand support to COGES commune?</p>		<p>Organizational system and resource status of COGES commune</p> <p>Organizational system and resource status of COGES commune</p> <p>Status of support by commune council to COGES commune, Organizational system of commune council, and means of support provision</p>		
	<p>Is necessary budget for sustaining COGES commune and COGES likely to be secured?</p>	<p>Is it necessary to continue activities funded by Japan side and counterpart fund after cooperation period? If necessary, will the fund be likely to be secured?</p> <p>Does MNE plan to institutionalize provision of grant to COGES? Will COGES support fund be likely to be established?</p>		<p>Projected status of utilization of counterpart fund</p> <p>Views of MNE and experts</p> <p>Track record and evaluation of pilot grant activities</p> <p>Views of MNE and experts</p>		
Technical Aspects	<p>Are actors related to COGES equipped with sufficient capacity?</p>	<p>Do COGES supervisors have sufficient capacity to conduct training and monitoring?</p> <p>Do COGES officers have sufficient capacity to conduct training and monitoring?</p> <p>Do COGES communes have sufficient capacity for monitoring COGES?</p> <p>Does COGES have sufficient capacity to plan and implement activities?</p>		<p>Track record and evaluation of initiatives</p> <p>Views of the personnel concerned</p>	<p>Project progress report</p> <p>Interview results</p> <p>Related document</p>	
Society, Culture, and Environmental Aspects	<p>Does the gap between schools in remote area and other areas, and schools in urban area and rural area increase?</p>	<p>Are there large geographical gap in revenue of COGES and COGES commune?</p> <p>Are there large geographical gap in funding support from commune council to COGES commune?</p>		<p>Related data</p> <p>Views of personnel concerned</p>	<p>Related data</p> <p>Interview results</p>	

Mid-term Evaluation Grid: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Evaluation Items	Evaluation Questions		Basis for Judgment	Data Needed	Data Sources	Data Collection Methods
	Major Items	Minor Items				
	Is financial contribution from community sustainable?	Is resources mobilized by community affordable level?		Per household contribution and its percentage to income Views of residents	Related data Interview results	
Others						
Necessity for revision of project design	Is it necessary to revise inputs, activities and output?			Related information Views of (parental) community	PDM Project progress report Questionnaire results Interview results	Document review Questionnaire Interview
	Is it necessary to revise the models with respect to effectiveness, replication (simple mess) and sustainability					
	Is it necessary to revise PDM including indicators?					
	What are the points that need attention in the remaining period of implementation?					

評価グリッド プロジェクトの実績

評価項目	必要な情報・データ(指標)	調査結果																								
<p>上位目標の達成度</p> <p>COGES による学校運営を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【PDM 指標】就学率の変化 【PDM 指標】修了率の変化 入学総登録率の変化 入学者のジェンダー格差の変化 	<ul style="list-style-type: none"> フェーズ I が開始された 2004 年以降、国民教育省とドナーの協力の結果、ニジェールにおける基礎教育の質とアクセスに関する指標には、下表のとおり改善が見られる。 国民教育省と JICA は、プロジェクトを通じた COGES の設置と機能化が教育指標の改善に大きく貢献しているという認識を共有した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="544 241 940 1207"> <p>総就学率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Gross Enrolment Ratio (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2003-2004</td><td>47</td></tr> <tr><td>2004-2005</td><td>49</td></tr> <tr><td>2005-2006</td><td>51</td></tr> <tr><td>2006-2007</td><td>53</td></tr> <tr><td>2007-2008</td><td>63</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="970 241 1345 1207"> <p>入学総登録率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Gross Registration Ratio of New Entrants (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2003-2004</td><td>50</td></tr> <tr><td>2004-2005</td><td>55</td></tr> <tr><td>2005-2006</td><td>60</td></tr> <tr><td>2006-2007</td><td>65</td></tr> <tr><td>2007-2008</td><td>75</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	Year	Gross Enrolment Ratio (%)	2003-2004	47	2004-2005	49	2005-2006	51	2006-2007	53	2007-2008	63	Year	Gross Registration Ratio of New Entrants (%)	2003-2004	50	2004-2005	55	2005-2006	60	2006-2007	65	2007-2008	75
Year	Gross Enrolment Ratio (%)																									
2003-2004	47																									
2004-2005	49																									
2005-2006	51																									
2006-2007	53																									
2007-2008	63																									
Year	Gross Registration Ratio of New Entrants (%)																									
2003-2004	50																									
2004-2005	55																									
2005-2006	60																									
2006-2007	65																									
2007-2008	75																									



Source: Annual Statistics, MEN

プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：全国の小学校に機能する COGES を設置し、維持するための COGES 政策実施体制が強化される。

- 【PDM 指標 1】 民主的選挙による COGES の設置数

- 新規対象 6 州において世界銀行による PADEB の財政支援により国民教育省が実施した COGES 設置研修の後、2008 年 2 月までに 6,577 校（計画の 97.08%）が民主的に COGES を設置し、COGES 設置に関する議事録を県視学官事務所に提出した。

	総小学校数	COGES 設置に係る議事録を提出した学校数 ¹	提出率
Agadez	364	237	65.11%
Diffa	425	425	100.00%
Dosso	1,795	1,795	100.00%
Maradi	1,868	1,868	100.00%
Niamey	453	360	79.47%
Tillaberi	1,870	1,892	101.18%
計	6,775	6,577	97.08%

Source: EPT Project Team

- 【PDM 指標 2】 COGES によって策定・実施される学校活動計画数と内容 (COGES の計画・実施能力)

- 新規対象州の COGES の機能度は改善の余地がある。2007-2008 年度の第一フェーズからの対象州であるタウア、サンテールの学校改善計画の提出率は 89.48%であるのに対して、新規対象 6 州の提出率の平均値は 55.24%にとまっている。この結果、全国平均値は 66.41%と低い。

	学校数	学校活動計画を提出した学校数	提出率	データ更新時期
Tahoua	1,435	1,264	88.08%	February 2008
Zinder	1,824	1,652	90.57%	February 2008
Agadez	311	264	84.89%	March 2008
Diffa	425	330	77.65%	March 2008
Dosso	1,802	1,147	63.65%	March 2008
Maradi	1,902	1,093	57.47%	March 2008
Niamey	453	159	35.10%	March 2008
Tillaberi	1,834	723	60.58%	March 2008
全国	9,986	6,632	66.41%	

¹ この議事録は、COGES 委員が民主的な過程を経て選出されたことを証明する記録である。すなわち、議事録提出率は、COGES の民主的設置率と解釈できる。

タウア・ザンデール	3,259	2,916	89.48%
新規対象6州	6,727	3,716	55.24%

Source: EPT Project Team

- 下記の表に示すとおり、COGES の機能度を示す上記以外の指標も、新規対象州のひとつであるドッソンの中間評価調査によるサンプル調査²の結果は、タウア、ザンデールでのサンプル調査³ならびフェーズ1終了時の調査結果⁴と比べて、低いことを示している。特に動員額が低い。

	計画された活動数の平均値	実施された活動数の平均値	COGES 委員会合の年間開催数の平均値	住民総会の年間開催数の平均値	動員額の平均値 (Fctfa)
ドッソンのサンプル調査結果	5.78	4.22	3.67	2.11	85,256
タウア、ザンデールでのサンプル調査結果	5.67	5.17	10.3	3.17	198,279
2005-2006 年度タウア	6.67	5.93	N/A	N/A	208,586

Source: EPT Project Team

成果の達成度

1. 機能する COGES を全国に設置するために様々なレベルの関係者の能力が強化される

- 【PDM 指標 1】 COGES 政策に関する地方行政官の意識と理解のレベル

- インタビュー調査によって第一フェーズ対象州および新規対象州において州教育事務局長、COGES 監督官、COGES 担当官は、COGES 政策を理解し、COGES 政策を実施するための計画を策定・実施する能力を有していることが確認された。COGES 担当官は、COGES 委員に対する研修を実施し、COGES 活動をモニターし、COGES に対する技術支援を行っている。COGES 担当官会議は地方教育行政官の能力向上に寄与している。

- 評価チームは、ザンデールで行われている視察官会議を見学する機会を得た。州教育事務所が会議の議長を務めており、参加した視察官は COGES 政策実施に強い意志を示していることが確認された。

² 2009 年 2 月に実施した。サンプル数は 9。

³ 2009 年 2 月に実施した。サンプル数は 6。

⁴ フェーズ 1 終了時評価報告書より。

	<ul style="list-style-type: none"> • 【PDM 指標 2】導入研修に参加した関係者の数 	<ul style="list-style-type: none"> • タウアコミュニケーションの視察官は、COGES 連合による COGES のモニタリングのために視察官用の車両を貸与している。 • 以下のワークショップ、セミナーが実施され、州教育事務所長 (DREN)、COGES 監督官、県視学官、COGES 担当官の能力が強化された。 <table border="1" data-bbox="352 203 890 1227"> <thead> <tr> <th data-bbox="352 1070 405 1227">開催時期</th> <th data-bbox="352 842 405 1070">研修名</th> <th data-bbox="352 472 405 842">主な内容</th> <th data-bbox="352 203 405 472">参加者 (人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="405 1070 501 1227">07 年 6 月</td> <td data-bbox="405 842 501 1070">導入研修</td> <td data-bbox="405 472 501 842">COGES 政策、民主選挙</td> <td data-bbox="405 203 501 472">DREN(8)、COGES 監督官(8)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="501 1070 596 1227">07 年 9 月</td> <td data-bbox="501 842 596 1070">経験共有セミナー</td> <td data-bbox="501 472 596 842">民主選挙研修の実施報告</td> <td data-bbox="501 203 596 472">DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="596 1070 692 1227">07 年 9 月</td> <td data-bbox="596 842 692 1070">導入研修</td> <td data-bbox="596 472 692 842">学校活動計画、財務管理</td> <td data-bbox="596 203 692 472">COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="692 1070 788 1227">08 年 3 月</td> <td data-bbox="692 842 788 1070">経験共有セミナー</td> <td data-bbox="692 472 788 842">学校活動計画策定研修、民主選挙研修の実施報告</td> <td data-bbox="692 203 788 472">DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="788 1070 890 1227">08 年 10 月</td> <td data-bbox="788 842 890 1070">経験共有セミナー</td> <td data-bbox="788 472 890 842">COGES 連合設置研修計画の策定、フォーラム・アプローチによるキャンペーンの結果報告</td> <td data-bbox="788 203 890 472">DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> • 上記表のとおり、すべての州の 8 名の COGES 監督官ならびに 51 名の COGES 担当官が研修を受講した。 	開催時期	研修名	主な内容	参加者 (人数)	07 年 6 月	導入研修	COGES 政策、民主選挙	DREN(8)、COGES 監督官(8)	07 年 9 月	経験共有セミナー	民主選挙研修の実施報告	DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)	07 年 9 月	導入研修	学校活動計画、財務管理	COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)	08 年 3 月	経験共有セミナー	学校活動計画策定研修、民主選挙研修の実施報告	DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)	08 年 10 月	経験共有セミナー	COGES 連合設置研修計画の策定、フォーラム・アプローチによるキャンペーンの結果報告	DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)
開催時期	研修名	主な内容	参加者 (人数)																							
07 年 6 月	導入研修	COGES 政策、民主選挙	DREN(8)、COGES 監督官(8)																							
07 年 9 月	経験共有セミナー	民主選挙研修の実施報告	DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)																							
07 年 9 月	導入研修	学校活動計画、財務管理	COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)																							
08 年 3 月	経験共有セミナー	学校活動計画策定研修、民主選挙研修の実施報告	DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)																							
08 年 10 月	経験共有セミナー	COGES 連合設置研修計画の策定、フォーラム・アプローチによるキャンペーンの結果報告	DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)																							
	<ul style="list-style-type: none"> • 【PDM 指標 3】研修を受講する COGES 監督官及び COGES 担当官の数 • 【PDM 指標 4】各州における研修実施計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> • すべての州で研修実施計画が策定された。 																								

- 【PDM 指標 5】COGES 選挙研修を受ける校長の数、学校活動計画研修を受講する COGES 委員代表の数

	計画時の参加予定者数	参加した校長数	参加率
Agadez	364	364	100.00%
Diffa	425	425	100.00%
Dosso	1802	1795	99.61%
Maradi	1868	1868	100.00%
Niamey	493	453	91.89%
Tillaberi	1860	1870	100.54%
計	6,812	6,579	99.46%

Source: EPT Project Team

- フェーズ 2 から新規に対象となった 6 州で、13,267 名の COGES 委員 (計画の 98.54%) が学校活動計画策定に関する研修を受講した。州別内訳は下表のとおり。なお、研修実施経費は世銀が支援した。

	計画時の参加予定者数	参加した COGES 委員数	参加率
Agadez	728	622	85.44%
Diffa	850	769	90.47%
Dosso	3608	3604	99.89%
Maradi	3736	3748	100.32%
Niamey	984	916	93.09%
Tillaberi	3558	3608	101.41%
計	13,464	13,267	98.54%

Source: EPT Project Team

- ドイツおよびタイペリでの COGES 委員に対するインタビュの結果、研修は有効で役に立つものであったことが確認された。
- 二つの改善が行われた。第一に、2008 年 7 月に国民教育省が主催したワークショップにおいて COGES 連合モデルが公式に承認された。2008 年 10 月には、COGES 連合 (FCC) の設立、役割、組織についての教育省省令が公布された。省令には COGES 連合は COGES のモニタリングについての明確な機能と役割が明記された。
- 第二に、2008 年 8 月に国民教育省が主催した国レベルのワークショップにおいて機能する COGES によって運営されるコミュニティ幼稚園が公式のモデルとして採用された。

- 【PDM 指標 6】COGES 政策の改定の有無および内容

<p>2 COGES のモニタリング体制が構築される</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【PDM 指標 1】COGES 連合の設置とモニタリングに関するマニュアルの改訂 マニュアルの利用度 	<ul style="list-style-type: none"> COGES 連合の設置とモニタリングに関するマニュアルやガイドが計画通り、下記のとおり開発、改定された。 <ol style="list-style-type: none"> FCC 設置のための研修マニュアル (revised in October, 2008) FCC 設置のためのトレーナー用ガイド (developed in October, 2008) COGES 活動のモニタリングガイド (developed in October, 2008) COGES 担当官会議開催のためのガイド (developed in October, 2008) FCC 設立のための選挙実施ガイド (developed in December, 2008) これらのマニュアル類の利用度については、タウア、ザンデール、ドゥンでの COGES 監督官および担当官に対する調査の結果、マニュアル類は有効で役に立っていることが確認された。 2008 年 7 月に国民教育省が主催したワーキンググループにおいて COGES 連合モデルが公式に承認された。2008 年 10 月に COGES 連合 (FCC) の設立、役割、組織についての教育省省令が公布された。省令では COGES 連合は COGES のモニタリングについての明確な機能と役割が明記された。 																	
<ul style="list-style-type: none"> 【PDM 指標 3】COGES 連合が設置されるコミュニケーションの数 COGES 連合の機能度 	<p>1) タウアとザンデール</p> <ul style="list-style-type: none"> フェーズ 1 実施中に 99 の COGES 連合が設立された。見返り資金運用開始の遅れによって COGES 担当官によるモニタリングが中断された期間、COGES 連合の機能低下が確認された。モニタリング再開後、一部機能は回復したが、下表のとおり、2008-09 年度の機能度は 2007-2008 年度に比べて、透明性と COGES モニタリング機能に影響する総会・事務局会合の実施回数に低下が見られる⁵。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事務局会合実施回数 (平均)</th> <th>総会実施回数 (平均)</th> <th>学校活動計画回収率</th> <th>前年度学校活動計画実施総括回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tahoua</td> <td>7.0 08-09 1.2</td> <td>2.8 0.5</td> <td>88.1% 33.5%</td> <td>N/A 43.7%</td> </tr> <tr> <td>Zinder</td> <td>7.3 08-09 N/A</td> <td>3.8 0.6</td> <td>90.6% 50.4%</td> <td>N/A N/A</td> </tr> </tbody> </table>		事務局会合実施回数 (平均)	総会実施回数 (平均)	学校活動計画回収率	前年度学校活動計画実施総括回収率	Tahoua	7.0 08-09 1.2	2.8 0.5	88.1% 33.5%	N/A 43.7%	Zinder	7.3 08-09 N/A	3.8 0.6	90.6% 50.4%	N/A N/A		
	事務局会合実施回数 (平均)	総会実施回数 (平均)	学校活動計画回収率	前年度学校活動計画実施総括回収率															
Tahoua	7.0 08-09 1.2	2.8 0.5	88.1% 33.5%	N/A 43.7%															
Zinder	7.3 08-09 N/A	3.8 0.6	90.6% 50.4%	N/A N/A															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第 2 活動計画策定率</th> <th>第 2 活動計画策定数 (平均)</th> <th>第 2 活動計画実施数 (平均)</th> <th>資源動員量 (平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tahoua</td> <td>100% 08/09 25.0%</td> <td>2.8 N/A</td> <td>2.5 N/A</td> <td>500,202 Fcfa N/A</td> </tr> <tr> <td>Zinder</td> <td>100% 08/09 9.1%</td> <td>2.3 N/A</td> <td>2.3 N/A</td> <td>201,712 Fcfa N/A</td> </tr> </tbody> </table>			第 2 活動計画策定率	第 2 活動計画策定数 (平均)	第 2 活動計画実施数 (平均)	資源動員量 (平均)	Tahoua	100% 08/09 25.0%	2.8 N/A	2.5 N/A	500,202 Fcfa N/A	Zinder	100% 08/09 9.1%	2.3 N/A	2.3 N/A	201,712 Fcfa N/A	<p>Source: EPT Project Team</p>		
	第 2 活動計画策定率	第 2 活動計画策定数 (平均)	第 2 活動計画実施数 (平均)	資源動員量 (平均)															
Tahoua	100% 08/09 25.0%	2.8 N/A	2.5 N/A	500,202 Fcfa N/A															
Zinder	100% 08/09 9.1%	2.3 N/A	2.3 N/A	201,712 Fcfa N/A															

⁵ 2007-2008 年のデータは、2008 年 2 月時点のもの、2008-2009 年度のデータは 2008 年 12 月時点のもので活動がまだ実施中である。

	<ul style="list-style-type: none"> ザンデールおよびタウアでの4つのFCCに対するインタビュー調査の結果、FCCによって以下の成果が得られていることが確認された。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 女子就学促進のための啓発キャンペーン ✓ 親とCOGESおよび学校との間に起きた対立の仲裁 ✓ 学習達成度向上 ✓ COGESのモニタリングならびに指導 調査により、FCC事務局員のやる気は高いことが確認された。COGES事務局員のやる気の高さの要因としてCOGESメンバーから選挙で選出されていることがあげられた。これは、選挙は民主的なFCC運営を保証するだけでなく、事務局員のやる気を高める効果もあることを示している。 <p>2)新規対象6州</p> <ul style="list-style-type: none"> 2008年10月から09年1月にかけて、アガデスを除く5州の149コミュニティでCOGES連合設置研修が実施され、6,423のCOGES(計画の99.4%)が受講した。現在までに5州で67のCOGES連合が設立された。なお、アガデスに関しては治安状況悪化のため、COGES連合設置研修の実施が見合わされている。
<ul style="list-style-type: none"> 地方行政官によるモニタリング 	<ul style="list-style-type: none"> タウアとザンデールではCOGES担当官が定期的にCOGES連合を巡回し、モニタリングを実施している。 新規6州ではCOGES担当官が定期的にCOGESを巡回し、モニタリングを実施してきた。ただし、移動手段となるバイクの供与の遅れのために、モニタリング活動に支障が出ている。
<ul style="list-style-type: none"> 【PDM指標4】定期的なCOGES担当官月例会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> タウア、ザンデールでは、COGES担当官月例会議は定期的に行われており、COGES担当官がCOGES担当官を監督・支援している。ただし、見返り資金運用開始の遅れによって、COGES担当官によるモニタリングは、2008年10月と11月に一時中断された。この時期は、新学期初めにあたることからCOGESモニタリングを行う上で重要な時期であった。 新規6州では、COGES連合設置研修実施後、COGES担当官月例会議が実施されるようになっていく。
<ul style="list-style-type: none"> 【PDM指標5】定期的なCOGES監督官からの報告書提出 	<ul style="list-style-type: none"> 国民教育省COGES推進室長によるとタウア、ザンデール、新規6州ともにCOGES監督官が州教育事務所にCOGES活動についての報告書を提出し、その後、州教育事務所長は、国民教育省次官に報告書を提出している。
<ul style="list-style-type: none"> 【PDM指標6】学校活動計画の収集システムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> タウア、ザンデールではFCCはCOGES活動のモニタリングの一環としてCOGESによる学校活動計画の収集を行っている。成果2の指標3で述べたように、見返り資金の拠出の遅れのためCOGES担当官によるFCCのモニタリング活動が停滞したため、FCCによる学校活動計画の収集率が低下した。
<ul style="list-style-type: none"> 【PDM指標】モデル活動に関するグッド・プラクティスの収集とマニュアルの作成 機能するCOGESが運営主体となる 	<ul style="list-style-type: none"> 確認された主要なグッド・プラクティスとして、COGESが設立・運営するコミュニティ幼稚園、COGES連合ならびに教育行政が主導するフォーラム・アプローチ、視学官会議の開催があげられる。これらのグッド・プラクティスの普及モデルとしての可能性を以下に述べる。 2006年にタウアの3COGESに導入され、コミュニティの高いニーズが確認されたコミュニティ
<p>3.パイロット地域(タウア州及びザンデール州)においてCOGESを通じた教育改善活動のモデルが構築される。</p>	

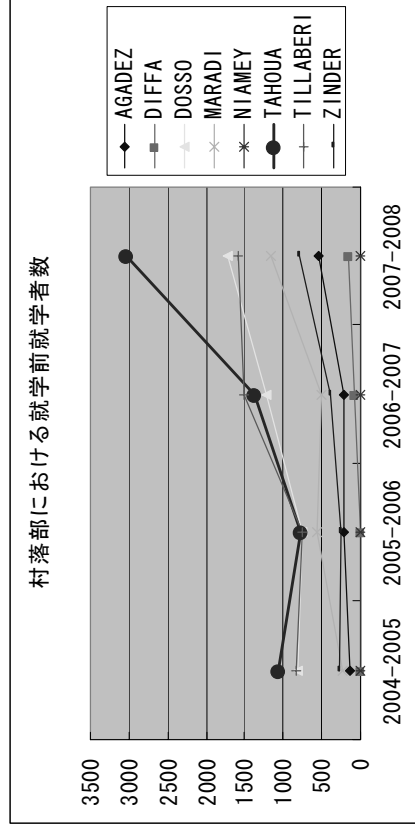
コミュニティ幼稚園

コミュニティ幼稚園は、UNICEF との連携のもと、下表のとおり、急速に拡大していった。2008 年 8 月には機能する COGES が運営主体となるコミュニティ幼稚園モデルが公式モデルとして承認された。

	コミュニティ幼稚園数	幼稚園園児数	園児のうち女児の比率	
2007/08	Tahoua	27	2,131	50.4%
	Zinder	23	1,299	50.7%
	Total	50	3,430	50.5%
2008/09 (as of Feb 2009)	Tahoua	55	N/A	N/A
	Zinder	55	N/A	N/A
	Total	110	N/A	N/A

Source: EPT Project Team

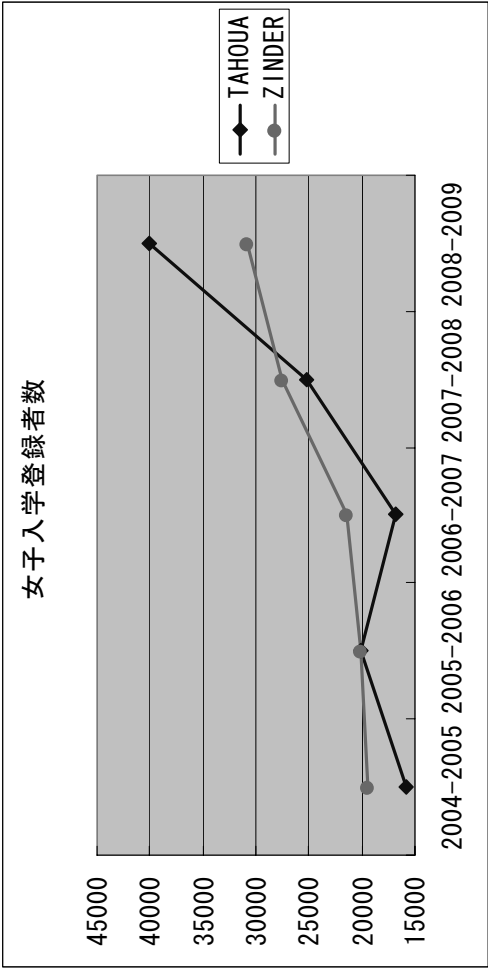
- 2007-08 年度の農村部就学前教育就学率において、コミュニティ幼稚園が最初に導入されたタウアが全国 1 位となり、インパクトが確認された。



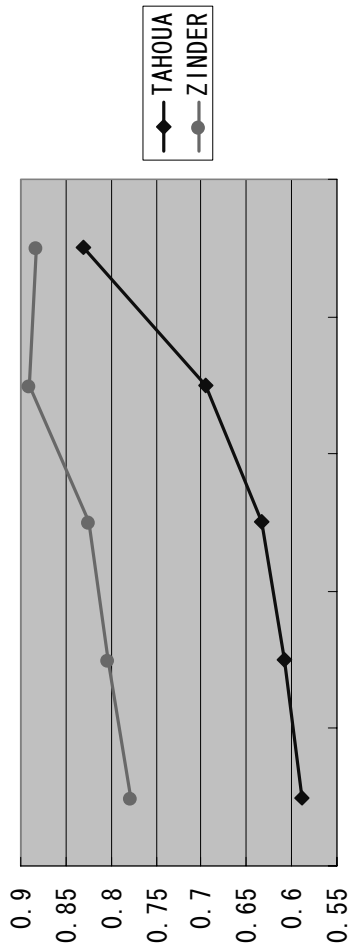
Source: Annual Statistics, MEN

- 23 のコミュニティ幼稚園が設置されたタウア州イレラ県では、初等教育入学者の男女比（女児数/男児数）が 0.77（2007-08 年度）から 0.95（2008-09 年度）に改善された。
- コミュニティ幼稚園モデルに関する簡易 5 項目評価の結果、妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性のいずれも高いことが確認された（? 参照）。ただし、自立発展性に影響すると考えられるモニタリングについては効果的・効率的なシステムの構築には至っていない。
- タウア、ザンデールでは、インタビュー調査の結果、COGES が設置、運営するコミュニティ

	<p>幼稚園は以下のとおり普及モデルとして確立していることが確認された。コミュニティ幼稚園のニーズは非常に高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ COGES 設置・運営によるコミュニティ幼稚園は児童、親のニーズに応えている。 ✓ コミュニティ幼稚園の経常経費は、コミュニティによって負担されており、COGES 運営によるコミュニティ幼稚園は財政的に自立しているとともに効率的であることを示している。コミュニティ幼稚園設置に伴う外部からの投入（投資経費）は、就学前局による教員に対する技術面の養成研修、ユニセフによる教材ミニマムパッケージの供与、プロジェクトによる運営面の研修のみである。 ✓ コミュニティ幼稚園は児童、親、コミュニティに対して非常に大きなポジティブなインパクトを与えている。
<ul style="list-style-type: none"> • フォーラム・アプローチ 	<ul style="list-style-type: none"> • タウア、ザンデールにおいて、フォーラム・アプローチに基づいたキャンペーンが実施され、以下のとおり目覚ましい成果をあげた。 (ア) 女子就学促進キャンペーン ザンデールでは2007年5月から、タウアでは2008年4月から女子就学促進キャンペーンが実施され、下図のとおり女子入学登録者数が大幅に増加した。また、入学登録者における男女比率（女子数/男子数）についても、ザンデールは大きく改善された2007-08年度以降高い水準を維持しており、タウアも2008-09年度に目覚ましい改善が見られた。



新規入学登録者における男女格差（女子／男子）



2004-2005 2005-2006 2006-2007 2007-2008 2008-2009

Source: Annual Statistics, MEN

(イ) 教育の質向上キャンペーン

2008年1月から教育の質向上キャンペーンが実施されたザンデールは、2007-08年度の初等修了試験合格率が前年度から13.2ポイント改善され、全国1位となった。

	(a) 2006-2007				(b) 2007-2008 (*PROVISIONAL)				(b) - (a)	
	Present	Pass	%	Rank	Present	Pass	%	Rank	Pont	Rank
Agadez	4,676	2,608	55.8%	1	5,088	2,916	57.3%	2	+1.5	6
Diffa	2,768	1,404	50.7%	3	3,156	1,725	54.7%	4	+4.0	5
Dosso	23,720	11,791	49.7%	4	25,567	12,552	49.1%	7	-0.6	7
Maradi	29,279	11,895	40.6%	7	35,134	13,847	39.4%	8	-1.2	8
Niamey	16,673	8,088	48.5%	5	18,107	10,351	57.2%	3	+8.7	4
Tahoua	23,720	6,495	27.4%	8	26,054	12,946	49.7%	6	+21.3	1
Tillabéri	22,790	10,010	43.9%	6	22,242	11,948	53.7%	5	+9.8	3
Zinder	19,471	10,608	54.5%	2	24,471	16,569	67.7%	1	+13.2	2
TOTAL	143,097	62,899	44.0%		159,819	82,854	51.8%			

Source: Annual Statistics 2008, MEN for the data of 2006-2007.

	<ul style="list-style-type: none"> • フォーラム・アプローチについての教育行政官に対するインタビュー結果は、フォーラム・アプローチは全国に普及されるべきモデルとして確立していることを以下のとおり示している。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 「プロジェクトの貢献の一つがフォーラムである。COGES はコミュニティ、教育行政、コミュニティから強力なコミットメントを引き出すことができるまで十分に成長した。フォーラムは他州に普及されるべきであると確信している。フォーラムが成功する要因は、すべてのステークホルダーからコミットメントを引き出すことと結果を重視することである。したがって、フォーラムは目標が達成されるまで終了したとは言えない」。(ザンデール州教育事務所長) ✓ 「女子就学キャンペーンが成功した理由は FCC、COGES、教育行政が共同でコミットしたからである。フォーラムはモデルとして既に確立され、他州に普及される準備は整ったと確信している。今後はコミュニティを巻き込み、彼らに成果を示すことによって、コミュニティから FCC に対する支援が増加することにつながると考えられる」。(ザンデールの COGES 監督官) ✓ 「フォーラムは就学率を向上し、教育の質を改善するという成果をあげた。しかしながら、FCC は COGES に依存しており、COGES は貧困にあえいでいるコミュニティに依存していることを忘れてはならない。したがって、フォーラムの有効性を持続するためには、継続的な啓発活動による住民動員が維持されることが鍵だ。そうすればコミュニティ長のコミットメントも得られるだろう」。(ザンデール、グレ県、COGES 担当官) ✓ 「フォーラムは絶対に他州に普及されるべきである。効果的なフォーラムの鍵は、フォーラムでの決議が FCC、COGES を通じて住民に確実に伝えられることである。また、コミュニティ、コミュニティ長、コミュニティ議会、伝統的指導者に対する巻き込みには改善の余地があると考えられる」。(タウアの COGES 監督官)
<ul style="list-style-type: none"> • 視察官会議 	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクトは PDDE プロセスの促進、COGES 政策実施における視察官の巻き込みを目的に、ザンデールで 2008 年 1 月に、タウアで 2008 年 4 月に視察官会議を開始し、2008 年 9 月より月例会議化した。視察官会議の有効性が示されたため、国民教育省は 2009 年 1 月に大臣が全国の DREN 宛に書簡を送り、視察官会議の定期開催を制度化した。 • ザンデールでの月例視察官会議の観察結果から、視察官会議は COGES 実施を含む PDDE プロセスについての情報交換、課題解決のための意見交換のために有効に機能していることが確認された。 • 視察官会議に対するプロジェクトからの財政支援は行われておらず、視察官会議の財政的持続性は保証されていることを示している。

投入の実績

投入

日本側
 A. 日本人専門家派遣
 1) 長期専門家 (4名)
 2) 短期専門家 (必要に応じて)
 B. 機材供与 (巡回用車輜、オートバイ、その他 (必要に応じて))
 C. 現地業務費

以下の投入が行われた。
 A. 日本人専門家派遣
 1) 長期専門家 (4名)

No	分野	派遣開始	派遣終了
1	チーフアドバイザー/教育アドバイザー	1 Aug 2007	1 Aug 2008
2	チーフアドバイザー/教育アドバイザー	25 Jun 2008	present
3	COGES モニタリング	1 Aug 2007	29 Mar 2008
4	学校活動計画	27 Sep 2007	present
5	業務調整/住民能力強化	1 Aug 2007	present
6	COGES モニタリング	10 Mar 2008	present

2) 短期専門家

No	分野	派遣開始	派遣終了
1	地方教育行政	2 Jan 2008	26 Feb 2008

注: 詳細はミニッツの ANNEX 1-1 を参照

B. 機材供与

プロジェクト実施に必要な機材が供与され、供与額は 2009 年 2 月の暫定値で 17,599,000 円である。詳細はミニッツの ANNEX 1-2 を参照。

C. 現地業務費

2009 年 2 月の暫定値で 102,064,000 円が供与された。

D. 研修生受入

「教員養成課程における教育改善方法の検討 (仏語圏アフリカ) コース」にカウンターパート 2 名が参加した。詳細は、ミニッツ ANNEX 1-3 を参照。

A. カウンターパートの配置

ミニッツ ANNEX 1-4 を参照。

B. 事務所の提供

プロジェクトは独自にプロジェクト事務所を開設した。

ニジエール側

A. カウンターパートの配置 (国民教育省次官、基礎教育総局長、COGES 推進室長、調査計画局長、各州国民教育局長、各県視学官)

	<p>B. 事務所の提供(国民教育省内事務所)</p> <p>C. ローカルコスト負担(NGO 業務委託費用(COGES 選挙研修及び学校活動計画研修実施にかかる費用、COGES のモニタリングにかかる費用)</p>	<p>C. ローカルコスト負担</p> <p>COGES 全国普及のための研修のための費用は、計画通り世界銀行/PADEB による支援によって国民教育省が負担した。しかしながら、COGES 担当官のモニタリングのための経常経費は、見返り資金拠出の遅れのために2009年2月まで負担されなかった。そこで、プロジェクトは2008年12月ならびに2009年1月のタウア、ザンデーレ州での COGES 担当官会議の費用を負担した。</p>
<p>前提条件</p>		
<p>COGES 政策が維持される。</p>	<p>COGES 政策の変更の有無</p>	<p>• COGES 政策は、2008年10月に発表された FCC 設置に関する省令によって強化された。</p>

実施プロセスの検証

評価項目	必要な情報・データ(指標)	調査結果
計画の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに活動は実施されたか。 	<ul style="list-style-type: none"> PDM に記載されている活動は以下の2つの活動以外は適切に計画とおり実施された。一つは、PDM の2-3の活動、「COGES 委員に対するCOGES 連合設置研修を実施する」である。この活動はCOGES 連合モデルが正式に承認された後の2008年5月の開始が予定されていたが、国民教育省によるCOGES 連合の評価調査の実施が遅れ、国民教育省によるCOGES 連合モデルの承認が2008年7月まで延びたため、連合設置研修の実施が2008年10月まで遅れた。 実施が遅れた2つめの活動はPDM の2-4の活動、「COGES 監督官とCOGES 担当官の開催する各州月例会議をモニタリングし、技術支援を行う」である。この活動は新規6州において2008年2月の開始が予定されていた。しかしながら、見返り資金の拠出の遅れのため2009年1月まで延期された。さらに、見返り資金拠出の遅れにより、タウア、ザンデールでのCOGES 担当官月例会議も2008年10月、11月は中断された。 P0と実施された活動の対比についてはAnnex4を参照。
プロジェクト運営実施体制	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトスタッフは十分か。彼らの役割と責任は適切か。 プロジェクトチーム内(専門家、ローカルスタッフ/NGO)の相互コミュニケーションは十分か。意思決定プロセスは適切か。 プロジェクトチームとカウンタート(中央及び地方レベル)の相互コミュニケーションは十分か。信頼関係が醸成されているか。 合同調整委員会(JCC)は機能しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 2008年10月から2009年1月に実施された活動2-3、「COGES 委員に対するCOGES 連合設置研修を実施する」は、各州への頻繁な出張が必要なため、専門家およびニジェール人スタッフの業務量を増大させた。残りの協力期間の中心的な活動が、各州でのCOGES 担当官会議のモニタリングを通じた能力強化であることを鑑みると、一定の期間、ニジェール人スタッフを各州に配置することが適切であると考えられる。 上述の理由により、業務量の増大に伴い、プロジェクトスタッフ間のコミュニケーションが阻害された。対策として、プロジェクトは、週例会議の開催を2009年1月から実施しており、コミュニケーション不足は解消するものと期待される。 国民教育省COGES 推進室およびタウア、ザンデール、ドツンのDREN に対するインタビュー結果は、プロジェクトチームとカウンタート間のコミュニケーションは十分であり、相互の信頼関係が醸成されていることを示している。 合同調整委員会は計画よりも1回多い4回開催されている。JCC はプロジェクトの進捗状況のレビュー、情報交換の場として有効に機能している。またCOGES 活動の成功および失敗事例をシェアするためにJCC の前後に経験共有セミナーが開催されている。 CP に対するインタビュー結果は、彼らは主体的に活動に参加していることを示している。たとえば第一フェーズの際ザンデールの視察官だったドツンのDREN は、ドツンでのCOGES の普及への強い意志を持っている。
カウンタートパートナーシップ	<ul style="list-style-type: none"> CPは主体的にプロジェクト活動を実施しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> CP に対するインタビュー結果は、彼らは主体的に活動に参加していることを示している。たとえば第一フェーズの際ザンデールの視察官だったドツンのDREN は、ドツンでのCOGES の普及への強い意志を持っている。

	<ul style="list-style-type: none"> COGES 連合、COGES 委員、住民は主体的に活動を実施しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューを行ったほとんどの COGES 委員、FCC 委員はやる気を十分にもち、主体的に活動に従事している。たとえば、タウア、イレラ県のコツリ COGES の会計担当委員は、「COGES は頭に載せて運ぶ木のようなものだ。誰かが運んでくれるとありがたいが、誰も運ばないなら自分がやる。そうすれば誰かが必ず助けてくれる」と述べている。また同じ COGES の会長は、「収穫さえよければ COGES はなんでもできる」と述べている。
他ドナーとの連携	<ul style="list-style-type: none"> 世界銀行との連携は計画通り適切に実施されているか。必要な情報共有は行われているか。 コミュニティ幼稚園にかかるとの連携は計画通り適切に実施されているか。必要な情報共有は行われているか。 その他ドナーとの情報共有は行われているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 後述の 5 項目評価の調査結果を参照。 ユニセフおよび国民教育省就学前局との月例会議が、2008 年 5 月に調印された協定に基づいて実施されている。詳細は、後述の 5 項目評価の調査結果を参照。
JOCV との連携	<ul style="list-style-type: none"> 相互の情報提供や活動における連携があるか。連携による活動は有効だったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育ならびに COGES についての定期的なドナー調整会合は開かれていない。プロジェクトは必要に応じて他ドナーとの協議を行っている。たとえば、マラディ州での FCC の設立ならびに機能化支援にあたっては、現地の状況に精通しているオランダの NGO、SNV との連携が進められている。 タウアで 2007 年 11 月から 12 月、2008 年 10 月、11 月に JOCV が実施した APP クラブについての研修に対してプロジェクトはトレーナーを派遣した。視学官事務所配属されている JOCV 村落開発隊員が、プロジェクトと JOCV の間の協力を促進して、APP クラブ研修を実施した。研修を組織した JOCV 隊員は、「COGES が取り組んでいる APP クラブがあったおかげでこのような活動を行うことができた。私たちは幸運であったし、プロジェクトおよび COGES に感謝している」とインタビュー調査に答えている。

5 項目評価

妥当性：非常に高い

評価項目		必要な情報・データ	調査結果
必要性	プロジェクト目標はターゲット・グループのニーズと合致しているか。	<ul style="list-style-type: none"> COGES の活動は住民・児童のニーズと合致しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現地のニーズに基づいた学校運営改善はコミュニティと児童のニーズに合致するものである。 COGES の活動の一つであるコミュニティ幼稚園は、特に農村地域のコミュニティの強いニーズに合致している。
優先度	プロジェクト目標とニジェール国家開発計画との整合性はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> COGES を柱の一つとして位置づけた「教育開発 10 か年計画」(PDDE)に変更はないか。 コミュニティに権限を委譲する地方分権化政策に変更はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> COGES 政策が優先的課題であるとする PDDE に変更はない。
	プロジェクトと日本の援助政策、JICA 国別事業実施計画との整合性はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の対ニジェール援助重点課題、JICA 国別事業実施計画に変更はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方分権化政策に変更はない。また、2008 年 10 月に発表された、FCC 設立に関する国民教育省省令では、FCC はコミュニティの管轄下にあると規定しており、コミュニティが FCC を管理、支援する権限が強化されている。 日本は、TICADIV において学校運営改善モデルを西アフリカにおいて 10,000 校に拡大することを表明しており、日本の援助政策に合致している。
手段の適切性	プロジェクトのアプローチは適切か。	<ul style="list-style-type: none"> COGES の設置・機能化はニジェールの教育課題の解決に効果をあげる戦略として適切か。 ミニマムパッケージは、COGES の機能化に効果を上げる戦略として適切か。特に COGES 担当官及び COGES 連合によるモニタリングは、COGES の機能化に効果を上げる戦略として適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> 機能する COGES は政府が提供できるリソースに限られているニジェールの教育課題である低い就学率、ジェンダー格差、教育の質の低さを改善するための適切な戦略であると教育行政官は述べている。彼らはまた、COGES 監督官および担当官の能力強化を通じて、ニジェールの教育課題の一つである教育行政能力の強化にもプロジェクトは貢献していると述べている。 ①民主的な選挙による COGES 委員の選出、②学校活動計画の策定と実施、③FCC および教育行政によるモニタリングという 3 要素で構成されるミニマムパッケージは、フェーズ 1 において有効性が確認されている。COGES 委員に対するインタビュ結果から、民主選挙は COGES の機能化ならびに住民総会を通じた透明性の保証のための COGES 委員のやる気を増大させることにも寄与していることが確認された。 第二の要素は、学校運営への住民参加を増大させていることが確認された。学校活動計画策定プロセスは、児童が抱えている問題および問題解決のためにコミュニティが有しているリソースの明確化に始まり、住民総会における活動計画の承認へと続く。学校活動計画が外部者ではなく住民自身によって策定されることが計画の確実な実施の大きな要因となっている。詳細は、後述の有効性の因果関係を参照。

日本の協力としての優位性はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> 日本に対象技術のノウハウが蓄積されているか、日本の経験が活かせるか 	<ul style="list-style-type: none"> 第三の要素について、インタビュー調査によって、COGES 委員が抱えている諸課題を FCC および COGES 委員によるモニタリング・指導によって解決された事例が多く報告された。 フェーズ 1 で蓄積された COGES の機能化のための知識や技能は、フェーズ 2 での COGES の全国普及プロセスにおいて大いに活用されている。たとえば、研修の方法、COGES および FCC 設置運営研修のためのモジュールおよびマニュアル、COGES 担当官月例会議を通じて COGES のモニタリングがあげられる。
-------------------	---	--

有効性: 高い

評価項目	必要な情報・データ	調査結果
<p>プロジェクト目標の達成見込み</p> <p>プロジェクト目標は適切か</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト目標が達成される可能性は高いか。 プロジェクト目標指標の設定レベルは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国の97%の学校においてCOGESが民主的に設置された。COGESの機能度を表す指標となる学校活動計画提出率は66%に留まっているが、プロジェクト目標であるCOGESの「全国普及」と「機能化」に着実な進捗が見られる。モニタリング体制の構築に遅れが見られるものの、成果は概ね順調に実現しており、プロジェクト目標の達成に貢献することが期待される。 プロジェクト目標の指標に目標数値が設定されていないため、目標達成状況を具体的に評価することが困難となっている。 プロジェクト目標の指標2である「COGES」によって策定・実施される学校活動計画数と内容」は、学校数が膨大な数に上ることからデータ入手が困難となっている。必要であればデータの入手可能性を考慮に入れた代替指標設定を検討すべきである。
<p>因果関係</p> <p>プロジェクトのアウトプットはプロジェクト目標達成に貢献しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> COGES関係者の能力強化はCOGESの全国普及に貢献しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育行政官に対する導入研修ならびに校長に対する民主選挙研修はCOGES設置に帰結していること、COGES委員に対する学校活動計画研修は、学校活動計画策定に帰結していることをデータは示している。しかしながら、これらの研修とCOGES設置および機能化の因果関係には、地域によってははらつきがみられる。ニアメにおいてCOGES設置および機能化のレベルが低い要因としては、都市化にともない住民の絆、連帯が比較的弱いことがあげられる。しかしながらこれは、残りの協力期間においてニアメにおいて改善の余地があることを示している。アガデスでのCOGES設置率の低さは、安全上の理由からプロジェクトがアガデスに入れないことが影響していると考えられる。

	民主選挙による COGES 設置研修を 受けた校長の受講率	民主選挙による COGES 設置率	学校活動計画研修を 受けた COGES 委員 の受講率	学校活動計画 提出率
Agadez	100.0%	65.1%	85.4%	84.9%
Diffa	100.0%	100.0%	90.5%	77.7%
Dosso	99.6%	100.0%	99.9%	63.7%
Maradi	100.0%	100.0%	100.3%	57.5%
Niamey	91.9%	79.5%	93.1%	35.1%
Tillaberi	100.5%	101.2%	101.4%	60.6%
Tahoua	第一フェーズにおいて実施済			88.1%
Zinder				90.6%
Average	99.5%	97.1%	98.5%	66.4%

Source: EPT Project Team

• COGES モニタリング体制の構築 (COGES 担当官、COGES 連合) は COGES の機能強化に貢献しているか。

- FCC および COGES 委員に対するインタビュー結果は、COGES モニタリングシステムの構築はタウア、ザンデールでの COGES の機能強化に寄与していることを示している。以下は、COGES 担当官によるモニタリングの結果、COGES、FCC が抱えている問題が解決し、機能化が促進した例である。
 - ✓ 事例 1: ザンデールのある COGES に世界銀行/AGEPA による COGES への補助金が供与された際、補助金が不適切に使用される恐れがあった。COGES 委員からの要求に基づいて COGES 担当官は、補助金のルール、手続きを関係者に説明した結果、補助金は適切に活用された。(ザンデール、ミリア県 COGES 担当官)
 - ✓ 事例 2: COGES 委員の民主選挙が、コミュニティのリーダーによって適切に行われなかった恐れがあった。そこで COGES 担当官は、リーダーに対して個別に民主選挙の意義を説いてもらった。その結果、選挙は民主的に実施された。(ザンデール、ミリア県 COGES 担当官)
 - ✓ 事例 3: ある FCC 事務局員は、COGES 担当官への感謝の気持ちを伝えるために、自分たちで感謝状を作って COGES 担当官に渡した。COGES 担当官は、月に 5.6 回は FCC 事務局員と会合を持ち、FCC 事務局員が困ったときはすぐに来て相談にのってくれるからである。この COGES 担当官は感謝状をいつも大切に持ち歩いている。(ザンデール、グレ県、ギディギルコミュニティの FCC 事務局員)
 - ✓ 事例 4: COGES 委員の説得にもかかわらず、ある父親は子どもを学校に行かせるのをこぼんではない。COGES は COGES 担当官を招いて住民総会を開いた。COGES 担当官は総会において子どもの教育の意義を訴えた。2 日後、その父親は子どもを連れて学校に来て校長に言った。「考えが変わりました」。(ザンデール、グレ県、ギディギルコミュニティの FCC 事務局員)
 - ✓ 事例 5: FCC 設立プロセスにおいて、教員たちは会計のポストは教員に与えるべきだと主張した。そこで、COGES 担当官が来て FCC 設置に関する省令を説明した結果、教員たちはルールに従うことに

		<p>同意した。(ザンデール、ザンデールコミュニケーション II の FCC 事務局員)</p> <p>✓事例 6: FCC 事務局員が前年度活動計画の総括のための総会を準備しているとき、前年度の総会の議事録を紛失していることに気づいた。そこで、COGES 担当官に相談したところ、彼はすぐに総会議事録を持ってきてくれた。(ザンデール、ミリア県、ドゴコミュニケーションの FCC 事務局員)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 評価調査によって、COGES 担当官会議が COGES モニタリングメカニズムとして機能しているだけでなく、COGES 担当官の能力強化にも寄与していることが確認された。COGES 担当官会議は、経験を共有し、成功例から学び、課題解決のための方策を議論する場となっている。COGES 担当官会議によって、COGES 担当官は、COGES が抱える問題を解決するための技術支援を適切に行うための能力をつけている。以下は COGES 担当官会議の有効性を示す事例である。 <ul style="list-style-type: none"> ✓FCC 設置省令が発表された後、教員が事務局長ポストに就けないというルールに反対した教員たちがいた。この問題が COGES 担当官会議で報告され、解決策が協議された。COGES 担当官は教員にこのルールの背景、趣旨を説明し、教員の説得に成功した。 ✓あるコミュニケーション長は FCC に対する支援に消極的だったため、COGES 担当官会議でこの問題が議論された。その結果、COGES 担当官は FCC に対して、FCC はもはやコミュニケーションの管轄下であり、FCC 支援はコミュニケーションの責任であることをコミュニケーション長に伝えるよう働きかけた。この結果、コミュニケーション長が度が変わり、FCC を積極的に支援するようになった。 • コミュニティ幼稚園、フォーラム・アプローチ、視学官会議といった COGES を通じた教育改善活動モデルの構築は、成果 3 で述べたように COGES の機能強化・定着に貢献している。
<p>プロジェクト目標達成を促進あるいは阻害する外部要因はあるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • COGES を通じた教育改善活動モデルの構築は、COGES の機能強化・定着に貢献しているか。 • 【外部条件】校長もしくは教員等のストライキ等により学校が長期的に閉鎖状態に陥ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> • タウアアでは 2008 年の新学期開始時期である 10 月初めから 11 月末まで契約教員のみならず正規教員によるストライキが実施され、予定された授業時間数が大幅に減った。さらに契約教員に対する給与支払遅延のために契約教員による 1 週間から 2 週間のストライキは多発している。プロジェクト専門家によるとストライキは、プロジェクトが推進している教育のアクセスや質改善のためのフォーラムやキャンペーンに影響を与えている。なぜなら教員のストライキは、授業時間数の減少をもたらし、教育の質を低下させるだけでなく、学校が閉鎖されることによって親、子どもの学校に対する否定的な印象を与えるので、就学への動機づけが低下するからである。この意味で視学官会議実施によって促進された視学官による学校訪問は、教員の欠勤やストライキを減らすために効果がある。また、COGES による教員に対する支援(食糧や家屋の提供)は、特に農村地域において、組合が決定したストライキへの教員の参加を低下させるのに役立っている。 • ニジェールは全国的に貧困状態にある。しかし、プロジェクト開始後、貧困状態が著しく悪化してはいない。 • 教育行政官の中には、COGES に対するパイロット補助金供与が COGES の機能にネガティブな影響を与えたと述べている。補助金自体は必要であり良いことだが、補助金供与にあたっては、供与側は、COGES の主体性を尊重し、学校活動計画に基づいた補助金使用を認める方法を採用すべきであること、また補助金供与の前提条件として需要側である COGES が十分に機能していることが必要であるとインタビュ対象となった教育行政官は主張している。
	<ul style="list-style-type: none"> • 【外部条件】児童のいる家庭の経済状況が悪化していないか。 • その他の阻害要因があるか。 	

効率性: 中

調査結果										
評価項目	必要な情報・データ									
成果の達成度 成果は計画通り達成されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 活動及び投入は概ね計画通り実施されたものの、戻り資金運用開始と COGES 担当官用バイク供与の遅延が COGES 担当官によるモニタリング体制の構築に遅れをもたらした。 									
因果関係 活動は成果を効率的に産出しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 概ね提供された投入は計画通り成果を産出している。 									
達成されたアウトプットから見て投入の質、量、タイミングは適切か。	<ul style="list-style-type: none"> わずか3名の専門家の投入によって COGES の全国普及が1年で達成されたことから適切であると判断される。 供与機材(モニタリング用バイク等)は、必要であり、適切にかつ十分使用されている。 									
	<ul style="list-style-type: none"> 本邦研修に参加したザンデールの DREN のインタビュアーによると、本邦研修は日本の学校運営、住民参加を学ぶうえで適切であった。 見返り資金拠出が遅れたため、COGES モニタリングシステム構築に関連したいくつかの活動の実施が遅れた。そこで、プロジェクトは 2008 年 12 月ならびに 2009 年 1 月のタウア、ザンデール州での COGES 担当官会議の費用を負担した。 									
効率性に影響を与えている要因 他のドナーとの連携による効率化が実現しているか。	<ul style="list-style-type: none"> COGES 設置およびモニタリングの全国普及のための世界銀行/PADEB との連携による投入ならびに活動の結果は、合い半ばしたものである。PADEB 資金によって COGES 設置のための一連の研修のための資金が提供され、計画通りに実施された一方、COGES 担当官のモニタリング用のバイクはいまだに提供されていない。そこでほとんどの COGES 担当官はモニタリングのために自分のバイクを使うかバイクを借りており、モニタリング活動が制限されている。ドソンの COGES 担当官のモニタリング用バイクの現状を表に示す。 <table border="1" data-bbox="1034 174 1136 1236"> <thead> <tr> <th>COGES 担当官の数</th> <th>自分のバイクを使用</th> <th>視学官事務所のバイクを使用</th> <th>COGES 担当官のバイクを使用</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> COGES が設置および運営するコミュニティ幼稚園を普及するためのユニセフとの連携はプロジェクトの効率性を高めている。就学前局との協力によってコミュニティ幼稚園教員の養成・現職研修の実施、幼稚園への教材のミニマム・パッケージの提供をユニセフは行っており、一方プロジェクトはコミュニティ幼稚園の設立、運営、モニタリングについての研修を行っている。このような相互補完的な連携によってタウア、ザンデールにおいてわずか2年間で112のコミュニティ幼稚園が設立された。 学校およびCOGESに対する財政的な投入は一切されておらず、コミュニティのイニシアティブ、潜在能力を最大化している。この戦略は有効に機能している。 	COGES 担当官の数	自分のバイクを使用	視学官事務所のバイクを使用	COGES 担当官のバイクを使用	合計	3	4	0	7
COGES 担当官の数	自分のバイクを使用	視学官事務所のバイクを使用	COGES 担当官のバイクを使用	合計						
3	4	0	7							
ローカル資源が有効に活用されているか。	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ幼稚園設立のためのユニセフとの連携は効率的か。 									

<p>フェーズ1の経験が活かされているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> • フェーズ1で開発された戦略、アプローチ、技能、知識、人的資源、ネットワーク、ロジスティックスが最大限に活用されている。また現在の4名の専門家のうち2名はフェーズ1の経験者である。
<p>その他効率性に影響を与えている要因はあるか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 2008年10月に発表されたFCC設置に関する省令はFCCとコミュニケーションの協力関係促進に影響を与え、コミュニケーション長のCOGES連合設置研修への参加、コミュニケーションによるCOGES連合に対する経済的・物質的支援等が行われている。COGES連合とコミュニケーションの連携は、COGES連合の機能強化に貢献し、コミュニケーションレベルにおける教育開発を促進している。

インパクト: 高い

調査結果													
評価項目	必要な情報・データ												
<p>上位目標の達成見込み</p> <p>投入・成果の実績、活動の状況から、上位目標の達成の可能性は高いか。上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか。</p>	<p>【外部条件】教育政策においてCOGESによる学校運営改善が一貫して重要な位置を占める。</p>												
<p>上位目標達成に必要な外部条件が満たされる可能性は高いか。</p>	<p>【外部条件】教育政策においてCOGESによる学校運営改善が一貫して重要な位置を占める。</p>												
<p>上位目標の達成を阻害するその他の要因はあるか。</p>	<p>認められない。</p>												
<p>波及効果</p> <p>プロジェクトの波及効果はあるか。</p>	<p>• ゼンデール、タウアでプロジェクトが導入した視察官会議の有効性が示されたため、2009年1月に国民教育省は、DREN宛の通達によって視学官会議を制度化した。</p> <p>• ニジェールにおいて有効性が実証された学校運営委員会モデルをもとに、セネガル、マリにおいても同様の学校運営改善プロジェクトが開始された。ブルキナファソにおいてもプロジェクト実施に向けたパイロット事業を実施中である。これらの国に対して、プロジェクトがその経験を共有し、プロジェクトスタッフが技術支援を行っている。以下に実績を示す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プロジェクトからの講師派遣国</th> <th>プロジェクト名</th> <th>支援内容</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マリ</td> <td>学校運営委員会支援プロジェクト</td> <td>講師研修実施にかかると技術支援</td> <td>2008年8月22日～9月3日</td> </tr> <tr> <td>ブルキナファソ</td> <td>住民参画型学校運営改善パイロットプロジェクト</td> <td>講師研修</td> <td>2008年11月25日～12月2日</td> </tr> </tbody> </table>	プロジェクトからの講師派遣国	プロジェクト名	支援内容	期間	マリ	学校運営委員会支援プロジェクト	講師研修実施にかかると技術支援	2008年8月22日～9月3日	ブルキナファソ	住民参画型学校運営改善パイロットプロジェクト	講師研修	2008年11月25日～12月2日
プロジェクトからの講師派遣国	プロジェクト名	支援内容	期間										
マリ	学校運営委員会支援プロジェクト	講師研修実施にかかると技術支援	2008年8月22日～9月3日										
ブルキナファソ	住民参画型学校運営改善パイロットプロジェクト	講師研修	2008年11月25日～12月2日										

その他のインパクト		
上位目標以外の正負の 効果・影響があるか。	• 正のインパクト	• COGES が就学前教育（コミュニティ幼稚園）、中等教育（中学生のための寮の寮の提供）、保健分野（保健ポストの設置・運営）等、初等教育以外の分野の開発に取り組んでいる事例が報告されている。
	• 負のインパクト	• 認められない。

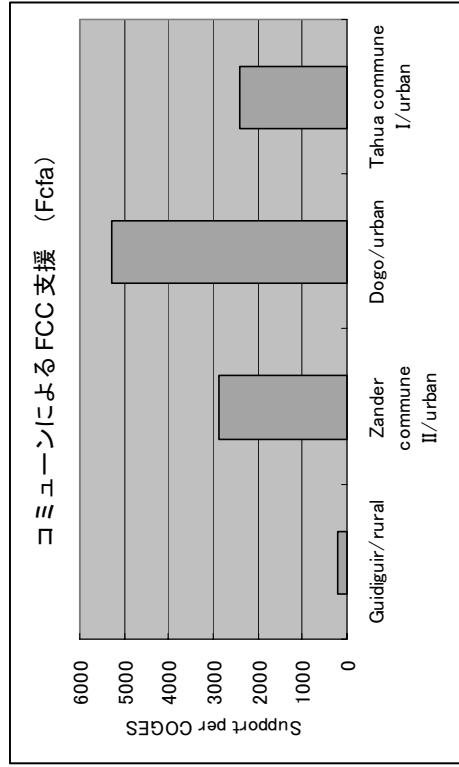
自立発展性: 中

評価項目	必要な情報・データ	調査結果
<p>政策・制度面</p> <p>政策支援は協力終了後も継続される可能性は高いか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育省はプロジェクト終了後のCOGESの継続に係る戦略を持っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民参画型の学校運営を促進することは教育開発計画 (PDDE) に明記されている。 国民教育省は COGES および FCC の設置・強化のための省令を発表した。国民教育省は COGES 政策実施のために経験共有セミナーを年に2回開催している。
<p>組織・財政面</p>		
<p>COGES 政策の実施を担う組織は維持されるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育省 COGES 推進室は全国レベルで COGES 政策を策定、統括、実施するに必要な権限と人員、予算を有しているか。 州教育事務所は、州レベルで COGES 政策を策定、統括、実施するに必要な権限と人員、予算を有しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 国民教育省の基礎教育総局長の下に COGES 推進室があり、COGES 政策策定の責任を負っている。COGES 推進室は、見返り資金拠出を推進するにあたって困難に直面した。一方、COGES 推進室は、COGES 政策実施についての経験共有セミナーを開催している。 各州教育事務所には COGES 監督官が1名配置されている。COGES 監督官の主要な職務は COGES 担当官の指導監督である。 タウア、ザンデールでは COGES 担当官会議が定期的に毎月開催されている。他の州においても月例会議の開催が始まった。
		<ul style="list-style-type: none"> ザンデール、タウアでプロジェクトが導入した視察官会議の有効性が示されたため、2009年1月に国民教育省は、DREN 宛の通達によって、視察官会議を制度化した。視察官会議開催費用に対するプロジェクトからの支援はなく、州独自の予算で実施されており、視察官会議の財政的持続性は高い。 DREN は概ね教育開発における COGES の重要性を理解しており、州レベルでの COGES 政策実施へのコミットメントは高い。 COGES 担当官が各視察官事務所に配置されている。COGES 担当官の主要な職務は FCC および COGES のモニタリング・指導である。 COGES 担当官と同様に視察官事務所に配置されている指導主事は資格の必要なポストであるのに対して、COGES 担当官には資格が必要がなく、指導主事よりも地位が低いとみなされている。 ほとんどの COGES 担当官は移動の手段をもっていない。多くの COGES 担当官は視察官事務所のバイクを使用するか自分のバイクを使っている。 国民教育省は、COGES 担当官のモニタリング費用を見返り資金に依存しており、この拠出が遅れたため、COGES 担当官のモニタリング活動が一時中断した。
<ul style="list-style-type: none"> 県視察官事務所は、県レベルで COGES 政策を策定、統括、実施するに必要な権限と人員、予算を有しているか。 		

	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニティ幼稚園のモニタリングを行うための就学前視察官事務所の指導主事の数が不足している。詳細は、ANNEX3を参照。 • FCCは省令に基づき、コミュニケーションレベルで設立されている。FCCの主要な役割はCOGESのモニタリング・指導である。FCCの事務局長は民主選挙によって選出されている。 • タウア、ザンデールでは第一フェーズの間にすべてのコミュニケーション連合（現在FCC）が設立された。アガデス以外の他の州ではFCCは設立が始まったところである。 • FCCは財政的に自立して活動することが期待されている。FCCの主要な財源はCOGESからの分担金である。タウアとザンデールのFCCの収入の2007-2008年度の平均値は334,375 Fefaだった。 • FCC設置に関する省令はコミュニケーションとFCCの協力を奨励しているため、多くのコミュニケーションがFCCを財政的に支援している。いくつかのコミュニケーション長に対するインタビューによると、コミュニケーション開発計画にFCCの活動計画を取り入れることによってFCCに対する支援額の予算化がより容易になるという。 • COGESは省令に基づき、コミュニティレベルで設置されている。COGES委員の親の代表は民主選挙によって選ばれている。 • 機能するCOGESは財政的に自立して活動することが期待されている。COGESの主要な財源は住民からの寄付である。サンプル数が少なかったが、ドッソでの調査結果は、2007-2008年度のCOGESの動員額平均値は60,881 Fefaであった。一方、タウアでの2005-2006年度のCOGESの動員額平均値が208,856 Fefaであったことに鑑みると、新規対象州でのCOGESの動員額には改善の余地があると考えられる。 • 見返り資金で手当てするCOGES担当官によるモニタリングならびにCOGES担当官会議は、FCC及びCOGESの機能化を発展・維持させるために不可欠であり、継続する必要があることが確認された。見返り資金による支出が始まったが、2010年6月にむかえる同資金の運用終了後の予算手当てについて今後検討していく必要がある。 • AGEPAの支援により教育省はタウア、ザンデールの500のCOGESに補助金を交付した。補助金スキームが今後制度化されるかどうかは今のところ未確定である。しかし、補助金を制度化するにあたっては国民教育省が外部資金に頼らざるをえないのは明らかである。国民教育省大臣は補助金の制度化にあたっては、COGESの機能化が前提条件であるとの意向を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> • COGES 監督官は COGES 政策を十分に理解している。COGES 監督官は各州において COGES 設置および FCC 設置のための研修を成功裏に実施した。COGES 担当官の指導管理能力については、十分に備えている監督官と、能力開発中の監督官がいる。
<p>COGES 連合および COGES の維持に必要な財源は確保される見込みか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • COGES は活動の維持・発展に必要な権限と人員、収入源を有しているか。 • 日本側予算・見返り資金で手当てしている活動について、プロジェクト終了後も活動の継続は必要か。必要な場合、財源が確保される可能性は高いか。 • 教育省からの COGES への補助金が制度化される見込みはあるか。関連ドナーによる COGES 支援基金が創設される見込みはあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> • COGES 監督官の COGES 政策実施能力は十分か。
<p>技術面</p> <p>COGES 関係者の能力開発は十分に行われているか。</p>		

<ul style="list-style-type: none"> • COGES 担当官の COGES 政策実施能力は十分か。 	<ul style="list-style-type: none"> • ほとんどの COGES 担当官は COGES 政策を十分に理解し、やる気も高い。COGES 担当官は各州において COGES 設置および FCC 設置のための研修を成功裏に実施した。COGES および FCC のモニタリング、指導能力については、十分に備えている担当官と、能力開発中の担当官がいる。 • タウアとザンデールでは毎月開催されている COGES 担当官会議および視学官会議は COGES 担当官ならびに視学官の能力強化に寄与した。 • 新規 6 州では COGES 担当官会議は始まったばかりであり、これらの会議は COGES 担当官および視学官の能力強化に貢献するものと期待されている。 • タウアとザンデールでは、ほとんどの FCC 事務局長は十分に研修を受けており、やる気も高い。しかしながら、2008 年におきた COGES 担当官によるモニタリングの一時中断によって FCC の実績に低下がみられたことから、FCC の機能化のためには現時点では COGES 担当官のモニタリング・指導が不可欠である。 • FCC の中にはコミュニケーションからの支援獲得を推進しようとしているため、会計管理、アドボカシー、プロポーザル作成の面での技術支援、研修を必要としている。 • ほとんどの COGES 委員は十分に研修を受け、やる気も高い。 • タウアとザンデールでは、学校活動計画の提出率が 89.5% に達しており、COGES の機能はある程度高いことを示している。(成果の達成度の表を参照) • 新規 6 州の学校活動計画の提出率は 55.2% と低く、COGES の機能度は改善の余地があることを示している。
<ul style="list-style-type: none"> • FCC は機能化するための技術的な能力を十分に備えているか。 • COGES は機能化するための技術的な能力を十分に備えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 両量不足による穀物収穫量の減少によるコミュニティの脆弱性は、住民の意思にもかかわらず COGES に対する住民の動員額に影響を与えていることが確認された。たとえば、タウアのイレラ県の Kossori COGES では、収穫量が前年度比 30%にまで減少したため、コミュニティ幼稚園の運営のために 2008 年度は親から 650 Fcfa を動員しなければならなくなった。これは前年度までのようにすべての世帯から平等に COGES に対して動員することは不可能であるとの認識から住民総会で決定された。またコミュニティ幼稚園の開園期間を 10 カ月間から 6 カ月間に減らすなどして、COGES の年間予算は 2007 年度の 323,600 Fcfa から 210,250 Fcfa に削減された。この結果、過去 2 年間は幼稚園の入園申込児童数が 200 名を越えていたにもかかわらず、2008 年度の申込数は、43 名に大幅に減った。貧困ゆえに子どもも COGES 幼稚園に送ることができない親に対して COGES 委員はとも気の毒に感じている。この事例は、コミュニティの脆弱性に対応するために、条件付きのターゲットングラントなどのセーフティネットが必要であることを示唆している。 • 調査結果は、コミュニケーションから FCC への支援額には大きな都市・農村格差があることを示している。ザンデールの農村地域の Guidguir FCC は、わずか 10,000 Fcfa (加盟 1 COGES あたり 192 Fcfa) の支援をコミ
<ul style="list-style-type: none"> • 動員額は、住民にとって過度な負担となっていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニティから FCC への支援額について大きな地域間格差はみられるか。
<p>社会面</p> <p>貧困層や脆弱なグループに対する配慮不足のために効果の持続性が損なわれる可能性はないか。</p>	

一から得ているのに対して、同じザンデールの都市地域の Dogo FCC は 300,000Fcfa(加盟 ICOGES あたり 5,263Fcfa)もの支援をコミュニティから得ている。FCC 事務局員に対するインタビュートによると、コミュニティから FCC への支援額は、コミュニティの税収レベルによるので、都市部のコミュニティの税収が農村部のコミュニティよりも税収が多いことが、コミュニティからの FCC 支援額の都市・農村格差の要因となっている。



出所：インタビュートおよび EPT プロジェクト提供データ

6. 質問票

COGES の機能度に関する質問票

0. 学校名／コミュニケーション名： /

1. 学校の基本情報

生徒数	住民数 (概数)	COGES 設置年度	APE/COGES 委員の民主選挙実施年度

2. 現在の COGES 委員

	所属・身分	選出方法 (保護者会代表のみ)	任期		COGES 設置後 改選の有無
			自	至	
委員長	校長・教員・保護者会・ 母親会・その他 ()	投票・挙手・ コンセンサス			有・無
書記	校長・教員・保護者会・ 母親会・その他 ()	投票・挙手・ コンセンサス			
会計	校長・教員・保護者会・ 母親会・その他 ()	投票・挙手・ コンセンサス			有・無

3. COGES の活動状況

(1) 2007-08 年の活動状況

①会合の開催

事務局会合開催回数	事務局会合出席者数 (平均)	総会開催回数	総会出席者数 (平均)

②学校活動計画

計画された活動	実績
	実施済・未実施
	実施済・未実施
	実施済・未実施
	実施済・未実施
	実施済・未実施
その他計画活動数	うち実施数：

③資源の動員

計画額	実施額

(2) 2006-07 年の活動状況

① 会合の開催

事務局会合開催回数	事務局会合出席者数 (平均)	総会開催回数	総会出席者数 (平均)

② 学校活動計画

計画された活動	実績
	実施済・未実施
	実施済・未実施
	実施済・未実施
	実施済・未実施
	実施済・未実施
その他計画活動数	うち実施数：

③ 資源の動員

計画額	実施額

4. その他特記事項 (COGES 活動の促進要因・阻害要因等)

以上

7. 質問票調査結果

COGESの機能度に関する質問票集計		NR=情報無し		CO=調査回答者(おそらく)		
学校名	基本情報	現在のCOGES委員	任期	改選	実績	
Sokorabé	生徒数 〔女子〕 338 〔男子〕 132 委員長 保護者会 書記 校長 住居数(総数) 206 COGES設置年度 6000 委員の選挙実施年度 2004 2007	所属 投票 選出方法 投票 コンセンサス 投票	2008-2009 2008-2009 2008-2009	無 有 無	5 7 3 50 147500 116750	学校活動計画 内容 7 授業出席・教育の質向上キャンペーン 3 図書購入(70冊) 50 修了テスト・英語着席ノート購入 補修・夜間授業 前れた購入の撤去・高原盛購入 その他 34件
	ニミューン Sokorabé	・資金不足 ・保護者の非関与 ・COGESメンバーの研修(知識)不足 ・ボランティアの限界	備考		COGES活動状況2006-2007年 3 7 3 50 0 0	学校活動計画 内容 7 学校活動計画なし
Wazey	生徒数 〔女子〕 84 〔男子〕 48 委員長 保護者会 書記 校長 住居数(総数) 36 COGES設置年度 2500 委員の選挙実施年度 2005 2007	所属 投票 選出方法 投票 コンセンサス 投票	2008-2009 2008-2009 2008-2009	改選 有 有	3 7 2 1000 104000 104000	学校活動計画 内容 7 校長の住居 2 高層教室(2) 2000 夜間授業
	ニミューン Sokorabé	・住民の資金不足 ・分担金(寄付金)の不足 ・学校に権がない ・Aide and Actionが2005~2006年に支援した。	備考		COGES活動状況2006-2007年 3 7 2 1000 なし なし	学校活動計画 内容 7 高層教室(2)
Goulbey	生徒数 〔女子〕 130 〔男子〕 委員長 保護者会 書記 校長 住居数(総数) 1200 COGES設置年度 2007 委員の選挙実施年度 2007	所属 投票 選出方法 投票 投票 投票	2008-2009 2008-2009 2008-2009	改選 有 有 有	3 7 2 50 0 0	学校活動計画 内容 7 夜間授業 2 水がめ購入 50 オイルランプ購入
	ニミューン Sokorabé	・分担当の問題(2007年) ・総会への参加が少ない、村の分裂 ・研修の不足 2008-2009年(の計画?) 教科書 高層教室	備考		COGES活動状況2007-2008年 / 校表 3 7 2 50 0 0	学校活動計画 内容 7 夜間授業 2 水がめ購入 50 オイルランプ購入 その他 なし

学校名	基本情報				現在のCOGES委員				COGES活動状況2007-2008年			
	生徒数 (女子)	役員 委員長 書記 会計	所属 保護者会 校長 保護者会	選出方法 投票 投票 コンセンサス	任期 2008-2009 2008-2009 2008-2009	改選 有 有 有	委員の開催 事務局委員会開催 事務局委員会出席者数 総会開催数 総会出席者数 計画額(Fcfa) 実施額(Fcfa)	内容 2 7 3 150 149800 156300	学校活動計画 内容	実績 未 未 済 済 うち済:2		
Garbay gorokh	65 (女子)	35 委員長 50 書記 2238 会計	2005-06 委員の選挙実施年度 2007-08									
コミュニケーション Loge	備考 ・活動及び総会への住民の参加が少ない ・資金不足、faiblesse du niveau de nuit ・総会前に事務局委員会 ・校長による夜間授業											
学校名	基本情報				現在のCOGES委員/校長				COGES活動状況2007-2008年/代表			
Fada Loge 07-08創立	生徒数 (女子)	役員 委員長 書記 会計	103 委員 書記 会計	所属 保護者会 校長 保護者会	選出方法 コンセンサス コンセンサス コンセンサス	任期 2008-2009 2008-2009 2008-2009	改選 有 無 有	委員の開催 事務局委員会開催 事務局委員会出席者数 総会開催数 総会出席者数 計画額(Fcfa) 実施額(Fcfa)	内容 4 7 3 60	学校活動計画 内容	実績 済 済	
コミュニケーション Loge	備考 ・COGESはそれほど活発ではなく、分担金も少ない ・机いすが不足しているため、児童は床に座っている ・AGへの参加者は少ない ・保護者は研修が常にCOGESメンバー対象であることに納得していない ・水を得られる場所の不足、学校が遠い、雨が無い、気が無い、保護者会の貧困 2008-09学校活動計画は策定されている。											
学校名	基本情報				現在のCOGES委員				COGES活動状況2007-2008年			
Tassam mam	生徒数 (女子)	役員 委員長 書記 会計	291 委員 書記 会計	所属 保護者会 校長 母親会	選出方法 投票 投票 投票	任期 2008-2009 2008-2009 2008-2009	改選 有 有 有	委員の開催 事務局委員会開催 事務局委員会出席者数 総会開催数 総会出席者数 計画額(Fcfa) 実施額(Fcfa)	内容 10 7 2 60	学校活動計画 内容	実績 済 済 済 済 うち済:8	
コミュニケーション Loge	備考 ・保護者の非識字、分担金拒否 ・保護者のキャパシティを越えた様々な問題 (教室不足、水を得られる場所の不足、食料・校長・校長の住居の不足)											

学校名	基本情報				現在のCOGES委員				COGES活動状況2007-2008年/代表			
	生徒数	役員	所属	選出方法	任期	改選	委員の所属	内容	実績			
Birma Ibrahim	145	委員長 書記 会計	保護者会 校長 保護者会	コンセンサス コンセンサス コンセンサス	2008-2009 2008-2009 2008-2009	無 無 無	事務局長 委員 書記 会計 総務局長 委員 書記 会計 総務局長 委員 書記 会計	読書活動 3 75 教室建設 4 教室及びトイレの改修 5 その他	経済 経済 経済 未 うち済3			
ニミューン Fabidi	2300	2005-06 2006	備考				計画 実施	COGES活動状況2006-2007年 学校活動計画				
	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の欠勤が多い ・教員の研修不足、生徒の理解不足 ・資金はうまく管理されているが、研修の不足 ・COGESメンバー及び教員への研修が必要 ・学校器材、トイレ、教員住居なども必要 											
学校名	基本情報				現在のCOGES委員				COGES活動状況2007-2008年/代表			
	生徒数	役員	所属	選出方法	任期	改選	委員の所属	内容	実績			
Fabridi quartier	18	委員長 書記 会計	その他 校長 母親会	コンセンサス コンセンサス コンセンサス	2007-2009 2008-2009 2005-2009	有 無 有	事務局長 委員 書記 会計 総務局長 委員 書記 会計	0 0 2 25 計画 実施	学校活動計画 学校活動計画なし 補償(キヤパ)により児童き教室、分相金)			
ニミューン Fabidi	2007	備考					計画 実施	COGES活動状況2006-2007年 学校活動計画				
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校活動計画がない、出席率が低い、退学、保護者による分相金がない(校長) ・教員の不足、学校器材・備が無い、分相金なし(代表) 											
学校名	基本情報				現在のCOGES委員				COGES活動状況2007-2008年/新任校長の赴任			
	生徒数	役員	所属	選出方法	任期	改選	委員の所属	内容	実績			
Donou dibi	148	委員長 書記 会計	その他 校長 保護者会	投票 投票 投票	2008-2009 2008-2009 2008-2009	有 有 有	事務局長 委員 書記 会計 総務局長 委員 書記 会計	補給	経済			
ニミューン Birni N'Gaouiro	2007	備考					計画 実施	COGES活動状況2006-2007年 学校活動計画				
	<ul style="list-style-type: none"> ・AG閉鎖の遅し ・分相金 50F/cfa/児童/月 ・防犯の問題(泥棒) 											

学校名	基本情報				現在のCOGES委員				COGES活動状況2007-2008年 / 代表			
	生徒数 (女子)	役員 委員長 書記 会計	所属 保護者会 校長 母親会	選出方法 コンセンサス コンセンサス コンセンサス	任期 2008-2009 2008-2009 2008-2009	改選 有 無 有	委員の所属 保護者会 校長 書記 会計 その他	内容	実績			
Silnike	126 (女子)	61 委員長 書記 会計	保護者会 校長 母親会	コンセンサス コンセンサス コンセンサス	2008-2009 2008-2009 2008-2009	有 無 有	委員の所属 保護者会 校長 書記 会計 その他	学校活動計画 内容	実績 済 済 済 未 うち済 5			
10 Birimi N'Gaouire	126 (女子)	61 委員長 書記 会計	保護者会 校長 母親会	コンセンサス コンセンサス コンセンサス	2008-2009 2008-2009 2008-2009	有 無 有	委員の所属 保護者会 校長 書記 会計 その他	学校活動計画 内容	実績 済 済 済 未 うち済 5			
11 Birimi N'Gaouire	126 (女子)	61 委員長 書記 会計	保護者会 校長 母親会	コンセンサス コンセンサス コンセンサス	2008-2009 2008-2009 2008-2009	有 無 有	委員の所属 保護者会 校長 書記 会計 その他	学校活動計画 内容	実績 済 済 済 未 うち済 5			
12 Bombohi 99年創立	62 (女子)	62 委員長 書記 会計	保護者会 校長 書記 母親会	コンセンサス コンセンサス コンセンサス	2008-2009 2008-2009 2008-2009	有 有 有	委員の所属 保護者会 校長 書記 会計 その他	学校活動計画 内容	実績 済 済 済 未 うち済 5			
13 Birimi N'Gaouire	126 (女子)	61 委員長 書記 会計	保護者会 校長 母親会	コンセンサス コンセンサス コンセンサス	2008-2009 2008-2009 2008-2009	有 無 有	委員の所属 保護者会 校長 書記 会計 その他	学校活動計画 内容	実績 済 済 済 未 うち済 5			

8. インタビュー項目

専門家・プロジェクトスタッフへのインタビュー質問

1. 実施体制

- (1) 現在の実施体制組織図があればご提供いただく。担当業務の成果の自己評価と課題（全員）
- (2) 州担当制の始まった経緯、アイデアの源泉、合意のプロセス、意思決定の方法（誰とどうやって決めたか）。
- (3) 月例 COGES 担当者会議および見返り資金運営管理のモニタリングによって、現在の業務負荷はプロジェクトチームのキャパシティを超えていないか。人員配置は適切か。業務効率化の方策、改善策は。
- (4) プロジェクトチーム内の情報共有はどのように行われているか。専門家内、専門家と現地スタッフ、プロジェクトと CP、それぞれ十分であるか。もし十分でないなら、解決策は（全員）
- (5) 月例 COGES 担当者会議のモニタリング結果は、プロジェクト活動にどのようにフィードバックされているか。

2. 実施プロセス

- (1) プロジェクトチームと C/P（国、州、県レベル）の関係は良好か？信頼関係はどの程度か。情報共有はどの程度、どのように行われているか。
- (2) C/P（国、州、県レベル）は主体的にプロジェクト活動を実施しているか。
- (3) 世銀との会合の頻度、課題、費用対便益、世銀によるプロジェクトへの貢献金額。
- (4) ユニセフとの会合の頻度、課題、費用対便益、ユニセフによるプロジェクトへの貢献金額。

見返り資金

- (5) 運用開始の手続きの進捗状況、遅れの理由、NGO 委託の可能性。
- (6) 見返り資金の運用、管理はどのような体制で行われているか。課題はあるか。あれば対策は。
- (7) 見返り資金のモニタリング体制構築の現状と課題。
- (8) 見返り資金終了後のモニタリング活動支援の継続の必要性の有無。持続性保証のための方策。

3. 実績

プロジェクト目標

- (1) プロジェクト目標の達成見込み、プロジェクト目標指標の設定レベルは適切か。
- (2) 阻害要因：ストライキによる学校閉鎖、人事異動、経済状況による就学への影響、PADEB による COGES 担当官のバイク支給の遅れ、促進要因。
- (3) アガデス、ニアメで COGES 設置率が低い理由、対策。
- (4) 学校改善計画が策定されていない COGES の理由、対策。

成果

- (1) 今後の COGES 連合設置研修の実施計画、連合設置の見通し。
- (2) タウア、ザンデールで連合の機能の低下がみられた要因、対策。
- (3) COGES に関する情報収集システムの現状、有効性、持続性、フィードバックの方法と事例、課題。
- (4) COGES 連合の分担金徴収に係る課題と対策。
- (5) COGES 担当官、監督官による①モニタリングの方法、頻度、内容、課題、②連合と COGES に対する技術支援の実績、課題、③担当官・監督官の有効性と今後の活用可能性。
- (6) COGES 担当者会議の内容、有効性、COGES の課題解決につながる技術支援の実績。
- (7) 視学官会議の開催の経緯、実施状況、有効性、持続性。
- (8) タウア州で入学登録者における女子比率が事前登録時と比べて低下した原因と対策。
- (9) コミュニティ幼稚園は普及可能なモデルとなっているか。
- (10) COGES 連合によるフォーラムアプローチ（就学促進、質向上キャンペーン）は普及可能なモデルとなっているか。

4. 妥当性

- (1) COGES 担当官、COGES 連合によるモニタリングは COGES の機能化に効果を挙げる戦略として適切か。持続可能なモニタリング体制についてのアイデア。

5. 有効性

- (1) 成果を産出するために十分な活動であるか。
- (2) ニジェール側の投入は適切か。
- (3) 本邦研修（ザンデール州教育局長）は効果的だったか。

6. インパクト

- (1) 仏語圏アフリカへの波及効果はどの程度あるか。
- (2) COGES を活用した、期待していなかった学校改善の取り組みが行われているか（給食など）。

7. 自立発展性

- (1) 教育省はプロジェクト終了後の COGES の継続に係る戦略を持っているか。
- (2) 教育省 COGES 推進室は全国レベルで COGES 政策を策定、統括、実施するために必要な権限と人員、経常予算を有しているか。
- (3) 州教育事務所は、州レベルで COGES 政策を策定、統括、実施するために必要な権限と人員、経常予算を有しているか。
- (4) 県視学官事務所は、県レベルで COGES 政策を策定、統括、実施するために必要な権限と人員、経常予算を有しているか。
- (5) COGES 連合は活動の維持・発展に必要な権限と人員、収入源を有しているか。
- (6) COGES は活動の維持・発展に必要な権限と人員、収入源を有しているか。
- (7) 日本側予算・見返り資金で手当している活動について、プロジェクト終了後も活動の継続は必要か。必要な場合、財源が確保される可能性は高いか。
- (8) 教育省からの COGES への補助金が制度化される見込みはあるか。関連ドナーによる COGES 支援基金が創設される見込みはあるか。
- (9) COGES は、活動を計画・実施する能力を十分に備えているか。
- (10) 大きな地域間格差はないか。COGES、COGES 連合の収入、コミュニケーションから COGES 連合への財政支援額
- (12) 動員額は、住民にとって過度な負担となっていないか。住民は寄付を継続することができるか。

8. その他

- (1) 投入・活動・成果の内容を軌道修正する必要があるか。
- (2) 有効性・汎用性（実施容易度）・持続可能性の観点から、普及モデルを軌道修正する必要があるか。
- (3) PDM（指標も含め）を改訂する必要があるか。
- (4) 今後、留意していかなければならないことは何か。

プロジェクト・スタッフへの質問

- (1) 実施体制の質問
- (2) COGES 連合の有効性、持続性、課題、対策
- (3) COGES 担当官の有効性、持続性、課題、対策
- (4) フォーラムアプローチの有効性、持続性、課題、対策
- (5) コミュニティ幼稚園の有効性、持続性、課題、対策

州国民教育事務所長への質問

1. Relevance

- 1) Who are the members of COGES members and COGES commune?
- 2) Roles and responsibilities of COGES supervisors.

2. Effectiveness

- 1) Challenges/problems in education in your province.
- 2) Your overall assessment on the Project.
- 3) Your views on contribution of COGES for challenges in education in your region. Any good practices for school improvement through COGES. Prospect on the role of COGES in the future in your region.
- 4) Your views on contribution of COGES communes for challenges in education in your region. Any good practices for school improvement through COGES communes. Prospect on the role of COGES communes in the future in your region.
- 5) Your views on the forum approach: campaigning for girls enrollment and quality improvement. Any remaining issues as the model for extension to other regions.
- 6) Degree of your satisfaction with technical support by JICA to COGES supervisors. Areas of future support needed from JICA for further improvement of COGES.

3. Impact

- 1) Reasons for increased gender gap in enrollment rate in Zinder in spite of the campaign efforts this year.

4. Sustainability

- 1) Your assessment on the results of pilot grant to COGES funded by the WB. Any issues in terms of absorptive capacities and lessons learned. Conditions and capacities needed for success of provision of grant to COGES at each level: COGES supervisors, COGES officers, COGES communes and COGES levels.
- 2) COGES supervisors: Your assessment on their performances and expectations to their future roles for strengthening COGES. Recurrent budget for supervisor, COGES supervisors' position at regional office,
- 3) COGES officers: our assessment on their performances and expectations to their future roles for strengthening COGES. Recurrent budget for your work, COGES officers' position at inspectors' office.

COGES 監督官への質問

0. Basic information

- 1) Years of experience as a COGES supervisor and your previous post

1. Verification of achievements

- 1) Frequency and number of COGES and COGES communes per month, frequency of training you provides for COGES and COGES communes per month
- 2) Members of COGES and COGES communes, their roles and responsibilities.
- 3) What is the minimum package to make COGES effective?
- 4) Roles and responsibilities of COGES supervisors
- 5) Duration and contents of trainings you received as a COGES supervisor, any training

on COGES you received by other projects/donors. Any comparative advantages/disadvantages of the training by the Project/JICA to other projects.

- 6) Difficulties and challenges you faced in your work.
- 7) Degree of your satisfaction with your work. Would you like to continue your current position? Why?
- 8) Skills, knowledge and characteristics needed to be a good COGES officer.
- 9) How often do you use the manual on establishment and monitoring COGES commune.
- 10) Reporting system: frequency and contents of the report. How are your reports used? Any feedback.
- 11) Negative impact of implementation of the Project if any.

2. Effectiveness

- 1) Challenges/problems in education in your region.
- 2) Contribution of COGES for challenges in education in your region. Please provide information on changes brought by COGES.
- 3) Contribution of COGES commune for challenges in education in your region. Please provide information on changes in schools brought by COGES commune.
- 4) Frequency, contents and participants of Inspectors meetings on COGES. Is it effective? If yes, please provide examples that lead to solution of the problems faced by COGES (communes). Will this meeting be likely to be continued?
- 5) Assess your performance as a COGES officer in terms of monitoring COGES and COGES communes. Frequency, methods, contents of monitoring. Specify any technical support you provided to solve their challenges. Any good cases that your support resulted in solution.
- 6) Degree of your satisfaction with technical support by the Project/JICA to COGES supervisor. Areas of further support needed from the Project/JICA for further improvement of COGES for the rest of the cooperation period.
- 7) Your views on the forum approach: campaigning for girls enrollment and quality improvement. Any remaining issues as the model for extension to other regions.

3. Impact

- 1) Any difference in children, teachers and parents after COGES was established? Specify.
- 2) Examples of cases that COGES is utilized for improvement of schools, e.g. school lunch.
- 3) Reasons for increased gender gap in enrollment rate in Zinder in spite of the campaign efforts this year.

4. Sustainability

- 1) Means of disclosing financial report of COGES and COGES communes
- 2) Issues/problems with the process of formulation and implementation of school action plans by COGES
- 3) Views on the possibility of continuous financial contribution to COGES from community residents.
- 4) Views on the possibility of continuous financial contribution to COGES commune from COGES.
- 5) Any gap between rural/urban and remote area in terms of COGES budget.
- 6) Any support from commune council to COGES commune and COGES. Prospect for continuous support from commune councils. Any measures needed to ensure the support from commune council.

- 7) Your assessment on the results of pilot grant to COGES funded by the WB. Any issues in terms of absorptive capacities and lessons learned. Conditions and capacities needed for success of provision of grant to COGES at each level: COGES supervisors, COGES officers, COGES communes and COGES levels.
- 8) Any further support needed to make COGES and COGES communes effective in terms of technical and financial aspects.

COGES 担当官への質問

0. Basic information

- 1) Years of experience as a COGES officer, previous post
- 2) Number of COGES communes, COGES and primary schools in your department
- 3) Year of establishment of COGES and COGES commune

1. Verification of achievements

- 1) Frequency and number of COGES and COGES communes per month, frequency of training you provides for COGES and COGES communes per month
- 2) Members of COGES and COGES communes, their roles and responsibilities.
- 3) What is the minimum package to make COGES effective?
- 4) Roles and responsibilities of COGES officers
- 5) Duration and contents of trainings you received as a COGES officer, any training on COGES you received by other projects/donors. Any comparative advantages/disadvantages of the training by the Project/JICA to other projects.
- 6) Difficulties and challenges you faced in your work.
- 7) Degree of your satisfaction with your work. Would you like to continue your current position? Why?
- 8) Skills, knowledge and characteristics needed to be a good COGES supervisor.
- 9) How often do you use the manual on establishment and monitoring COGES commune.
- 10) Reporting system: frequency and contents of the report. How are your reports used? Any feedback.
- 11) Negative impact of implementation of the Project if any.

2. Effectiveness

- 1) Challenges/problems in education in your region.
- 2) Contribution of COGES for challenges in education in your department. Please provide data and information on changes in education indicators and good practices for school improvement through COGES
- 3) Contribution of COGES commune for challenges in education in your department. Please provide information on changes in schools brought by COGES commune.
- 4) Frequency and content of COGES officers meetings. Your views on its effectiveness for monitoring COGES. Any measures taken to solve problems raised in the meeting.
- 5) Assess your performance as a COGES officer in terms of monitoring COGES and COGES communes. Frequency, methods, contents of monitoring. Specify any technical support you provided to solve their challenges. Any good cases that your support resulted in solution.
- 6) Degree of your satisfaction with technical support by the Project to COGES officers. Areas of further support needed from the Project for further improvement of COGES in the rest of the cooperation period.

- 7) Your views on the forum approach: campaigning for girls enrollment and quality improvement. Any remaining issues as the model for extension to other regions.

3. Impact

- 1) Any difference in children, teachers and parents after COGES was established? Specify,
- 2) Examples of cases that COGES is utilized for improvement of schools, e.g. school lunch.
- 3) Reasons for increased gender gap in enrollment rate in Zinder in spite of the campaign efforts this year.

4. Sustainability

- 1) Means of disclosing financial report of COGES and COGES communes
- 2) Issues/problems with the process of formulation and implementation of school action plans by COGES
- 3) Views on the possibility of continuous financial contribution to COGES from community residents.
- 4) Views on the possibility of continuous financial contribution to COGES commune from COGES.
- 5) Any gap between rural/urban and remote area in terms of COGES budget.
- 6) Any support from commune council to COGES commune and COGES. Prospect for continuous support from commune councils. Any measures needed to ensure the support from commune council.
- 7) Your assessment on the results of pilot grant to COGES funded by the WB in your department. Any issues in terms of absorptive capacities and lessons learned. Conditions and capacities needed for success of provision of grant to COGES at each level: COGES supervisors, COGES officers, COGES communes and COGES levels.
- 8) Any further support needed to make COGES and COGES communes effective in terms of technical and financial aspects.

COGES 連合メンバーへの質問

0. Basic information

- 1) Year of establishment of COGES commune and COGES
- 2) Number of COGES and primary schools in your commune

1. Relevance

- 1) Members of COGES commune, their roles and responsibilities.
- 2) Difficulties you COGES commune members faced in taking your responsibilities if any.
- 3) How are you selected as a COGES member?
- 4) Degree of your satisfaction with your work as a COGES commune member. What is your motivation to be a COGES commune member? Are you happy to work as an FCC member? Would you like to continue to be a member? Why?

2. Effectiveness

- 1) Challenges/problems in education in your commune.
- 2) Contribution of COGES commune for challenges in education in your commune. Please provide data and information on changes in main education indicator and good practices for school improvement through COGES commune.
- 3) Frequency and content of COGES commune meetings. Effectiveness of monitoring role.

- 4) Challenges and difficulties that COGES commune faced. Any measures taken to solve the problems.
- 5) Relation with COGES officers: frequency, occasions for monitoring and contents of support from COGES officers. Any cases that COGES officers solved the problems.
- 6) Degree of your satisfaction with technical support from COGES officers and regional office of MNE to COGES commune. Areas of further support needed from them for further improvement of COGES commune.

3. Impact

- 1) Any difference in children, teachers and parents after COGES commune was established?
- 2) Reasons for increased gender gap in enrollment rate in Zinder in spite of the campaign efforts this year.

4. Sustainability

- 1) Means of disclosing financial report of COGES communes
- 2) Views on the possibility of continuous financial contribution to COGES communes from COGES.
- 3) Any support from commune council to COGES and COGES communes

コミュニティー幼稚園を運営する COGES メンバーへの質問

0. Basic information

- 1) Year of establishment of COGES and JEC. Members (female) of COGES members. Frequency of the COGES members meeting. Status of implementation of reelection.
- 2) Frequency of residents meeting, number of participants
- 3) Number of households in your community
- 4) Number and ages of enrolled children with data for girls, number of classes and teachers (contract ones)
- 5) School hours and days, starting and ending month.
- 6) Teachers: Number/sex, years of education, background, and duration of pre-service training.
- 7) Curriculum/program of JET

1. Relevance

- 1) Challenges/problems in education in your community.
- 2) Any other activities for school improvement through COGES. Number of planned and implemented activities. Total expenditure for activities.
- 3) Reasons for choosing establishment of JEC among other priorities of COGES.
- 4) Number of target ages children in your community (enrollment rate)
- 5) Number of application, any cases that the number of application exceeded the number of admission. If any, specify measures taken.
- 6) Degree of your satisfaction with your work as a COGES member. What is your motivation to be a COGES member? Are you happy to work as an COGES member? Would you like to continue to be a member? Why?

2. Effectiveness

- 1) Degree of your satisfaction with quality of JEC: teacher, service, building and materials

- 2) Any problems with teachers so far: strikes, long term absence, and etc. If any, specify measures taken.
- 3) Examples of changes brought by JEC in children in terms of knowledge, attitude and skills.

3. Efficiency

- 1) Initial cost (construction and materials) and operational cost per month (teachers salary) of JEC
- 2) Annual income and its source of COGES
- 3) Example of participation of community residents in JEC establishment and management
- 4) Monitoring JEC services: who, how, how often.

4. Impact

- 1) Any difference between primary school children with pre-school education and those without it. If any, specify.
- 2) Primary school teachers views on JEC
- 3) Any benefit brought by JEC on community residents
- 4) Reasons for increased gender gap in enrollment rate in Zinder in spite of the campaign efforts this year.
- 5) (To parents) Any increase in free time by sending children to pre-school. How do you use your free time? Any change in your life.

5. Sustainability

- 1) Contribution to COGES per household in a year, average income of household, number/percentage of household that contribute to COGES every year, prospect on continuous financial support to COGES from community, and challenges for ensuring community contribution.
- 2) Means of disclosing financial report of COGES.
- 3) Any support and monitoring by education authorities or commune council.
- 4) Challenges COGES faced in running JEC.
- 5) Future plan about your JEC through COGES

JOCV への質問項目

1. みんなの学校プロジェクトにおける JOCV の関わりの実績
2. APP 活動についての評価
3. みんなの学校、COGES についての評価

9. 面談・視察録

面談・視察録

日時	2009年2月9日(月) 8:10-8:20
場所	JICA ニジェール事務所
面会者	JICA ニジェール事務所 金田所員
調査団	三宅団員
<p>〈事務所とプロジェクトチームとの情報共有〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 金田氏は2008年7月から本案件の主担当になった。JICA事務所とプロジェクトチームとの間の情報交換・共有は円滑に行われている。理由としてプロジェクトチームの事務所は、ニアメのJICA事務所の近くにあるので物理的な距離の近さがあげられる。問題があったら、すぐにチームはJICAに電話をくれるし、必要であれば打ち合わせを行っている。特に予算管理、見返り資金については綿密に連絡をとりあっている。 	

日時	2009年2月9日(月) 9:00-9:50@EPTプロジェクトオフィス、2月11日(水) 21:00-21:30@ザンデルのホテル
面会者	EPT 三浦チーフアドバイザー
調査団	三宅団員
<p>〈担当官会議結果のフィードバック〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当者会議結果をプロジェクト活動の改善に活かした例としては、以前は担当官会議がCOGESに関するデータの発表のみであったが、これでは会議の目的である、①担当官のモニタリング・指導能力の向上、②課題解決と良き実践の収集、を行う時間が少ないため、会議前日に集計・分析するように徹底したことがあげられる。 また、COGESの活動報告の回収率が低い地域については、COGES連合にCOGES担当官がフィードバックすることとした。しかし、現実に担当官が連合にどの程度フィードバックしているかは不明である。 <p>〈プロジェクト目標達成見込み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在のプロ目の指標には数値目標がないため、達成度については何もいえないので数値目標を今回の中間評価に基づいて設定すべきであるとする。また、指標2の学校活動計画の策定率の指標のデータは、視学官への提出率であるが、策定されていても提出されていない可能性があるため、策定率とは異なる。サンプリング調査は、人的および資金的な費用がかかるので、費用対便益の観点からは、活動に資金と人を投資した方が良い。さらに、実施率のデータ収集は、全国対象では、不可能である。そこで、COGESが連合に提出する前年度活動報告書の提出率を、実施率の指標とすることを提案する。ただし、実施内容の分析は不可能である。 <p>〈阻害要因〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 阻害要因は第一に、見返り資金拠出の大幅な遅れである。COGES担当官によるモニタリング及び月例会議が実施されなければ、プロジェクトの目が現場に届き難い。 第二は、世銀支援によるCOGES担当官に対するバイクが支給されていないことである。窮余の策として州教育局から県視学官に対して、COGES担当官にバイクを貸与するよう手紙を出してもらった。バイク調達の遅れは、第一に、世銀の調達規則では、担当官分の40台程度のバイクの調達は国内入札で可能であるものの、国内調達は、腐敗が起こるとの懸念から、世銀は、視学官の車輛、教育主事のバイクと合わせて大きなロットで調達し、国際入札としていた。国際入札の複雑な調達制度に則って進めるには教育省のキャパシティはあまりにも弱いこと、また、調達後も登録番号を付与などでスタックしていることが時 	

間のかかっている原因。見返り資金の遅れの要因は2つある。第一に本件の責任を取る担当者が省内にいないことである。次に、資金管理支援というサービスを見返り資金で調達しようとしたことである。サービス調達がなく、資金を中央の口座から地方の口座に移すだけであれば、時間と手間はこれほどはかからなかった。結果的に、資金管理は見返り資金で行わず、プロジェクトで担うこととなったので、最初からそうすればよかったと言える。また懸念としては、見返り資金は教育省の一般会計予算に入ったので、資金の流用が起る恐れがあり、また、世銀供与のバイクも、調達に時間がかかったこともあり、COGES 担当官ではなく、指導主事のためにバイクが供与される可能性がある。

- ・ 新規6州でのCOGES設置研修は2008年2月に終了し、その後世銀によるバイクの供与の遅れ、見返り資金によるガソリン代およびバイクの維持費用抛出の遅れは、成果2のモニタリング体制の確立のための活動を約1年間遅らせ、やっと2009年2月に始まることになった。この機会費用は非常に大きい。これらのタイミングはプロジェクトがコントロールすることができない外部条件のはずだった。外部条件に、世銀によるバイク供与、見返り資金によるモニタリング費用抛出が計画通り行われることを明記すべきであったこと、あるいは、これらには時間がかかることを予測したPOを立案すべきであったことである。ここから得られる教訓は、今後、見返り資金や世銀資金などを活用するときは、(調達主体の省のキャパが弱いこともあり)、財とサービスの調達にはかなりの時間がかかること、よってそれを考慮した活動計画を立てることが必要。また、教育者側の責任者を明確にし、責任所在を明らかにすることも必要。

〈残りの期間に留意すべき事項〉

- ・ フェーズ2の残りの期間において、3カ月に一度の教育省から州教育局への送金が遅れることは十分に予測されるので、この対策を準備しておく必要なので、この面の教育省に対するサポートも行う。
- ・ タウア、ザンデールについては、残りの期間で出口戦略を早めに構築し、実施したい。モニタリングについては、①連合のモニタリング機能ならびにキャンペーン実施機能の持続化、②視学官会議の強化が重要である。視学官会議において、視学官、指導主事による学校への視察の際にCOGESから得た教員の欠勤状況も報告されていることが示すように、視学官、指導主事にとってCOGESは必要な存在となっている。COGES担当官によるモニタリングは、COGES連合レベルであり、COGES/学校のモニタリングはできないので、指導主事の役割が重要である。
- ・ 新規6州については、連合の機能強化のためのインプットを行い、第三フェーズで終了できるようにしたい。

〈第三フェーズ〉

- ・ 見返り資金は2年6か月分しかないので、その後も現在のモニタリング体制を継続・維持するのであれば、資金の確保を考えなければいけない。フェーズ3で、学校補助金をJSDFで支援する場合、以下が重要である。①世銀から政府への抛出のタイミングをコントロールするため早めに準備すること、②教育省の一般会計ではなく、Special Accountに入れること(これにより流用を防止できる)、③省の資金管理担当者を明確にし、かつ強力な人を配置すること、④JICA、省、プロジェクトで構成される管理委員会を推進できる人が必要だ。州教育事務所長レベルが望ましく、候補はいる。この人材に関する問題は、JSDFの管理費は5%しか出ない事である。インセンティブがなければ、優秀な人材の投入は難しい。

日時	2009年2月9日(月) 10:00-11:00
----	--------------------------

場所	EPT プロジェクト事務所
面会者	EPT 国枝専門家
調査団	三宅団員
<p>〈実施プロセス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> フェーズ 2 対象 6 州の教育行政官は主体的に活動していると言える。たとえば、COGES 担当官に対する世銀によるバイク供与が未だに支給されていないのだが、担当官は自分のバイクを使ったり、指導主事や友人のバイクを借りたり、公共交通機関を使ってモニタリングをしている。また、昨年 10 月から実施してきた連合設置研修では、監督官、担当官が積極的に研修の講師を務めている。 <p>〈成果の達成度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 連合設置については、研修対象コミュニティのうち 9 割以上で設置についての議事録が回収され、今後の達成見通しは高い。アガデスは治安上の理由から連合設置研修を延期し、COGES 担当官が直接 COGES をモニタリングしている。ニアメで連合設置率が低い理由は都市であるため、共同体意識が弱いこと、私立校も対象に含まれていることがあげられる。プロジェクトは月例会議を通じて連合設置を働きかけている。 タウア、ザンデールで連合の機能が低下の要因については、去年の 9 月までは担当官のモニタリング経費（ガソリン、バイク維持費）、月例会議開催費をプロジェクトが支援してきた。10 月からは見返り資金拠出の遅れのため、モニタリング経費が支援されず、月例会議も開かれなかった。10 月は新学期開始月であり、連合の活動計画立案が行われる重要な時期であるにもかかわらず、担当官によるモニタリングが行われなかったことが連合の機能低下の最大の要因である。言い換えれば、連合の機能化を保証するためには担当官によるモニタリングが必要であるといえる。 COGES に関する情報システムは、通常の教育省まであがるラインでは、COGES 設置および研修実施の有無情報のみで、学校活動計画の策定および実施についての情報は含まれていない。そこで、月例会議での COGES 担当官による報告によって情報を収集するという新しいシステムを構築した。タウア、ザンデールではこのシステムは可能であったが、新規対象州では、COGES 担当官のキャパを越えているため無理であり、情報を絞り込む必要がある。新規情報収集システムはモニタリング費用が支援されなければ機能しない。 COGES 連合の分担金徴収は特に大きな問題はない。ただ、分担金拠出を COGES が納得できるように、就学キャンペーンや質改善キャンペーンなどフォーラムなど連合の意義を COGES に示すことが不可欠だ。新規対象州においては、コミュニティを COGES 連合の設立に当初からまきこんでいるため、連合の財源はコミュニティからも期待できる。 COGES 連合の普及モデルの有効性は、フォーラムの実施ならびに COGES のモニタリングについてともに高いことがタウア、ザンデールで証明された。問題は、持続性であるが、モラル面および資金面でのコミュニティからの支援が重要。 	

日時	2009 年 2 月 9 日（月） 11:00-12:00
場所	EPT プロジェクト事務所
面会者	EPT 中澤専門家
調査団	三宅団員
<p>〈見返り資金〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育省の本件についての意識が低く、動いてくれない。省内の COGES 政策における、COGES 支援のためのモニタリング体制構築、強化の位置づけは低い。NGO 選定が政治的影響を受 	

けるという複雑さについては、プロジェクトチームは予測しておらず、認識不足だった。

- COGES 担当官会議開催費及びモニタリング支援費にかかる見返り資金の流れは、①4分の1半期ごとに教育省財務局が州教育事務所に送金、②COGES 担当者会議の数日前に COGES 監督官がその月の執行予定額をとりまとめ、州所長に提出、③担当官会議で COGES 担当官に対してガソリン代、出張旅費、バイク整備代、会議の軽食費の支払となる。懸念されることは、①の省から州への四半期ごとの送金が遅れることである。今回の決定（プロジェクトが資金管理支援を行うこと）については、もともと③についてはプロジェクトが第一フェーズで行ってきたことなので、ノウハウはプロジェクトに蓄積されている。しかし、月例会議のロジをプロジェクトが担うことは、持続性の観点からは問題があり、監督官は会議当日の議事進行で多忙であることから任せられず、州教育事務所内の職員を配置してもらうことが必要である（しかし実際には困難）。
- 見返り資金からの供与額は3年間で321,321,000 セーフターである。

〈成果の達成度〉

- 視学官会議は、フォーラムを補完する役割をもち、フォーラムで教育行政がコミットしたことを実施するためのメカニズムとして有効性が高い。視学官は学校を巡回し（もともとそうすることになっている）、教員を解雇できる権限を持つ。視学官会議に伴う費用のうちガソリン代は視学官事務所が出しており、EPT は会議の開催費のみを負担している。視学官会議は、以前は1年に1、2回程度開かれる程度であったが、タウア、ザンデルではプロジェクト支援決定の9月以降、ほぼ毎月開かれている。したがって他州では現在定期的に行われていない。視学官が学校を巡回することで教員の欠勤が減り、子どもの出席率が上がるという成果が期待される。
- タウア州で入学登録時における男女格差が事前登録時と比べて低下した要因の一つは、事前登録時には優先的に女子を登録者名簿に載せるなどの調整が可能であったが、実際の登録時には受付順に登録、多くの男子が女子よりも早く登録したためにコントロールが困難となり、その結果、事前登録時よりも男女格差が拡大した。
- COGES の会計報告の透明性については、毎回住民総会で報告される必要がある。まず第1回住民総会で学校活動計画と実施にかかる予算が発表され、学年度末の報告のための総会では、実施状況とともに会計報告が行われる。会計・活動報告を張り出していないが、総会時に毎回報告することで、ある程度透明性は確保される。校長や教員による不適切な使用があった場合、COGES が視学官に連絡し、教員が解雇されることもありうる。

日時	2009年2月9日（月）18:00-:18:15
場所	タウア州 コニ県視学官事務所
面会者	コニ県視学官（表敬訪問）
調査団	三宅団員、EPT 影山専門家、臼倉職員（JICA 新人 OJT）
〈プロジェクトに対する評価〉	
<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクトを高く評価している。コニ県では特に APP の推進、就学促進においてプロジェクトの効果が大きい。視学官会議も効果的である。2015年のEFA目標の達成にプロジェクトは貢献している。成功要因は、コミュニティに対する研修によって COGES が機能したことである。今後の課題は、COGES の機能を継続するために COGES メンバーに対する継続的な研修を行うことである。 	

日時	2009年2月10日（火）19:30-20:00
----	--------------------------

場所	コニのホテル
面会者	JOCV 大野かおり 隊員
調査団	三宅団員
<p>〈COGES と隊員間の協力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タウア州には、8名の村落開発分野の JOCV が視学官事務所に派遣されている。2007年11月に10校を対象に APP 活動についての研修を実施した。内容は改良かまどづくり、環境保全、ゴミ問題、自然方法についてで、人形劇を取り入れた。対象は、COGES のメンバーであった。その後 JOCV は、APP 活動のモニタリングも行った。その結果、コンポストが4箇所設置され、いくつかの学校が自然農法に取り組み、改良かまどが約100世帯に普及した。2008年度は、前年度の対象校に加えて4校を対象とし、計14校を対象に研修を行った。現在は、JOCV 隊員=APP の人という認識が COGES、学校に広がっている。 ・ EPT については、学校レベルでの APP 活動への協力を JOCV は行ったため、EPT と JOCV が混同されることはなかった。COGES/EPT があったからこそ、このような隊員による活動が可能になったわけなので、隊員としてありがたい幸運であったと感じている。 	

日時	2009年2月10日(火) 8:30-10:00	
場所	タウア州コニ県サルナワコミュニオン Zongo Aroki 小学校	
面会者	Zongo Aroki COGES メンバー6名、村長	
調査団	三宅団員、EPT 影山専門家、臼倉職員 (JICA 新人 OJT)	
関連資料	活動・財政データについてはプロジェクト提供資料を参照のこと	
生徒数	157名 (うち女子59名)	
住民数	267世帯	
COGES 設立年/改選の有無	2004年、改選選挙は未実施	
現在の COGES 委員	委員長は保護者会、書記は校長、会計は保護者会、選挙で選出	
COGES の活動状況 (2007年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局会合開催回数：12回 ・ 事務局会合出席者数：5-6名 (6名中) ・ 総会開催回数：2回 (学期初めと終わりに開催) ・ 総会出席者数：200名程度 	
活動実施度 (2008年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の7つの活動のうち4つが実施済みあるいは実施中。3つは未実施。 ・ 計画の106,675F をすべて動員済み。 	
COGES 活動の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニオンにとって役に立つことを示したこと ・ 成果を住民に示し、希望を与えたこと ・ 寄付が難しい場合、労働、作物、物品の提供をしてもらい、貢献の選択肢を用意してあること 	
APP クラブの成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 藁座編み、家畜用飼育づくり、サッカーの3つのクラブがある。 ・ 子どもの知識が増え、学習意欲が高まった。 ・ 子どもが学校に行くのが好きになった。 ・ 小学校を卒業したら働くので、APP クラブで得た技能、知識は卒業後の生活、生計向上に役立っている。 	
今後の教育行政からの支	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材、物資なんでも良いのでほしい。 	

援ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> • 5年間教科書が供与されていない。 • 学校活動計画立案、財務管理についての研修の実施。 • 報告書の作成方法（事務局長より）
------	--

日時	2009年2月10日（火）18:40-19:10
場所	ザンデール州 DREN 事務所
面会者	ザンデール州 DREN
調査団	三宅団員、EPT 影山専門家、白倉職員（JICA 新人 OJT）

プロジェクトの評価	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクトがはじまった当初、私は視学官だった。当初はこのプロジェクトは学校教育関係者（教員や行政官）の権威を失わせるものではないかという懸念が彼らの間にあり、プロジェクトの推進に消極的だった行政官もいた。1年後にプロジェクトは大きな成果をもたらしたため、この懸念は払拭された。教育の改善はコミュニティに根ざすべきであるというマインドセットを教育行政官や教員にもたらしたことは大きい。 • もう一つのプロジェクトの貢献は、フォーラムである。COGES/EPT は、フォーラムを通じて住民、教育行政、コミュニティからこれほどのコミットメントを引き出すまでに成長した。フォーラムのモデルは他州に普及されるべきだと確信している。フォーラムモデルの鍵は、①すべてのステークホルダーを結集させること、②ステークホルダーからのコミットメントを引き出すこと、③成果を重視すること、である。この意味でフォーラムは、目標が達成されるまでは終了したとは言えない。
訪日研修の効果	<ul style="list-style-type: none"> • 教育技術や現職研修の方法についても参考になったが、学校訪問が最も興味深かった。コミュニティが学校に対して高い関心を持ち、監視していることがわかった。また学校運営がニジュールとは異なり、校長は学校運営を担当し、教頭が教授を担当している。ニジュールでも教員の質改善のための現職研修が重要であると感じた。
プロジェクトの残りの期間における支援ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> • ニーズは限りなくある。背景として、教育は無償で提供されなければならないが、経済状況は厳しい。学習内容は児童の学習ニーズに適していない。学校を政策の最優先課題としなければならない。教員および教材の質の改善のために教育図書館の設立が必要だ。我々は待っているのではなく、行動しなければならない。
COGES への補助金供与の是非	<ul style="list-style-type: none"> • 世銀のパイロット補助金供与について AGEPA 会議のためにチームでペーパーを準備した。率直に言えば、間違った供与が行われた。つまり、COGES に金を持ってきて、金を使うことを強制した。供与側である世銀が補助金の使途を決めるのではなく、需要側である COGES が一定の枠内で補助金の使途を決めるべきだ。COGES は、資源動員の方法の技能を持ち、

	コミュニティのニーズを知っており、資金を管理できる。ボトムアップのアプローチを補助金の配布スキームにおいては徹底すべきだ。いくつかの COGES が学校改善計画の優先度に基づいて補助金を使ったのは当然である。
--	--

日時	2009年2月10日(火) 19:15-19:45
場所	ザンデール州 DREN 事務所
面会者	Mr. Ibo, Coordinator, EPT Project Team
調査団	三宅団員、白倉職員 (JICA 新人 OJT)
<p>〈実施体制〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 州担当制の導入の利点は、活動および成果のモニタリングはやりやすくなったこと、出張は減り、負担は軽減されたことである。欠点は、州を一部の人が担当することで問題が起きた場合の対処が難しくなること、全体の調整が難しくなることである。そこで州別担当者の指導・調整者が必要であろう。 設置した FCC を機能化させるためにフィールドスタッフを州レベルに駐在させることを提案しているが、すぐには難しい。FCC および COGES に技術移転をするには、配置する人材の能力強化がまず不可欠だ。潜在能力のある若い人材はいる。ローカルスタッフを各州に配置した場合、ニアメ事務所は計画と運営管理、各州のフィールドスタッフは研修実施と指導助言を担当することになる。各州に1名で十分で、FCC 機能化のために必要な期間、少なくとも6か月間から1年間配置してはどうか。 <p>〈フォーラムアプローチの有効性〉</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーラムアプローチは成果を挙げたが、鍵は、フォーラムでの決議を FCC、COGES が住民にフィードバックすることだ。フィードバックのプロセスを保証するのが COGES 担当官なので彼らの役割は大きい。 <p>〈コミュニティ幼稚園の有効性〉</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ幼稚園は教育行政機関ができないことを COGES がやってのけた事例の一つである。就学率向上、女子教育促進に貢献している。 コミュニティ幼稚園のモデルとしての普及度、持続性は、FCC による COGES 活動に対するモニタリングが重要である。機能する COGES と FCC があれば、他州でも普及は問題ない。 課題は、幼稚園の運営費、保育者の給与を住民が負担しているので、COGES およびコミュニティ幼稚園に対する住民の信頼が鍵である。 <p>〈近隣フランス語諸国へのインパクト〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ブルキナ、マリ、セネガルで研修をした経験から COGES のモデルは普及可能であると考えている。COGES モデルの普及は、地方分権化が進むほど容易になるため、地方自治体がニジェールよりも強いマリでは、進展すると思う。 	

日時	2009年2月10日(火) 20:30-21:30
場所	ザンデールのホテル
面会者	ザンデール州 COGES 監督官
調査団	三宅団員、EPT 影山専門家
監督官の就任時期	2004年から
COGES 機能化の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> COGES メンバーが各自の責任を認識していること。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校活動計画の策定と実施 ● 事務局会合と総会の開催 ● 運営の透明性：資金管理、帳簿の記帳、寄付の記録、訪問者の記録
州内の COGES 数	● COGES の数は 1830、FCC の数は 58
監督官が直面した課題	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト開始当初は、学校は住民のものだという考えは画期的だったので受け入れるのが難しかった。 ● 州が広く、バイクでモニタリングをするのは困難である。
COGES 連合設立・モニタリングマニュアルの活用	● 州内のすべての FCC に配布され、COGES 担当官によって活用されている。
レポートシステム	● 月例担当官会議での報告をチェックし、編集した後、COGES 推進室に提出される。担当官会議は、州教育事務所に議長をやってもらうようにし、彼の COGES への関与を高めている。
プロジェクトからの支援に対する満足度	● プロジェクトの研修は、参加型でシミュレーションを取り入れているのが効果的。
残りの期間における支援ニーズ	● COGES は、技術面、財政面の継続的な支援を必要としている。
COGES の他目的における活用	● 機能する COGES は、良い成果をもたらすので、水供給、環境改善といったコミュニティ開発分野でも活躍している COGES もある。Dogo の COGES は、保健ポストを開設し看護師を配置した。
COGES の財政面の持続性	<ul style="list-style-type: none"> ● COGES の財政面の持続性を保証するためには、COGES が役に立つことを住民に理解してもらうための啓発が不可欠だ。 ● 現金だけでなく、物資、労働といった形態での住民からの貢献を保証することも大切だ。
フォーラムアプローチの有効性と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 女子就学促進のために、FCC、COGES、教育行政が共同でコミットしたことが効果をあげた。モデルとしては既に確立したので、他州への普及は可能だ。 ● フォーラムでコミュニケーションを巻き込み、結果を示すことはコミュニケーションからの支援拡大にもつながるだろう。
COGES への補助金の是非	<ul style="list-style-type: none"> ● 世銀のパイロット補助金は問題はあったが、許容範囲である。各 COGES に 7 万 F が、①後で用途をモニタリングすると通知した群、②用途が決められていた群、③なんの指示もない群、の 3 群に対して交付されたが、その目的が何かがよくわからない。 ● 補助金自体は良いことだ。しかし、機能する COGES がまずあることが補助金の前提とされなければならない。

日時	2009 年 2 月 11 日 (水) 8:30-9:40
会場	ザンデル州教育事務所会議室での視学官会議見学
<ul style="list-style-type: none"> ● 議長は、州教育事務所で参加者は視学官ら約 20 名。午後 2 時まで開かれる会議の冒頭の一部を見学した。議題は、①活動の報告と分析、②フォーラムの準備 (テーマの選択、参 	

<p>加者、運営、発表)、③その他であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動報告では、学校訪問の回数、CAPED の開催数、訪問した COGES 数などが報告されていた。COGES 担当官は、常駐する視学官事務所の管轄下にある FCC、COGES だけでなく、県内のすべての視学官事務所の管轄下の FCC、COGES を担当しなければならないことを COGES 担当官に認識させる必要性についての議論があった。 実績の定量データの報告に時間がとられるので、前日までにデータを提供し、当日はコピーが配布されるようにプロジェクトは働きかけている。

日時	2009年2月11日(水) 11:30-12:50	
場所	ザンデル州ミリア県 Dogo コミュニティ Dogo 小学校	
面会者	Dogo COGES メンバー：会長、書記、会計	
調査団	三宅団員、白倉職員 (JICA 新人 OJT)	
関連資料	活動・財政データについてはプロジェクト提供資料を参照のこと	
生徒数	550 名	
住民数	人口 12,000 人	
COGES 設立年/改選の有無	2004 年、2007 年に改選	
現在の COGES 委員	委員長は保護者会、書記は校長、会計は母親会、選挙で選出	
COGES の活動状況 (2007 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 事務局会合開催回数：12 回 事務局会合出席者数：6 名 (全員) 総会開催回数：3 回 総会出席者数：300 名 (他の COGES の総会に行く人もいる) 	
活動実施度 (2007 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 計画の 5 つの活動のうち 5 を実施。 予算額 486600F のうち 100%を動員済み。 	
COGES 活動の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> 1 世帯あたり 500F を動員する予定だが、一度に払うのではなく 100F ずつ徐々に貢献してもらう方法を採用しており、一度に過度の負担がかからないようにしている。 住民の意識化への努力と忍耐 	
COGES 活動の阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> COGES メンバーが自己中心で質が悪い場合問題が起きやすい。 	
COGES の会計の公開方法	<ul style="list-style-type: none"> 総会での活動・会計報告を行う。監査も実施している。 	
幼稚園の概要	<ul style="list-style-type: none"> 開設年：2008 年 2 月 児童数：46 名、内女子 24 名 対象年齢：4-6 歳 開園時間：8:00-11:30、週 5 日、11 月から 4 月。 	
保育者	<ul style="list-style-type: none"> 住民で小学校 3 年生修了者。 養成研修は受けていないがタウア州へのスタディーツアーに参加した。 	
幼稚園のモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 校長がモニターしている。 	
幼稚園のニーズ・設置理由	<ul style="list-style-type: none"> こどもの教育のため 	
幼稚園設置による子どもへの影響	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園卒園児童は 1 年生に進級した際、幼稚園に行っていない児童よりも、学習意欲が高く、欠席が少ない。 親にあいさつをするなど態度が改善した。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ● 落ち着きがなかったが改善した。
幼稚園設置による親への影響	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども安心して預けられる。 ● 子どもを怒らなくてすむので気持ちがやすらぐ。 ● 親同士の協力や連帯が高まった。 ● 家事や仕事をする時間ができた。
幼稚園の課題・阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 入園申込者は多く幼稚園のニーズは高いが、クラスが1つのため先着順で入園者を決めている。来年は教員を2名にして2クラスにしたい。

日時	2009年2月11日(水) 12:00-12:20
会場	ザンデール州 Dogo COGES FCC 総会@Dogo 小学校
	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間時の FCC の総会の一部を見学した。議題は、①COGES の活動の中間報告、②FCC の財政状況であった。活発に議論が行われている様子が伺えた。

日時	2009年2月11日(水) 12:30-13:20																									
場所	ザンデール州ミリア県 Dogo コミューン Dogo 小学校																									
面会者	Koutchika COGES メンバー：委員長(女性)、書記、元会長 *FCC 総会に参加していた同 COGES にインタビューをした。																									
調査団	三宅団員、臼倉職員(JICA 新人 OJT)																									
生徒数	326 名																									
住民数	人口 3,000 人																									
COGES 設立年/改選の有無	2005 年、2009 年に改選																									
現在の COGES 委員	委員長は保護者会、書記は校長、会計は母親会、選挙で選出																									
COGES の活動状況(2007 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務局会合開催回数：12 回 ● 事務局会合出席者数：6 名(全員) ● 総会開催回数：3 回 ● 総会出席者数：60-70 名 																									
活動実施度(2007 年度)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校活動計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>コミュニティ幼稚園の運営</td> <td>実施済</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>机と教科書の補修(追加活動)</td> <td>実施済</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>補習クラス</td> <td>実施済</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>学校祭</td> <td>実施済</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>優秀な生徒の表彰</td> <td>実施済</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>教室の内装の補習</td> <td>実施済</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>女子就学についての啓発</td> <td>実施済</td> </tr> </tbody> </table>		学校活動計画	実績	1	コミュニティ幼稚園の運営	実施済	2	机と教科書の補修(追加活動)	実施済	3	補習クラス	実施済	4	学校祭	実施済	5	優秀な生徒の表彰	実施済	6	教室の内装の補習	実施済	7	女子就学についての啓発	実施済	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画した6つの活動をすべて実施し、追加の1活動を実施済。 ● 2007 年度は世銀/PADEB の補助金があり、予算のうち6割を補助金で4割を住民の寄付で調達した。
	学校活動計画	実績																								
1	コミュニティ幼稚園の運営	実施済																								
2	机と教科書の補修(追加活動)	実施済																								
3	補習クラス	実施済																								
4	学校祭	実施済																								
5	優秀な生徒の表彰	実施済																								
6	教室の内装の補習	実施済																								
7	女子就学についての啓発	実施済																								
COGES 活動の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民の学校に対するオーナーシップ ● 女子の就学促進についての住民に対する啓発 ● 住民参加についての COGES メンバーの自信 ● 透明性 																									

COGES の会計の公開方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 総会での活動・会計報告を行う。総会に来れない住民に対しても個別に報告するよう努力している。
幼稚園の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 開設年：2007 年 ● 児童数：37 名 ● 対象年齢：3-5 歳 ● 開園時間：8:30-11:00、週 4 日、10 月から 6 月。
保育者	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティからの女性 1 名、小学校修了者。 ● EPT からの養成研修を受けた。スタディーツアーにも参加。
幼稚園のモニタリング	● 校長 (COGES 書記)
幼稚園のニーズ・設置理由	下記影響と同じ
幼稚園設置による子どもへの影響	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校入学への近道 ● 子どもの知識が増えた：フランス語 ● 子どもの性格がよくなった
幼稚園設置による親への影響	● 母親の負担が軽減し、自由な時間が増えた。
幼稚園の課題・阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 特にないが、高速道路に近いため子どもが心配 ● 教材の不足

日時	2009 年 2 月 12 日 (木) 9:00-9:10
場所	ザンデール州グレ県 Guidiguir コミューン市役所
面会者	Guidiguir 市長補佐 (表敬訪問、市長は不在)
調査団	三宅団員、EPT 影山専門家、臼倉職員 (JICA 新人 OJT)
〈コミュニケーションから FCC への支援〉 <ul style="list-style-type: none"> ● FCC の総会の開催費、旅費の資金、食事を支援している。2006 年から FCC の事務所のために土地を無償で提供している。 ● 	

日時	2009 年 2 月 12 日 (木) 9:35-10:40
場所	ザンデール州グレ県 Guidiguir コミューンの小学校
面会者	ザンデール州グレ県 Guidiguir コミューン FCC 事務局員：事務局長、書記官、会計
調査団	三宅団員、臼倉職員 (JICA 新人 OJT)
関連資料	活動・財政データについてはプロジェクト提供資料を参照のこと
連合設立年	2006 年 10 月設立、改選を実施済み
加盟 COGES 数 (2008 年度)	52
FCC の役割	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方分権化にともなう学校改善、女子就学促進 ● COGES への支援と COGES のニーズへの対応 ● COGES のモニタリング、監督 ● マニュアルや教材の購入 ● 教員の配置確保
FCC メンバーの動機	● 事務局長：教育の改善に関心があった。選挙で選出されたのでうれしい。無償のボランティアであるが、FCC の仕事は好

	<p>き。むしろ自分たちのためにやっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 書記官：選挙で選出されたことが動機につながっている。COGES の抱える問題を解決に貢献できるのがうれしい。 ● 会計：幸せで満足している。COGES が自分を選んでくれたのがうれしい。
機能する FCC の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 女子教育促進などについて住民への啓発活動を行っていること ● COGES の活動計画の回収を通じたモニタリング ● フォーラムによる情報の伝達
FCC の阻害要因・課題	<ul style="list-style-type: none"> ● COGES の問題解決のための交通手段の不足 ● コミューンからの支援不足
教育行政に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ● COGES 担当官は、FCC に一月に 5,6 回程度会っている。FCC の指導助言をしてくれる。COGES に関するルールや文書が見当たらないときはすぐにもってきてくれる。彼には非常に感謝しているため、FCC は彼に感謝状を贈った。 ● COGES 担当官による問題解決の事例：自分の子どもの就学に反対している親がいた。COGES は住民総会を開き、COGES 担当官が会合の子どもの教育の重要性を説いた。その結果、2 日後その親は学校に来て、子どもを学校に行かせると校長に伝えた。
教育行政からの今後の支援ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告書の作成、手紙の書き方、会計、資金調達、アドボカシーについての研修の実施、情報の提供をしてほしい。
会計報告の公開方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 連合総会ですべての加盟 COGES に対して活動、会計報告を行い、領収書つきの帳簿を公開している。
コミュニティからの支援獲得の戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニンの税収が少ないため、2007 年度は 20,000F、2008 年度は 10,000F の支援しか得られなかった。FCC はコミュニティ議会、伝統的指導者、宗教指導者に対して FCC の有効性を認知してもらうよう働きかけている。「現在は支援が少ないが、たぶんわれわれはいつか成功するだろう」。(会長) ● その他の資金源として、これまでは申請していないが、SNV, World Vision への助成申請を検討している。
所感	<ul style="list-style-type: none"> ● COGES 担当官に対する絶大な信頼と感謝が伺えた。インタビューの際は、担当官には席をはずしてもらったが、インタビュー後、いつも持っているという感謝状をうれしそうに見せてくれた。

日時	2009 年 2 月 12 日 (木) 11:30-12:50
場所	ザンデル州グレ県 Guidiguir コミューン Mai Ram 小学校
面会者	Mai Ram COGES メンバー：会長、事務局長、会計、および村長 (FCC の副事務局長) および保護者、住民約 20 名
調査団	三宅団員、臼倉職員 (JICA 新人 OJT)
生徒数	112 (うち女子 37 名)

住民数	人口 433 人
COGES 設立年/改選の有無	2004 年
現在の COGES 委員	委員長は保護者会、書記は校長、会計は母親会、選挙で選出
COGES の活動状況 (2007 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 事務局会合開催回数：4 回 事務局会合出席者数：6 名 (全員) 総会開催回数：3 回 総会出席者数：80-100 名
活動実施度 (2008 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 計画の 3 つの活動はすべて実施済み。追加の 2 つの活動 (藁葺き教室 2 教室建設、コミュニティ幼稚園の建設および運営) も実施済み。 予算計画の 81,200F に対して 82,900F を動員済み。
COGES 活動の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> すべての世帯が寄付をした。寄付調達成功の要因は、現金だけでなく、シリアルの提供、葉で作ったロープの提供をもらって換金するという戦略を採ったためである。
COGES の会計の公開方法	<ul style="list-style-type: none"> 総会ですべてを明らかにして報告しているので問題が起きたことはない。
幼稚園の概要	<ul style="list-style-type: none"> 開設年：2009 年 1 月 児童数：70 名、内女子 38 名 対象年齢：3-5 歳 開園時間：9:00-11:00、週 5 日、1 月から 5 月。
保育者	<ul style="list-style-type: none"> 住民で小学校 6 年生修了者。女性。 養成研修はなし。プロジェクトによる COGES 向けの幼稚園設置研修は受けた。 (観察によると) 地元の材料で子どもにおもちゃをつくらせるなど教材不足に工夫して対処している。
モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 女性の小学校教員がモニターしている
幼稚園のニーズ・設置理由	<ul style="list-style-type: none"> 小学校への入学率が向上した。 子どもの発達に寄与した：知識が増えた、歌を覚えた、態度が改善した、お祈りの時間を親に教えるようになった。 親の生活が楽になった：家庭での子どものトラブルが減った。子どもが叫ばなくなった。衛生習慣が身についた。
幼稚園設置による子どもへの影響	幼稚園のニーズ・設置理由と同じ
幼稚園設置による親への影響	幼稚園のニーズ・設置理由と同じ
幼稚園の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> COGES 担当官が勧めてくれたおかげで幼稚園を設置できた。感謝している。
幼稚園の課題・阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> 藁葺きのため雨が降ると寒いと思われるので子どもを守るためにより良い施設の教室にしたい。 児童数が 70 名と多すぎるため、もう一人教員を雇って 2 クラスにしたい。
幼稚園についての教育行政からの支援ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 教材、おもちゃ、黒板など基本的なものの提供 教室の建設、トイレの建設

所感	<ul style="list-style-type: none"> できたばかりの幼稚園で活気があった。幼稚園開設を COGES メンバー、保護者が非常に喜んでいた。
----	---

日時	2009年2月12日(木) 15:30-16:30
場所	ザンデル州グレ県 Guidiguir コミューン COGES 事務所
面会者	ザンデル州グレ県 COGES 担当官
調査団	三宅団員、白倉職員 (JICA 新人 OJT)
担当官の就任時期	2003年から
担当 FCC、COGES 数	FCC 数: 7、COGES 数: 308、現在 39 校が新設中
FCC への会合頻度	<ul style="list-style-type: none"> 7FCC のうち 6FCC は月に 6 回会っている。一つの FCC は僻地にあるため 2 回程度。
担当官の役割と任務	<ul style="list-style-type: none"> COGES の研修、モニタリング、指導 COGES の抱える問題の解決: 事例 2 つの近隣の村で学校を建設する際に、学校の場所について対立が起きた。担当官が仲裁に入り、建設場所を双方が合意した。 FCC のモニタリング、指導、研修
COGES 機能化の鍵	<ul style="list-style-type: none"> 民主選挙による COGES メンバーの選出 資金使用の透明性の保証 学校活動計画の策定と実施
プロジェクトで受けた研修の満足度	<ul style="list-style-type: none"> 非常に満足している。教育改善に携わる者として有益だった。他の研修としては、SNV による研修を受けたことがあるが内容は似ていた。
担当官が抱えた課題	<ul style="list-style-type: none"> バイクがプロジェクトから 2005 年 10 月に供与されるまでは移動手段が問題だったが、今は問題ない。コミュニティとの関係では特に問題はない。
担当官の業務に対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> 非常に幸せである。今後も担当官の仕事が続けたい。
COGES 連合設立・モニタリングマニュアルの活用	<ul style="list-style-type: none"> 大変役立っている。
レポーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、担当者会議で視学官に提出している。
担当者会議の有効性	<ul style="list-style-type: none"> FCC の強み(実績)と弱み(課題)を報告しあい、課題解決のための方策を議論している。 担当者会議による課題解決の事例① FCC に改組する際、教員が事務局長になれないという法令に一部の教員が反対した。COGES 担当官は、この問題を担当者会議で話し合った後、民主的な FCC 運営という法令の趣旨を教員たちに説明し、教員を納得させた。 担当者会議による課題解決の事例② FCC への支援に否定的な市長がいた。担当官会議でこの問題を話し合い、FCC に法令により FCC は市長の管轄下であり、FCC 支援は市長の仕事であることを伝えるように FCC を指導した。この結果市長の態度が好転した。

フォーラムアプローチの有効性	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムは、就学率の向上、質改善で成果をあげたが、貧困という大きな問題を COGES は抱えており、FCC は COGES に依存している。現状ではコミューンから FCC への支援も少ない。フォーラムの有効性を高めるためには、更なるアウトリーチによって動員力を高めることが鍵となる。これが市長を含むアクターのコミットメントを引き出す。
COGES、FCC の資源の格差の有無	<ul style="list-style-type: none"> コミューンからの支援の有無は FCC 間の格差をもたらしていると言える。解決策は、フォーラムの推進、FCC のアドボカシー能力の強化であろう。ザンデールではこの分野の研修を行っている。
COGES への補助金供与の是非	<ul style="list-style-type: none"> グレ県においても世銀の補助金が 30 の COGES に供与された。補助金はいくつかの活動の実施を助けたので有効であった。パイロット補助金の問題は、FCC から COGES への補助金を配布する交通手段が支援されなかったことである。 補助金を供与するにあたっては、行政側はモニターする体制をとること、COGES 側は会計管理の能力を有し、透明性を保証できることが不可欠だ。
残りの期間における支援ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 財務管理についての研修 COGES への補助金の供与。 FCC に対するアドボカシー研修。

日時	2009 年 2 月 12 日 (木) 17:10-17:40
場所	ザンデール州ザンデールコミューン視学官事務所
面会者	ザンデール州ザンデールコミューン視学官
調査団	三宅団員、白倉職員 (JICA 新人 OJT)
プロジェクトの評価	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトは良いタイミングで実施された。以前になかった学校運営への住民の参加という方法で学校のニーズに沿った改善方法を示した。住民は学校を信頼するようになった。 特にフォーラム、視学官会議は女子就学の改善、成績の向上に寄与した。 フォーラムは、他州へ普及されなければならない。そのためには FCC を設置し、研修をし、モニタリングのための移動手段への支援を行う必要がある。 視学官会議は、実績の確認、活動の改善、経験の交流のために有効な機会となっている。
COGES への補助金供与の是非	<ul style="list-style-type: none"> 世銀による COGES へのパイロット補助金供与がザンデールコミューンでも実施された、世銀のコンサルタントが評価調査を実施した。 補助金は良いことだと思う。重要なことは、モニタリングが実施されること、コミュニティが関与し、使途に裁量をもたせること、一部の COGES ではなくすべての COGES に供与することであろう。

日時	2009年2月12日(木) 18:00-18:10
場所	ザンデル州ザンデルコミュニティ II 長室
面会者	ザンデル州ザンデルコミュニティ II 長 (表敬訪問)
調査団	三宅団員、白倉職員 (JICA 新人 OJT)
〈コミュニティから FCC への支援〉 <ul style="list-style-type: none"> • COGES は学校改善に貢献しているので、学校へのあらゆる支援は COGES を通じて行われるべきだと考えている。 • 今年は FCC の活動、資器材のために 100 万 F を支援した。今後の支援の見込みについてはコミュニティの税収額による。 	

日時	2009年2月12日(木) 18:15-19:15
場所	ザンデル州ザンデルコミュニティ II 役所会議室
面会者	ザンデル州ザンデルコミュニティ II FCC 事務局：事務局長、書記官、モニタリング担当、教育の質担当、コミュニケーション担当、会計、副会計、紛争解決担当
調査団	三宅団員、白倉職員 (JICA 新人 OJT)
関連資料	プロジェクト提供による活動・予算データを参照のこと
連合設立年	2006年に連合を設立、2008年に FCC に改組。
加盟 COGES 数 (2008 年度)	37
FCC 事務局員の動機	<ul style="list-style-type: none"> • 学校改善、質改善が目に見えるのがうれしい。選挙で選ばれたことを誇りに思う。
機能する FCC の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニティからの 100 万 F の支援によって、教材を用意できたので 2 回終了試験の模擬試験を実施できた。→成績の向上に寄与。 • 住民を対象にした広範囲の啓発→女子就学改善に寄与。
FCC の阻害要因・課題	<ul style="list-style-type: none"> • 事務局長：学校に対する反感ははまだ一部あるが解決可能になった。資金の制約のため活動計画を減らさざるえないこともある。 • 当初は、COGES と保護者会の対立が一部みられたが今はない。
教育行政に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> • COGES 担当官は FCC と良い関係にある。彼は完璧に仕事をしてくれている。必要な時に頼むといつも来てくれる。研修、啓発をよくやってくれる。コミュニティと FCC の間のかけはしとなってきている。 • COGES 担当官の良い事例：FCC を設立する際、教員が会計担当になろうとしたが、COGES 担当官が FCC のルールを説明してくれて、教員を納得させた。
今後の教育行政からの支援ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> • 簡易マネジメントについての研修 • 資金助成申請書の書き方についての研修 • 結果重視型アプローチについての研修
COGES から FCC への分担金 拠出継続の見込み	<ul style="list-style-type: none"> • 定期的に拠出されており問題はない。FCC が透明性を確保することが大切だ。

コミュニティから FCC への支援継続の見込み	<ul style="list-style-type: none"> • 今後もコミュニティからの支援は拡大する見込みだ。コミュニティ開発計画 (PDC) には FCC の計画のうちいくつかが入っている。しかし PDC の策定委員会に FCC のメンバーは入っていない。 • コミュニティ長は、簡易マネジメント研修、活動計画立案研修のために 107,000F を支援することを約束した。また CAPEP を支援することを約束している。 • FCC からの要請により、コミュニティは 300 名の出生届を受理した。
-------------------------	---

日時	2009 年 2 月 13 日 (金) 15:30-17:15
場所	タウア州イレラ県タジアエココミュニティ Kossori 小学校
面会者	Kossori COGES メンバー：会長、副会長、事務局長、会計、子ども代表、メンバー 2 名、および住民・幼稚園の保護者 (人数が多いので、COGES メンバーと住民・保護者の 2 グループに分かれてインタビューした)
調査団	三宅団員、EPT 影山専門家、臼倉職員 (JICA 新人 OJT)
関連資料	活動・財政データについてはプロジェクト提供資料を参照のこと
生徒数	258 (うち女子 79 名)
住民数	467 世帯、人口 3800 人、毎月 9 人ほど出生
COGES 設立年/改選の有無	2005 年、2007 年に改選選挙を実施
現在の COGES 委員	委員長は保護者会、書記は校長、会計は保護者会、選挙で選出 子ども代表は 6 年生 (5 年生時に選出)
COGES の活動状況 (2007 年度)	<ul style="list-style-type: none"> • 事務局会合開催回数：12 回 • 事務局会合出席者数：約 6.5 名 (7 名中) • 総会開催回数：6 回 • 総会出席者数：116-180 名
活動実施度 (2008 年度)	<ul style="list-style-type: none"> • 計画の 6 つの活動のうち「木の手入れ」以外は実施済み。木の手入れも実施予定。 • 計画の 21 万 F のうち 126000F を動員済み。
COGES 活動の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> • 住民の啓発、意識化 • メンバーのやる気：「COGES は頭に載せて運ぶ木のようなものだ。誰かが運んでくれるとありがたいが、誰も運ばないなら自分がやる。そうすれば誰かが必ず助けてくれる」。(副会長の女性) • 養鶏による収益：敷地内に養鶏小屋を作っており、成長後市場で売っている。
COGES 活動の阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> • 雨不足のため今年度のミレットの収穫が昨年度と比して 30% しかなく、住民からの寄付を得るのが難しい。「収穫がよければわれわれはなんでもできるのだが」。(会長) 昨年度は一軒づつ COGES メンバーが回って全世帯から寄付を得た。対処策として、今年度は全世帯からの寄付はあきらめ、小学校、幼稚園の児童の保護者からのみ 650F を募っている。ま

	<p>た支出を減らすために、幼稚園の開園期間を当初 1 月から 10 月までを予定していたが、5 月までの 5 カ月間に減らした。</p>
COGES の会計の公開方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民総会で寄付額、使途の詳細を報告する。また、使途は活動の成果なので住民に見えやすい。たとえば、藁葺き校舎に使ったという報告の証拠は一目瞭然である。
幼稚園の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 開設年：2007 年 3 月 ● 児童数：43 名、内女子 13 名 ● 対象年齢：4-6 歳 ● 開園時間：8:00-11:30 および 15:00-17:00、週 5 日、1 月から 5 月。
保育者	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育者は住民で中学校 3 年生終了、養成研修は 3 日間受けた。プロジェクトによって 4 回の現職研修を受けた。
モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ● COGES 事務局長（校長）が行っている。保育者は校長の妻。
幼稚園のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ● 親が小学校に 3-4 才の児童を連れてきて学校に預かってくれという要請が多かった。 ● 2006 年度に開設した際は、216 名の申し込みがあり、70 名を受け入れた。2007 年度の申し込み数は約 200 名で、62 名を受け入れた。幼稚園のニーズが高いため、COGES 総会で入園基準を合意している。2007 年度は希望者が多かったので、6 年生を優先した。
幼稚園設置による子どもへの影響	<ul style="list-style-type: none"> ● 衛生に関する観念が上昇した。 ● 精神的に発達した。 ● 家の中でくつをぬぐようになった。 ● 挨拶が励行できるようになった。 ● 目上の人を敬う気持ちの芽生え ● 幼稚園に通っていた生徒とそうでない生徒には小学校進学時に精神的発育に差があるのがわかる。 ● 幼稚園に通った子どもは教えやすい。（教員の COGES メンバー） ● 識字能力のある世代が誕生したことは素晴らしい。長期的に見て村の利益になる。
幼稚園設置による親への影響	<ul style="list-style-type: none"> ● 男女がともに集まって話す機会が増えた。 ● 子どもを預けることで安心して家事や他の仕事ができる。 ● フラストレーションが減った。
幼稚園の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民の参加：ある老人は遅れて登校する子供の安全をボランティアで見守っている。自発的に教室の掃除をする女性もいる。 ● UNICEF からの支援、保育者への研修
幼稚園の課題・阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 2008 年度は申し込みが 43 名に激減した。これは COGES 総会で収穫量激減に伴い、保護者が 650F を負担することを決定したため、ダメージを受けた貧困世帯にとっては、負担が大きすぎるためであると考えられる（事務局長）。 ● 「幼稚園の問題は成人女性の問題でもある。女性は貧困の間

	<p>題を直接肌で感じている。少なくとも 40 人の母親が今年度は、貧しさのため 650F が払えないので幼稚園に子どもをつれてきたが入園は無理だとわかり帰って行ったのを私は見ている。これらの母親の気持ちを思うと心が痛む」。(副会長の女性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子供を幼稚園に送らない親もいるので、啓発が必要。 ● おもちゃなど教材の不足 ● 幼稚園では靴をぬぐので靴が紛失する。 ● ニーズは高いためクラスを増やす意図はあるが、手段(資金)がない。
幼稚園についての教育行政からの支援ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ● おもちゃ、教材、文具が必要 ● 庭と教材がほしい (COGES 子ども代表)
所感	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路から車で 40 分ぐらい離れた村で、生活は厳しい様子が伺えた。 ● 副会長の女性が言われた貧困のため子どもを入園させることができない母親の話が心に残った。一方、収穫さえよければなんでもできるという会長の発言に感銘した。幼稚園運営費は経常的な経費であるため、ある年のみやめるわけにはいかず、この幼稚園が陥った事態への方策として、セーフティネットとしての補助金が必要と考えられる。

日時	2009 年 2 月 13 日 (金) 17:30-18:30
場所	タウア州 DREN 事務所
面会者	タウア州 DREN
調査団	三宅団員、臼倉職員 (JICA 新人 OJT)
プロジェクトの評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 高く評価している。FCC をすべてのコミュニンに設立したこと、モニタリング用のバイクを供与したこと、女子入学および残存キャンペーンにおける住民への啓発と行政のコミットメントを引き出したこと、視学官会議および COGES 担当官会議の定期的な開催、コミュニティ幼稚園の設立といった成果をプロジェクトは達成した。 ● フォーラムによる就学男女比率の改善はプロジェクトの大きなインパクトである。
プロジェクトの残りの期間における支援ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーラム開催への支援 ● 児童の学校における残存率向上のための啓発：出稼ぎ、早期結婚はタウア州における脅威である。 ● 視学官会議、担当者会議、連合総会開催への支援継続
COGES への補助金供与の是非	<ul style="list-style-type: none"> ● 世銀による COGES へのパイロット補助金供与はタウアでも実施され、AGEPA 会合で発表される。明確に用途や手続きを指示されたグループと指示がないグループの 2 グループに分ける方法でパイロット事業が行われた。評価チームが来て調査を行ったが、結果は知らない。 ● 補助金供与を行うにあたって COGES 側に必要な条件は、住民

	<p>に対する啓発の実施、COGES メンバーに対する研修を実施し、能力を強化すること、総会で資金の用途を決めるといった、第一フェーズで確立された COGES 機能化のための要素を COGES が備えていることだ。タウアではこれは実際に起きたことだ。</p>
--	---

日時	2009年2月13日(金) 20:15-21:15
場所	タウアのホテル
面会者	EPT 影山専門家
調査団	三宅団員

<p>〈コミュニティ幼稚園〉</p> <ul style="list-style-type: none"> COGES 幼稚園モデル構築についての最大の問題は、モニタリングである。COGES は初等教育視学官、幼稚園は就学前教育視学官の管轄のため、縦割りの行政組織のため、両者の情報共有がなされていない。また、就学前教育視学官事務所には、州全体に1つしかなく、視学官が1名、指導主事が1名から2名いるだけで、モニタリングをするにはキャパオーバーである。また、同事務所は、公立幼稚園、ドナー支援による民間幼稚園も管轄している。COGES 担当官によるモニタリングも今後幼稚園が増えるにしたがって無理となる。また現在の COGES 担当官によるモニタリングは連合レベルである。連合によるモニタリングも幼稚園の数が少ないため、連合としての優先度が低いため会合で報告はされるにせよ、問題解決や経験交流の場としては現時点では十分機能していない。 モニタリングの解決策は、初等教育視学官事務所の指導主事は学校を巡回しているの、彼らに幼稚園もモニターしてもらうことであると考えている。現在タウア・ザンデル州では、視学官事務所関係者（視学官、指導主事）学校視察の際、COGES とも面会することが奨励されており、その結果は視学会議で報告されている。初等教育指導主事は、セクターレベルにも配置されている場合もあり、1 県に少なくとも複数の指導主事が配置されているので、就学前指導主事よりもはるかに多い。しかし、幼稚園は就学前教育局の縄張りであることから、教育面のモニタリングは無理であり、運営面のモニタリングのみになる。このレベルのモニタリングは、教育の質ではなく、教員の欠勤状態や幼稚園の開園日数といった運営面と幼稚園を教育行政が見守って、励ますというレベルのものだが、特に設立間もない幼稚園にとっては重要である。前提として COGES そのもの能力を強化し、計画力、動員力を高め、幼稚園の運営能力を向上することも必要だ。 <p>〈実施プロセス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニセフとの連携は、運営面の支援を EPT が、教育面の支援をユニセフが行うという役割分担が明確であり、相互補完ができています。EPT にとっては、ユニセフがもつ就学前教育分野のネットワーク、専門性はありがたい。毎月一度、ユニセフ、教育省就学前教育局と開いている。問題は、昨年6月以降ユニセフには就学前教育担当者がおらず、教育セクター全般の責任者と教育セクターのアドミニ担当ローカルスタッフが本件を担当していることである。 <p>〈成果の達成度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーラムアプローチについては、COGES ローカルおよび COGES 連合が機能し、動員力、啓発力があることが、フォーラムのモデルの必要かつ十分条件であり、既に構築されたと考える。 視学会議は、フォーラムの補完として有効である。フォーラムで合意されたことを教育 	
--	--

行政（供給側）が実施することが必要なのです。たとえば、女子就学向上のための教員の配置、質向上のための教員の欠勤防止のために学校の訪問指導は視学官の役割であり、視学官会議によってこれらが実施され、学校にインパクトを与えている。

〈有効性〉

- ・ 訪日研修について昨年 11 月にザンデル州の教育事務所長が参加したのは、「教員に対する初期研修と継続研修」という課題別研修であり、プロジェクトと関係はない。やる気の向上には貢献している。

〈自立発展性〉

- ・ 連合における地域間格差は、経済的に恵まれたコミューンからは財政支援が多く、貧しいコミューンからの支援は少ないといえる。データがないためこれを証明するのは難しい。
- ・ 住民からの動員額が過度では計画が現実的ではなくなるため、適切なレベルに設定されている。またミレットで提供するなどの住民にとって寄付しやすい方法が採られている。

〈計画修正の必要性〉

- ・ 成果 3 のモデル構築は、マニュアルの作成などが指標となっているが、あいまいなため、より具体的に、コミュニティ幼稚園、視学官会議、フォーラムアプローチの 3 点に絞った方が良いと思う。

日時	2009 年 2 月 14 日（土）8:00-8:10
場所	タウア州タウアコミューン視学官事務所
面会者	タウアコミューン視学官
調査団	三宅団員、EPT 影山専門家、臼倉職員（JICA 新人 OJT）、
〈プロジェクトの評価〉	
<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトには満足しかつ勇気づけられている。プロジェクトによって住民は学校に関心をもつようになった。教育はみんなのビジネスとなった。 	

日時	2009 年 2 月 14 日（土）8:15-9:00
場所	タウア州 COGES 監督官事務所
面会者	タウア州 COGES 監督官
調査団	三宅団員、臼倉職員（JICA 新人 OJT）
監督官の就任時期	2003 年から
COGES 機能化の要素	<ul style="list-style-type: none"> ・ COGES と FCC が民主選挙で選ばれること、手続きのルール化、住民総会の開催、学校活動計画を計画通り実施すること、活動の総括と結果の住民へのフィードバック、活動のモニタリングである。
監督官の役割と責任	<ul style="list-style-type: none"> ・ COGES 担当官の監督業務である。監督業務は月例会議を通じて行う。月例会議では、COGES 活動の評価、問題解決を議論する。問題解決の例としては、①ある COGES で住民総会の参加度が低かったことが月例会議で報告され、同じ問題を抱えている COGES について担当官が話し合い、住民が集まりやすい総会の会場、開催時期を見出した。②ある COGES 連合は、COGES からの分担金の徴収に苦勞していた。月例会議で話し合い、この連合に属するいくつかの COGES は連合の活動につ

	<p>いての住民に対するフィードバックが弱いことが問題の要因であることが明らかになり、連合の活動についてのフィードバックを住民に対して COGES がより透明度を高い形で行うようにしたところ、分担金徴収が改善した。</p>
監督官が直面した課題	<ul style="list-style-type: none"> 特にない。課題があってもプロジェクトからの支援によって乗り越えることが可能であった。特に、COGES 担当官に対する交通手段（バイク）の供与は、非常に役立っている。
視学官会議の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 以前は、視学官の COGES への関与は限定的だったが、視学官会議が開催された後は関与度が大いに増した。たとえば、昨年の女子教育促進のためのフォーラムにおいて、視学官は、この運動の先頭に立つと述べた。
COGES 連合設立・モニタリングマニュアルの活用	<ul style="list-style-type: none"> 大変役立っている。マニュアルは、タウアで開発、評価され、改定されたものなので、大いに活用されている。
レポートシステム	<ul style="list-style-type: none"> 通常 4 半期毎に、省の COGES 推進室に対して、州事務所長を通じて提出している。報告書の内容は、月例会議を統合したもの。報告書がその後どのように活用されているかは、全国レベルに統合した報告書が作成されていると認識しているが、COGES 推進室に聞いて欲しい。
プロジェクトからの支援に対する満足度	<ul style="list-style-type: none"> 非常に満足。多くの課題の解決を助けてくれた。住民の啓発というプロジェクトのアプローチが、就学促進、質改善というインパクトをもたらした。タウアは COGES のモデルとなった。
残りの期間における支援ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> バイクは月例会議で継続的に修理される必要があるのでこれへの支援をお願いしたい。
COGES の他目的における活用	<ul style="list-style-type: none"> タウア州では COGES は学校のためのものであり、まだ他の目的には活用されていない。農村地域では他の目的への活用の可能性はあるが、これを保証するには、コミュニティの支援が不可欠だ。FCC がコミュニティの管轄下にあることを省令が明記したことによって、コミュニティから COGES への支援が促進されるだろう。
フォーラムアプローチの有効性と課題	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムは、絶対に他州に広げられるべきだ。フォーラムの有効性の鍵は、フォーラムでの決定が、参加者、FCC だけでなくコミュニティにフィードバックされることだ。課題は、自治体、市長、議員、伝統的指導者に対する巻き込みがまだ弱いことだ。

日時	2009 年 2 月 14 日（土）9:10-9:40
場所	タウア州就学前視学官事務所
面会者	タウア州就学前視学官
調査団	三宅団員、白倉職員（JICA 新人 OJT）、
プロジェクトの評価	<ul style="list-style-type: none"> 多くのコミュニティ幼稚園が設立されたことで満足している。コミュニティ幼稚園の普及が、初等教育の就学率の改善

	に貢献したことは明らかである。子どもの発達（知識、態度、技能面）にもコミュニティ幼稚園は寄与したことを実感している。
コミュニティ幼稚園の普及についての戦略	<ul style="list-style-type: none"> 普及の方法は、ある村がコミュニティ幼稚園を設立すれば、その効果を見た近隣の村がコミュニティ幼稚園を自然に設立することになる。村から設立の要請が視学官事務所に寄せられ、<u>村長、校長、就学前視学官事務所、ユニセフの間</u>でそれぞれの義務、役割を明記した Note d' engagement を交わす。視学官事務所の役割は、ユニセフの協力によって保育者の養成研修（5日間）を行うことである。
コミュニティ幼稚園のモニタリングについての戦略	<ul style="list-style-type: none"> 日常的なモニタリングは COGES メンバーが行う。巡回モニタリングは、COGES 担当官が行い、問題があれば就学前視学官事務所に連絡がきて、同事務所の指導主事が問題解決のための助言指導を行っている。就学前事務所の指導主事は現在 2 名で、4 名に増員される予定である。 (このモニタリング方法の実効性はあるのか、初等教育指導主事にモニタリングしてもらわないのか、という問いに対して) 初等教育指導主事にもモニタリングしてもらっている。問題が見つければ、就学前事務所に連絡がくる。初等教育視学官事務所とは良いパートナーシップがある。
プロジェクトの残りの期間における支援ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング用の車両、指導主事用のバイク、ガソリンを支援いただけるとありがたい。

日時	2009年2月14日(土) 9:50-10:30
場所	タウア州タウアコムーニ I 長事務所
面会者	タウア州タウアコムーニ I 長
調査団	三宅団員、白倉職員 (JICA 新人 OJT)
プロジェクトの評価	<ul style="list-style-type: none"> 教育分野のあらゆるアクターが責任を果たすことへコミットメント、膨大なアウトリーチをプロジェクトは達成した。成功要因は、アクター間のパートナーシップの構築、透明性の保証であろう。
これまでのコムーニによる FCC, COGES への支援	<ul style="list-style-type: none"> FCC とは日常的に連絡をとりあっている。コムーニと COGES の関係は、前者が教育改善事業のマネジメントを行い、COGES がこれを実施することである。たとえば COGES を通じて学校にゴミ箱を配布した。また、酪農会社の支援による優秀な女子の表彰事業を行った際、COGES は視学官が提出した候補者のデータのチェックをした。質改善のキャンペーンでは、コムーニが教材の紙を提供した。 コムーニの事務局長は、元教育省職員であり、教育担当が 1 名配置されている。
コムーニによる FCC、COGES に対する今後の支援計画	<ul style="list-style-type: none"> FCC からプロポーザルが提出されており、SNV が支援を行う予定。現状ではコムーニには金がないため、ドナーに頼らざるをえない。

	<ul style="list-style-type: none"> 2005-2008 年度のコミューン開発計画 (Plan de developement Communal) では、GER の改善、教室建設、質改善、啓発に加えて COGES の能力強化が記述されている。
--	--

日時	2009 年 2 月 14 日 (土) 10:35-11:15
場所	タウア州就学前視学官事務所
面会者	タウア州タウアコミューン I FCC 事務局：事務局長、副事務局長、副会計担当、書記官、女子就学推進担当
調査団	三宅団員、白倉職員 (JICA 新人 OJT)
関連資料	プロジェクト提供による活動・予算データを参照のこと
連合設立年	2004 年に連合を設立、2008 年に FCC に改組。
加盟 COGES 数 (2008 年度)	37
FCC の成果	<ul style="list-style-type: none"> コミューンを 5 ゾーンにわけて COGES を効率的かつ日常的にモニターしている。 COGES による活動計画策定・実施への支援 就学促進のための啓発 最終試験成績向上活動 FCC の事務所の開設 <p>COGES が抱える紛争の解決：事例① 教員が長期欠勤していた学校で、COGES が FCC に状況を訴える手紙を出した。FCC メンバー、校長、COGES 担当官が該当教員と面会し、COGES は学校、教員をモニターする権利があることを説明し、説得した結果、教員は通常の勤務に戻った。事例② 優秀な 11 歳、5 年生の女子を親が早期結婚させようとした。COGES は、総会を開き、初等教育修了は、子どもの権利であり、親の義務であることを主張した結果、事態は収束した。FCC はこの過程で助言をした。</p>
機能する FCC の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> FCC メンバーのコミットメントと連帯 定期的な会合の開催 教育行政、コミューンとのパートナーシップ COGES からのサポート 学校改善に対する住民の意識の高さ
FCC の阻害要因・課題	<ul style="list-style-type: none"> コミューンからの支援不足：コミューンは、藁葺き教室の修繕のために年間 500,000 センターを学校に支援しているが、FCC への支援は総会開催費、モニタリングのためのガス代、成績向上キャンペーンでの紙提供に限られている。2007 年度の FCC の予算は 23 万 F (このうち COGES 拠出金は 14 万 F) であったが、2008 年度は 100 万 F を予定している。拠出金は 15 万 F (37COGES×41000F) なので、残りはコミューン、SNV からの支援を予定している。コミューンには申請書を提出し回答待ちの状態。 COGES の学校活動計画の回収の困難さ、交通手段の不足
教育行政に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> 担当官からの技術支援に満足。研修を行い、問題があれば解決を助けてくれる。

	<ul style="list-style-type: none"> 視学官事務所は、成績向上キャンペーン活動を組織してくれた。また、視学官事務所は、COGES モニタリングのために車両を使わせてくれている。ガソリン代はFCCが負担。
所感	<ul style="list-style-type: none"> 財政を自立的に運営するよりもコミュニティからの支援に期待している印象を受けた。予算が前年度と比して4倍となっている一方、コミュニティ長は支援をコミットしていないのでこの規模の収入が確保されるのかが懸念される。

日時	2009年2月16日(月) 8:00-9:00
場所	Grand Hotel (AGEPA 会場)
面会者	教育省基礎教育局長
調査団	原団長、三宅団員、山下団員、近藤団員
<p>【先方発言要旨】</p> <p>〈EPT プロジェクトの評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> COGES の民主的設置による住民参加促進と同時に、COGES 政策に係る教育行政官 (COGES 担当官、COGES 監督官、視学官事務所、州教育事務所、COGES 推進室など) へ働きかけ (縦への影響)、その後 (タウア・ザンデル州から) 他州への面的展開を実現した (横への影響) プロジェクトに対し、評価している。 <p>〈ニジュール教育政策における課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> インフラおよび質の高い教員のリクルートが課題である。PDDE 第1フェーズ (2003~07) はアクセスを重視し、就学率等については一定の成果 (女子就学も増加) が見られたが、質は改善されておらず第2フェーズの課題である。質の向上には教員研修が欠かせず、CAPED (特に理数科) の強化を考えている。また学校レベルでの研修強化も考慮したい。 学校運営については COGES (コミュニティ) へ権限委譲をしていることから、教員の精勤管理や待遇 (住居提供など) において質改善に貢献できるであろう。 <p>〈COGES 政策実施の体制〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在 COGES 推進室では8名が配属されているが、最小限の人材はそろっており、更なる能力強化による効率化も可能であると考え。レポートを含むモニタリング体制は、COGES をモニタリングする COGES 担当官から視学官事務所、COGES 監督官、DREN、事務局を通じ DGEB へ、その後 COGES 推進室へとレポートされる。COGES 連合は、COGES の活動および担当官によるモニタリングを支えるものである。COGES 政策については、省内において COGES 推進室に一元化し業務を実施している。DGEB と COGES 推進室は協議の機会をもっているものの、フィードバックが効率的になされていないことに関しては、内部制度の修正は非常に難しく、視学官会議のように各レベルにおいて定期的な会合により、情報を共有することが可能であると考え。また、研修等により各々の職務意識を明確化することも可能であろう。JCC でもこの点について確認したい。 	

日時	2009年2月16日(月) 10:00-10:30
場所	JICA ニジュール事務所
面会者	教育省就学前教育局長
調査団	原団長、三宅団員、山下団員、近藤団員
<p>【先方発言要旨】</p> <p>〈EPT への評価〉</p>	

- ・ コミュニティー幼稚園 (JEC) にかかる EPT の協力については評価している。児童の能力を伸ばすには、両親及び教員の能力・スキル向上が不可欠である。幼稚園の就学率が上がれば、小学校の成果指標の他、衛生面についてのインパクトも大きく、栄養・致死率の改善が見込まれる。
- ・ EPT の就学前教育への一番の貢献は、村落部の就学前教育の拡大である。近隣のコミュニティーを巻き込んだこと、また (EPT アプローチは) 少ない予算で実施が可能であることから教育省へのインパクトも大きい。

〈就学前教育にかかる PDDE 目標の達成と政策〉

- ・ 2013 年に就学前教育就学 5% を目標としているが、JICA と UNICEF、教育省は 5 年間の政策案 (Lettre d'attente) を策定し、目標達成に向け鋭意努力しているところである。戦略としては、現状では JEC 設立・運営について COGES に頼らざるを得ないが、今後は仏語・アラブ学校やコーラン学校との協力も考えたい。村に一つは存在するコーラン学校とのシナジー効果を出したいと考えている。また、女性グループ、女性省の子供保護局との協力も模索している。昨年承認した JEC モデルは、その政策が採用され、Politique Nationale Développement Intégrant Jeunes Enfants が採択された。これには保健省などの関係省も関連している。

〈JEC モニタリング体制〉

- ・ JEC は COGES によって設立・運営されているので、モニタリングについてもまず彼らが毎日現場を訪れ、その上で視学官が年度末等にいくつかの園を巡回し教育的アドバイスをすべきである。COGES 担当官が小学校訪問時に気づいた点を報告することも必要だが、COGES 担当官は既に多くの仕事を抱えており頻繁な視察・訪問は難しい。
- ・ JEC の課題は少ない教育行政官であるが、今後 JEC の数を増やした場合、今以上に就学前教育主事が不足する。PDDE では 45 教員に一人の教育指導主事を配置することになっているが、その数には及ばない。これまで基本的に 1 州につき一人の教育指導主事を配置していたところ、最近タウアに 2 名、ニアメに 3 名増員配置した。教育指導主事が運営面についても少し監督できるのではないか。
- ・ JEC のモデル化については、まずモデルを完成させなければ普及できないことは承知している。UNICEF も交えて協議を行い、進めていく必要がある。新に配置する教育主事について、モニタリングには巡回用バイクと燃料費が必要となるが、UNICEF ではなく教育省で準備したいと考える。

日時	2009 年 2 月 16 日 (月) 11:00-:1200
場所	ユニセフ現地事務所
面会者	就学前教育担当官
調査団	原団長、三宅団員、山下団員、近藤団員

【先方発言要旨】

〈JICA/EPT に対する評価〉

- ・ 多くの協力機関が中央の政治的レベルの協力のみで終始することが多い中、JICA はフィールドと中央両方のレベルでの協力を実現している点で、その達成度が高い評価をしている。
- ・ JICA とは特にコミュニティー幼稚園について協定書署名を通じて協同しており、そのアプローチに賛同している。実際に設立された JEC に対する母親の反応は非常によい。
- ・ JICA との月例会議では、教育省就学前教育局の代表者を含め、ドナーのみではなく政府側の意見も取り入れるようにしている。JEC にかかる就学前教育局と JICA の考えに違いはあ

るかもしれないが、協力できていると思う。今後も教育学と運営についてそれぞれの支援が必要であろう。支援の方法やコストについては改めて情報を共有したい。一つ懸念されるのは、EPT フェーズⅡの終了以降、どのように JEC を支援していくかである。

- ・（これまで JICA は活動していないが）アガデスとマラディについて協力を進めており、都市・村落の格差解消に力を入れている。

〈JEC の今後と UNICEF の政策〉

- ・ UNICEF 単独の活動には限界があるため、他ドナーとの協力に高い関心がある。識者・経験者との情報交換を進めつつ NGO ではなく当国政府と協働していきたいと考えている。北部の移民居住地域への介入は非常に難しいが、世銀も可能性を探っている。
- ・ 教育的なフォローについては、まず教員養成学校のカリキュラムにおけるコミュニティー幼稚園の特別研修設置を提案している。UNICEF のプログラムとしては、昨年行った JEC の「児童のスキル」に係る評価調査の結果をまとめ、教員に求められる技術として初期・現職研修の改善・強化を図ったプログラムを考えている。
- ・ 国民教育省は新しい視学官を設置することを考えているようだ。女子就学も力をいれる。（女子就学担当官は州レベルに配属）
- ・ 運営面については、EPT の研修もあり COGES により適切に運営されていると考えられる。ただ、モニタリングに関しては、COGES 担当官が行うことも難しく、課題である。
- ・（調査団側から、例えば 45 人の保育者につき 1 人の就学前教育指導主事の配置を申請できる制度などを提案し、その指導主事的能力強化に取り組む可能性について聞いたところ）UNICEF は初等教育の教育指導主事が就学前についてもモニタリング担当の方がコストも低く妥当だと考えている。
- ・ UNICEF は以前識字に力を入れていたが、現在はコミュニティー参加運営、アクセスにかかる格差改善へシフトしている。JEC の数はまだ非常に少なくタウアで増やし EPT と協力しモデル化に取り組みたい。

日時	2009 年 2 月 16 日（月）17:00-17:30
場所	国民教育省大臣室
面会者	国民教育省大臣 (M. Ousmane Samba Mamadou)、次官 (Mme Maiguizo Rakiatou Zada)、基礎教育総局長 (M. Marou Amadou)
調査団	原団長、三宅団員、山下団員、近藤団員 JICA ニジュール事務所：西脇部長、金田所員 EPT 三浦チーフアドバイザー
<p>【面談要旨】</p> <p>〈二国間協力、みんなの学校プロジェクト全般〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴大臣の就任後、教育指標に顕著な改善が見られる。教育分野においてニジュールと JICA は良い協力関係にあり、「みんなの学校プロジェクト」では大きな成果が出ている。（部長） ・ これまでの JICA の協力に感謝。特にタウアで良い取り組みが行われている。もともと教育指標が低い地域だったが、教育開発へのコミュニティーの参加を促した結果、総就学率が 102% に達した。AGEPA 会合でも、限られた予算の中で成果を出していることについて世銀等のドナーから高く評価されたが、JICA の協力のおかげである。重要なのは投入の量ではなく、投入の質である。（大臣） ・ 教育開発 10 ヵ年計画 (PDDE) フェーズ 1 では、特にアクセスの改善について大きな成果を挙げた。日本による教室建設協力に感謝している。フェーズ 2 では教育の質の改善に力を 	

入れていくが、さらに大きな成果をあげたい。(大臣)

- ・ みんなの学校プロジェクトの実施においては、全州教育事務所長が高いコミットメントを示している。今後は、COGES 連合、COGES 委員のさらなる能力強化が必要。(次官)

〈見返り資金〉

- ・ 見返り資金の運用が開始されたと聞いている。引き続き適切な執行、運用をお願いする。(部長)

〈COGES への補助金交付〉

- ・ みんなの学校プロジェクトの成功は世銀の協力もあって可能となった。先程、AGEPA 会合で世銀と協議を持ち、COGES への補助金交付について意見交換を行った。JICA としては、十分に機能し、イニシアティブを持った COGES に補助金を交付することは有効であるが、COGES が機能していなければ補助金は無意味と考えている。(部長)

→全く同感。昨年 6 月以来、世銀と補助金交付について協議を行ってきたが、その前提として COGES の機能強化が不可欠であることを繰り返し申し入れてきた。COGES が十分な計画能力、実施能力、透明性を備えて初めて補助金の有効な活用が可能となる。(大臣)

→AGEPA の枠組みの下で実施したパイロット・プロジェクトでは、補助金交付の好事例が抽出されることを期待していた。機能度が高く活発な COGES が多くのお金を受け取れるような仕組みにしたい。補助金はその使用目的とリンクさせて交付するべきであると考え。バングラデシュで補助金交付の好事例があると聞いており、学びたい。(大臣)

〈その他〉

- ・ 政策レベルの戦略的な努力もあって、COGES の機能は強化されつつあり、教育のアクセスと質の改善が実現している。しかし、COGES の機能はまだ確立されたとは言えず、引き続き機能強化に取り組んでいく必要がある。そのためにはモニタリングが重要であるが、今回の現地調査で COGES 担当官が良い働きをしていることが明らかとなった。COGES 担当官によるモニタリングを有効に機能させるためにもバイクの供与が不可欠である。(原)
 - ・ COGES に関する効果的な情報伝達システムの構築、確立も将来的な課題である。(原)
 - ・ 学校保健の専門家派遣要請について、現在日本で前向きに検討中である。派遣が実現すれば、COGES とも連携した活動が実施されることを期待する。(部長)
- 要請が承認され、専門家が派遣されることを望む。(大臣)

日時	2009年2月17日(火) 10:00-10:30
場所	ドゥソ州国民教育事務所
視察先	ドゥソ州 COGES 担当官月例会議
調査団	西脇人間開発部長、原団長、三宅団員、山下団員、近藤団員
議事次第に沿って、各 COGES 担当官が活動を発表。あげられた問題は、	
<ul style="list-style-type: none"> ・ FCC 総会の PV 回収が難しい ・ FCC によるが、各 COGES の総会にかかる PV の回収率は 8~9 割 ・ FCC 総会へのコミュニケーション代表者不参加の問題 など 	

日時	2009年2月17日(火) 11:30-12:30
場所	ティラベリ州ボボイ県ンゴンガ小学校
面談者	ンゴンガ小学校 COGES メンバー
調査団	西脇人間開発部長、山下団員、近藤団員
関連資料	活動データについてはプロジェクト提供資料を参照のこと (*)

児童による寸劇（COGES の設立、学校活動計画策定・実施の方法）が行われた後、COGES 代表によりニジェル・日本政府および JICA 協力への謝辞が述べられた。

【COGES 委員発言要旨】

- ・ 学校は開発の鍵であり、その重要性は認識している。
- ・ 学校運営（COGES）において重要なことは、定期集会と透明性である。COGES 事務局会合は毎月、AG は年 3 回行っている。
- ・ COGES 活動の促進要因は、EPT の研修後全住民が参加するようになり、民主性と透明性が確保されるようになったことである。女性も積極的に参加するようになり、男性は力仕事、女性は不登校児の家庭のケアなどそれぞれに合った活動を行っている。
- ・ 分担金はコミュニティー全体から回収しており、不足分は労働により補っている。
- ・ COGES が本格活動を開始した後に入学した、1・2 年生の男女比はほとんど格差がない。
- ・ 教育省への要望は、教室（コンクリート製）や柵など費用がかかるインフラの整備である。
- ・ モニタリングについては、PF が州内全ての COGES を見ることは実質的に難しいため、FCC レベルで情報共有などできることは自発的に行うようにしている。

日時	2009 年 2 月 17 日（火）13:00- 13:30
場所	ボボイ県視学官事務所
面談者	ボボイ県視学官事務所長
調査団	山下団員、近藤団員
<p>【先方発言要旨】</p> <p>〈EPT の評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に COGES 設置・学校活動研修に対する評価は高い。COGES 委員をはじめ皆が各々の役割を理解しそれを果たすようになり、APE・AME との協力も進んだ。以前はニアメ当局に依頼していた就学キャンペーンも学校活動計画に組み込み、コミュニティーで実施し、今年は最近 5 年で一番高い入学率であった。ボボイ県の学校活動計画は 89.6% の提出率である。（計画は COGES が自分達で提出、もしくは COGES 担当官が収集した。提出できていない学校についてはこれから年度末にかけてモニタリング巡回を計画している。） <p>〈モニタリング体制〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの州レベル：DREN、市・県レベル：視学官事務所に続いてコミュニケーションレベルに FCC が設置されたことにより、学校レベル：COGES との間を埋め、COGES 担当官の活動とのシナジーにより、よりよい学校運営・情報共有が望める。COGES 連合では女子就学・退学率の減少を目指したキャンペーンを行い、ボボイ県の教育指標改善に努めたい。 	

日時	2009 年 2 月 17 日（火）15:00-15:30
場所	ドッソ州国民教育事務所
面会者	ドッソ州国民教育事務所長
調査団	原団長、三宅団員、山下団員、近藤団員
<p>【先方発言要旨】</p> <p>〈EPT の評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトの活動により、コミュニティーの学校に対するオーナーシップが醸成され、COGES メンバーをはじめ関係者が各自の役割を理解し活発に活動しており、多くのプロジェクトが研修するものの COGES 機能化に至らなかったことに鑑みると、EPT への評価は高い。 	

〈PF のパフォーマンス評価〉

- ・ COGES 担当官の指導、教育主事の巻き込みを行っており PF は統括としてよくやっている。COGES のみから COGES 連合を通じたモニタリングになったことによる OR の役割変化にも対応できる様、更なる研修も必要である。

〈今後の EPT に対する要望〉

- ・ (教育の質の問題改善には教員の研修が不可欠であり、CAPED 支援も考えていただきたい。) アクセス改善については、OR が COGES モニタリングの任務を遂行できる様に今後も研修などが必要。

〈視学官会議〉

- ・ 2009 年はじめに教育省から視学官会議開催に関する法令 (45 日に 1 回開催) が出され、ドゥソ州でも同会議を開催している。教育省による予算措置は特にないが、通常予算のやりくりにより会議は行われている。ドゥソ州ではすでに 2 回を実施し、1 回目は「新年度の重要点 (新入生獲得) および教員管理」、2 回目は「1 回目の協議事項にかかる各視学官事務所からのフィードバック・情報共有 (教室巡回の取り決め)」および新たな議題として「授業準備の指導」を協議した。今年度の女子就学目標値は達成しており、今後はその維持が課題であるため、それも同会議にて話し合っていく。3 回目は 3 月中旬に予定している。

日時	2009 年 2 月 17 日 (火) 15:30-16:00
場所	ドゥソ州国民教育事務所
面会者	ドゥソ州 COGES 担当官
調査団	原団長、三宅団員、山下団員、近藤団員

【先方発言要旨】

- ・ EPT による研修およびモニタリング移動費の支援がなければ、現在の活動は難しい。COGES 委員対象の研修 (学校活動計画) も担当官にとって有益であった。他ドナーのように資金を提供するのではなく、問題の解決法を考える方策を指導した点で EPT のアプローチは大きく異なる。EPT のマニュアル (COGES・FCC 設置) は大変参考になり、適宜参照している。
- ・ COGES の機能化には、民主選挙と AG の定期的開催が鍵である。実現可能な学校活動計画を策定することが透明性ととも社会資源動員に必要な要素であろう。COGES 担当官の役割は、定期モニタリング・指導および COGES メンバーの能力強化である。
- ・ 燃料費は支援される一方、COGES 担当官はモニタリング用バイクを支給されておらず、半数が視学官事務所のバイクを利用、半数が個人所有のものを利用している。
- ・ COGES については、住民のモチベーションは高いことから、適切な技術支援があれば、分担金回収による活動継続は可能であろう。
- ・ 補助金については、管理・使途についてコミュニティへ責任化することが必要である。
- ・ COGES 担当官の能力強化には、他地域との意見交換・財務管理およびグループによる援助申請などの研修が必要と考える。

日時	2009 年 2 月 18 日 (水) 8:00-9:00
場所	国民教育省 COGES 推進室
面会者	COGES 推進室長 (M. Damana)
調査団	三宅団員、山下団員、Ali 氏 (通訳)

【先方発言要旨】

〈COGES 政策の実施体制、レポートシステム〉

- ・ COGES 政策には、世銀、JICA、EU、AFD、UNICEF、CONCERN、その他国際 NGO 等多くのドナーが支援を行っている。
- ・ COGES 推進室（中央）は政策策定を担当、政策の実施、現場のモニタリングは州の責任となっている。
- ・ COGES 関連の情報は州レベル（DREN）で取りまとめられ、中央に提出される。州によって提出先が、次官、COGES 推進室、DGEB と異なる場合があるが、いずれにせよ最終的には COGES 推進室に情報が届くようになっているため、特に問題はない。なお、DREN は組織上次官の下に位置する。
- ・ ただし、一部の州には COGES が国家政策という意識がない場合があり、定期的な情報更新がなされていない場合もある。ドナーの支援を受けているため、ドナーへの説明・情報共有が優先される場合がある。
- ・ 経験共有セミナーもモニタリングの貴重な機会となっている。セミナーで良い事例と悪い事例を共有し、政策実施の改善に役立っている。

〈JICA・プロジェクトとの関係〉

- ・ EPT は JCC や経験共有セミナーを通じて、十分な情報共有が行われており、良い協力関係にある。
- ・ EPT は国家政策との整合性を意識した計画となっている。
- ・ EPT の専門家との関係に特に問題はない。チーフアドバイザーが変わったが、目的を達成するために仕事をしているのであり、個人的な特性が業務に影響することはない。

〈JICA・プロジェクトへの要望〉

- ・ JICA の業務で出張すると、日当が政府基準よりも低い（本人の場合、政府基準で 25,000Fcfa / 日のところ、EPT からは 5,000Fcfa / 日しか支払われない）。他ドナーは政府基準以上を払っており、少なくとも政府基準は支給するべきである。日当が少ないせいで、EPT に積極的に関わろうとするモチベーションが MNE の行政官にはない。
- ・ 能力強化のため、日本への研修、留学の機会を作してほしい。

〈視学官会議について〉

- ・ 一度タウアの視学官会議に大臣がテレビ会議で参加した。その時、視学官が一同に会し教育改善について論じていることに大臣が感銘を受け、全国で実施するよう指示が出された。

日時	2009年2月18日（水）9:00-9:15
場所	ティラベリ州国民教育事務所
面会者	ティラベリ州国民教育事務所長
調査団	原団長、近藤団員、EPT 三浦チーフアドバイザー

【先方発言要旨】

- ・ COGES 連合については、まだ始まったばかりであるが各 COGES レベルの機能は概してよい。COGES 設置プロセスが民主的になったことにより、住民参加を促したことは大きな変化といえる。
- ・ EPT 全体に対し高く評価している。COGES 担当官と関係者の情報共有が密になり、規則を守るようになった。フォーラムアプローチについては就学におけるインパクトが高いと聞いており、期待している。関係者のメンタリティは徐々に変化していくものと考えている。EPT による技術支援は特に研修のアプローチを評価している。COGES 担当官や監督官は非常に真面目である。
- ・ 補助金はその条件によっては問題を引き起こす可能性があると考えている。機能している

COGES に供与すべきである。

日時	2009年2月18日(水) 9:15-9:30
場所	ティラベリ州知事府
面会者	ティラベリ州知事府事務次官
調査団	原団長、近藤団員、EPT 三浦チーフアドバイザー
<p>【先方発言要旨】</p> <p>以前 2003～2006 年タウア州の副事務次官であったため、EPT についても側聞していた。是非ティラベリ州でもよい結果が得られることを望む。</p>	

日時	2009年2月18日(水) 10:15-11:15
場所	ニアメ特別州ジャンバラ第一小学校
面会者	ジャンバラ第一小学校 COGES メンバー
調査団	原団長、近藤団員、EPT 三浦チーフアドバイザー
関連資料	活動データについてはプロジェクト提供資料を参照のこと (*)
生徒数	195 名
COGES 設立年	2003 年
現在の COGES 委員	代長は保護者会、書記は校長、会計は保護者会、選挙で選出
COGES の活動状況 (2007 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務局会合開催回数：6 回 ● 事務局会合出席者数：6 名 (全員) ● 総会開催回数：3 回 ● 総会出席者数：100 名
活動実施度 (2007 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画の 6 つの活動のうち 5 つを実施。 ● 予算額 123,250F のうち 92,250F を動員。
COGES 活動の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民のモチベーションは、「子供たちの教育のため」、「ニジェールの将来のため」、「村のみんなの学校だから」など ● 各活動に責任者を定めていることから、その責任者を中心に活動実施のモニタリングを行っている。また COGES 担当官も巡回に訪れる。
COGES 活動の阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修や資源不足など難しいこともあるが、住民それぞれにできることを活動として実施している。
COGES の会計の公開方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 透明性を保つため会計は公開とし、1 年の終わりの 3 回目の総会で結果を発表し必ず調達した物を示している。
FCC について	<ul style="list-style-type: none"> ● FCC へ送る代表は、AG で説明の後 COGES メンバー内で選出した。FCC では他の COGES と情報共有していきたい。特に地域の中学校レベルの問題などについても解決法を一緒に考えたい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 当小学校は 6 クラス 6 教員。同地区にはジャンバラ I、ジャンバラ II 小学校、そしてコーラン学校がある。入学者のリクルートは 3 校の COGES が集まって協議する。区画毎に 3 校へ入学する児童の比率を決めているが、まずコーラン学校の入学者を (幼稚園等での行いがいい者から順に) 決定し、残り

	<p>を2つの普通小学校で分けるため、保護者はコーラン学校の成績が一番優秀であると考え、結果としてコーラン学校入学を望む保護者が多い。公立校の価値を高める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • COGES 導入前に低かった女性の学校への関心は、現在高くなり女子就学についてもみんなが積極的である。 • 教育省には、学校周りの柵、教材供与、教員研修（教育の質向上）を、Commune には電気の配線を依頼したい。
--	---

日時	2009年2月18日（水）11:45-12:30
場所	ティラベリ州ティラベリ県ビビエールグ小学校
面会者	ビビエールグ小学校 COGES メンバー
調査団	原団長、近藤団員、EPT 三浦チーフアドバイザー
関連資料	活動データについてはプロジェクト提供資料を参照のこと（*）
生徒数	157名
COGES 設立年/改選年	2001年/2006年
現在の COGES 委員	代長は保護者会、書記は校長、会計は保護者会、選挙で選出
COGES の活動状況（2007年度）	<ul style="list-style-type: none"> • 事務局会合開催回数：5回 • 事務局会合出席者数：7名（全員） • 総会開催回数：3回 • 総会出席者数：40名
活動実施度（2007年度）	<ul style="list-style-type: none"> • 計画の3つの活動のうち3つを実施。 • 289,000Fを動員。
COGES 活動の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> • 住民のモチベーションは、「わたしたちの学校の発展のため」、「教育を受けた子供の違いは明らか」など。
COGES 活動の阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> • COGES として必要とされる住民をうまく巻き込んだり介入する技術（研修）が不足している。
COGES の会計の公開方法	<ul style="list-style-type: none"> • 資金・物資の提供は全てノートに記録し、物品を購入した場合は公表している。また、学校活動計画の1つの活動が終了する度に住民に対し収支報告を行っている。
FCC について	<ul style="list-style-type: none"> • ビビエールグが属するコミューンには COGES が2つしか存在しないため、あまり多くの情報は共有できない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> • （コミューン長）教育（学校）の問題にコミューンと COGES が協力して取り組むべき。そのためには関係者の能力強化が必要である。 • 同小学校には開発団体の協力により 2 教室及び井戸の建設が実施された。

日時	2009年2月18日（水）14:15-15:15
場所	ティラベリ州ティラベリ市カビア第一小学校
面会者	カビア第一小学校 COGES メンバー
調査団	原団長、近藤団員、EPT 三浦チーフアドバイザー
関連資料	活動データについてはプロジェクト提供資料を参照のこと（*）

生徒数	405名
COGES 設立年/改選年	2006年/2008年
現在の COGES 委員	代長は保護者会、書記は校長、会計は母親会、選挙で選出
COGES の活動状況 (2007 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 事務局会合開催回数：7回 事務局会合出席者数：6-7名 総会開催回数：3回 総会出席者数：約100名
活動実施度 (2007 年度)	<ul style="list-style-type: none"> 計画の3つの活動のうち2つを実施。
COGES 活動の促進要因	<ul style="list-style-type: none"> 「村の(みんなの)学校だから活動に参加するのは当然」との理由で COGES 活動に積極的に参加。
COGES 活動の阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> COGES 活動については、社会動員がやはり難しい。現在は保護者からの寄付のみに頼っているが、今後事業(計画)数を増やしたり、コストのかかる計画を実現するには国や技術協力団体からの援助が必要である。FCC アプローチでは、これらの機関への請願を行ったりする上で有効であろう。
COGES の会計の公開方法	<ul style="list-style-type: none"> 学年末の総括総会の時に住民公開している。
その他	<ul style="list-style-type: none"> CFPD の合格率は70%と高い。 教授法改善のため、月に一回校長が授業をチェックしている。

日時	2009年2月18日(水) 15:30-16:00
場所	ティラベリコミュン視学官事務所
面会者	ティラベリコミュン視学官
調査団	原団長、近藤団員
<p>【先方発言要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2004年時はタウア州の視学官であったため、担当のWalam県はEPT対象地域外(他ドナー介入地域)であったが、EPT及びそのアプローチについては知っていた。Walam県はAide Action及びSoutebaの支援対象地域であり、「COGES 連合」も存在していた。当時、COGES 連合活動にかかる交通費はAide Actionが支援。 学校プロジェクト用としての補助金交付には賛成である。Walam県では図書購入等に250,000Fcfを3回支援するプログラムを実施した。 COGES 担当官の学校巡回・出張の命令書はコミュンが発出するため、その復命として報告を聞いている。FCC アプローチを実現するためには、各 COGES への働きかけが直接的ではないため、(COGES 担当官を含む)教育行政官にはより高い能力が必要とされている。 視学官事務所とコミュンの協力としては、児童が小学校入学に必要な出生証明書発行をPlan Nigerの支援により行っている。 ティラベリコミュン全体の試験合格率は50%。 	

日時	2009年2月18日(水) 16:15-16:45
場所	ティラベリ県視学官事務所
面会者	ティラベリ県視学官(視学官は赴任5ヶ月目)
調査団	原団長、近藤団員

【先方発言要旨】

- ・ 教員のモチベーションは決して低くはないが、欠勤が多いことは問題である。対処法として、改善のためのレターを発出するなどしている。(視察時はストライキ5日目であった。)
- ・ 小学校を域内で新しく2校建設し、現在合計128の小学校が存在するが、教員の数が限られている(558名)ため、これ以上児童を受け入れることができない。
- ・ COGESは、学校活動計画によるインフラ整備、教員管理を通じて学校に貢献できるだろう。COGESの機能を強化するためには、教員ではないCOGES委員の更なる研修が必要であると考える。
- ・ ティラベリ州では既に視学官会議を実施しており、第1回目は学校運営システムおよび教授法指導について協議した。
- ・ FCCの成功のためには、コミュニケーションのみならず知事の巻き込みも重要である。

日時	2009年2月18日(水) 16:45-17:00
場所	ティラベリ県視学官事務所
面会者	ティラベリ州COGES監督官
調査団	原団長、近藤団員

【先方発言要旨】

- ・ COGES監督官としてCOGESおよびFCC設置にかかる研修には参加した。EPTによる研修は質が高く、更なる研修の機会を望む。研修を含め、現在の仕事は自分の能力強化にもつながり、やりがいを感じる。COGES担当官と情報を密に共有し、教育改善に貢献したい。
- ・ COGESによるコミュニティーアプローチにより住民の意識が変化した。
- ・ COGESの活動は既に女子就学について一定の成果を挙げているが、欠席率低減及び残存率の向上についても貢献できると考える。FCCの設置研修後、COGES担当官の意識・能力はさらに向上したと感じている。
- ・ FCCアプローチの成功のためには、コミュニケーションと教育行政官、地域住民の情報共有が重要であり、それができたときにシナジーも生まれるのではないかと考える。
- ・ バイクが供与されれば、COGES担当官による巡回も可能となり、FCCへの指導も適切に行われると思う。

日時	2009年2月19日(木) 11:00-14:00
場所	ティラベリ州ティラベリ県ビティンコジコミュン
視察先	ビティンコジコミュンFCC選挙集会
調査団	山下団員、近藤団員、JICAニジュール事務所金田所員、EPT 國枝専門家

- ・ FCC選挙集会では、COGES担当官のファシリテーションにより、FCCの役割・機能説明、設置規定の決定、役員選挙が一日かけて行われるが、調査団は役員選挙の一部を視察した。
- ・ FCC設置及び選挙のための総会には、各COGESから3名(代表と女性1名を必ず含む)が集まり、まずFCC定款(コミュニケーション提出)及び内規(各COGES負担金額・年間会合回数など)を決定し、その後に役員が選出される。FCC代表は必ず住民から選出する。候補者が一人のポストについては信任投票を行うこともあるが、コンセンサスの場合もある。
- ・ 正規のステップでは、FCC定款及び内規決定後、それぞれのCOGESが各学校に決定した定款・内規を一度持ち帰り、住民総会によってFCC参加の可否を決定した後、改めてFCC役員選挙に代表を送って選挙総会を行うことになっているが、多くの場合はそれらを一度の総会で行っている。

平成 21 年 2 月 25 日

**ニジェール共和国住民参画型学校運営改善計画（みんなの学校プロジェクト）フェーズⅡ
中間レビュー調査 現地報告書**

総括・団長 原 雅裕
教育計画 近藤 奈々
協力企画 山下 契
評価分析 三宅 隆史

標記中間レビュー調査について、調査団は 2 月 8 日から 2 月 27 日まで現地調査を行いましたところ、結果を以下に報告します。

1. 調査目的：

- (1) これまで実施した協力活動について、当初計画に照らし、投入実績、活動実績、計画達成度を確認する。
- (2) 計画達成度を踏まえ、評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から、プロジェクトチーム、ニジェール側関係者とともに、プロジェクトの中間レビューを行う。
- (3) 以上の評価結果に基づき、プロジェクトの課題及び今後の活動計画、将来的な展開の方向性について、プロジェクトチーム及びニジェール側関係者と協議し、教訓を引き出すとともに必要な提言を行う。
- (4) 協議事項を双方の合意事項としてミニッツに取りまとめる。

2. 調査団の構成：

担当分野	氏名	所属
総括・団長	原 雅裕	JICA 国際協力専門員／人間開発部課題アドバイザー
教育計画	近藤 奈々	JICA アフリカ部中西部アフリカ第二課特別嘱託
協力企画	山下 契	JICA 人間開発部基礎教育グループ基礎教育第二課
評価分析	三宅 隆史	(社) シャンティ国際ボランティア会

3. 調査日程：

別添 1 参照

4. プロジェクト活動の成果

- (1) 成果 1：機能する COGES を全国に設置するために様々なレベルの関係者の能力が

強化される。

ア. 地方行政官の能力強化

- 以下のワークショップ、セミナーが実施され、州教育事務所長（DREN）、COGES 監督官、県視学官、COGES 担当官の能力が強化された。

開催時期	研修名	主な内容	参加者
07年6月	導入研修	COGES 政策、民主選挙	DREN(8)、COGES 監督官(8)
07年9月	経験共有セミナー	民主選挙研修の実施報告	DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)
07年9月	導入研修	学校活動計画、財務管理	COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)
08年3月	経験共有セミナー	学校活動計画策定研修、民主選挙研修の実施報告	DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)
08年10月	経験共有セミナー	COGES 連合設置研修計画の策定、フォーラム・アプローチによるキャンペーンの結果報告	DREN(8)、COGES 監督官(8)、COGES 担当官(51)

イ. COGES 委員の能力強化

- フェーズ II から新規に対象となった 6 州で、6,579 名の校長（計画の 99.46%）が COGES 委員の民主選挙に関する研修を受講した。州別内訳は下表のとおり。なお、研修実施経費は世銀が支援した。

	受講者数(計画)	受講者数(実績)	受講率
Agadez	364	364	100.00%
Diffa	425	425	100.00%
Dosso	1802	1795	99.61%
Maradi	1868	1868	100.00%
Niamey	493	453	91.89%
Tillaberi	1860	1870	100.54%
Total	6,812	6,579	99.46%

- フェーズ II から新規に対象となった 6 州で、13,267 名の COGES 委員（計画の 98.54%）が学校活動計画策定に関する研修を受講した。州別内訳は下表のとおり。なお、研修実施経費は世銀が支援した。

	受講者数(計画)	受講者数(実績)	受講率
Agadez	728	622	85.44%
Diffa	850	769	90.47%
Dosso	3608	3604	99.89%
Maradi	3736	3748	100.32%
Niamey	984	916	93.09%
Tillaberi	3558	3608	101.41%
計	13464	13267	98.54%

(2) 成果2：COGESのモニタリング体制が構築される。

ア. COGES モニタリングマニュアル・ガイドラインの作成・改訂

- ・ COGES 連合の設立、COGES 担当官によるモニタリングに関するマニュアル、ガイドラインが計画通り作成、改訂された。

イ. COGES 連合モデルの公式化

- ・ 2008 年 7 月、国民教育省主催のワークショップにて COGES 連合モデルが公式に承認され、2008 年 10 月に省令が發布された。

ウ. COGES 連合の設立と機能化

(ア) タウア・ザンデル

- ・ フェーズ I 実施中に 99 の COGES 連合が設立された。
- ・ 見返り資金運用開始の遅れによって COGES 担当官によるモニタリングが中断された期間、COGES 連合の機能低下が確認された。モニタリング再開後、一部機能は回復したが、下表のとおり、2008-09 年度の機能度は 07-08 年度に比べて、透明性と COGES モニタリング機能に影響する総会・事務局会合の実施回数に低下が見られる。

		事務局会合実施回数 (平均)	総会実施回数 (平均)	学校活動計画回収率	前年度学校活動計画実施総括回収率
Tahoua	07-08	7.0	2.8	88.1%	N/A
	08-09	3.4	1.7	85.6%	43.7%
Zinder	07-08	7.3	3.8	90.6%	N/A
	08-09	3.1	1.4	92.9%	N/A

		第2活動計画策定率	第2活動計画策定数 (平均)	第2活動計画実施数 (平均)	資源動員量 (平均)
Tahoua	07/08	100%	2.8	2.5	500,202 Fcfa
	08/09	97.7%	N/A	N/A	129,885 Fcfa
Zinder	07/08	100%	2.3	2.3	201,712 Fcfa
	08/09	98.2%	N/A	N/A	87,630 Fcfa

(イ) 新規対象 6 州

- ・ 2008 年 10 月から 09 年 1 月にかけて、アガデスを除く 5 州の 149 コミューンで COGES 連合設置研修が実施され、6,423COGES (計画の 99.4%) が受講した。現在までに 5 州で 67COGES 連合が設立された。なお、アガデスに関しては治安状況悪化のため、COGES 連合設置研修の実施が見合わされている。

エ. 地方行政官によるモニタリング

(ア) タウア・ザンデール

- ・ COGES 担当官が定期的に COGES 連合を巡回し、モニタリングを実施している。COGES 担当官月例会議も定期的に実施されており、COGES 監督官が COGES 担当官を監督・支援している。ただし、見返り資金運用開始の遅れによって、COGES 担当官によるモニタリングは一時中断された。

(イ) 新規対象 6 州

- ・ COGES 担当官が定期的に COGES を巡回し、モニタリングを実施してきた。ただし、移動手段となるバイクの供与の遅れのために、モニタリング活動に支障が出ている。
- ・ COGES 連合設置研修実施後、COGES 担当官月例会議が実施されるようになっていく。

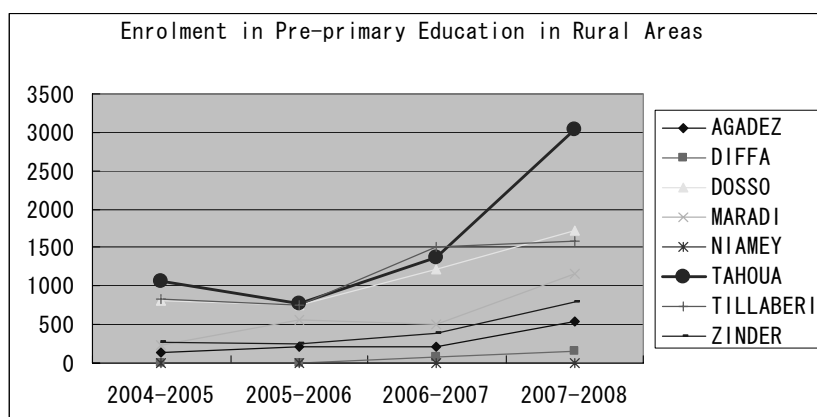
(3) 成果 3: パイロット地域 (タウア州及びザンデール州) において COGES を通じた教育改善活動のモデルが構築される。

ア. 機能する COGES が運営主体となるコミュニティ幼稚園

- ・ 2006 年にタウアの 3COGES に導入され、コミュニティの高いニーズが確認されたコミュニティ幼稚園は、UNICEF との連携のもと、下表のとおり、急速に拡大している。

		コミュニティ幼稚園数	園児数	園児のうち女児の比率
2007/08	Tahoua	27	2,131	50.4%
	Zinder	23	1,299	50.7%
	Total	50	3,430	50.5%
2008/09 (as of Feb 2009)	Tahoua	55	N/A	N/A
	Zinder	55	N/A	N/A
	Total	110	N/A	N/A

- ・ 2008 年 8 月には機能する COGES が運営主体となるコミュニティ幼稚園モデルが公式モデルとして承認された。
- ・ 2007-08 年度の農村部就学前教育就学率において、コミュニティ幼稚園が最初に導入されたタウアが全国 1 位となり、インパクトが確認された。



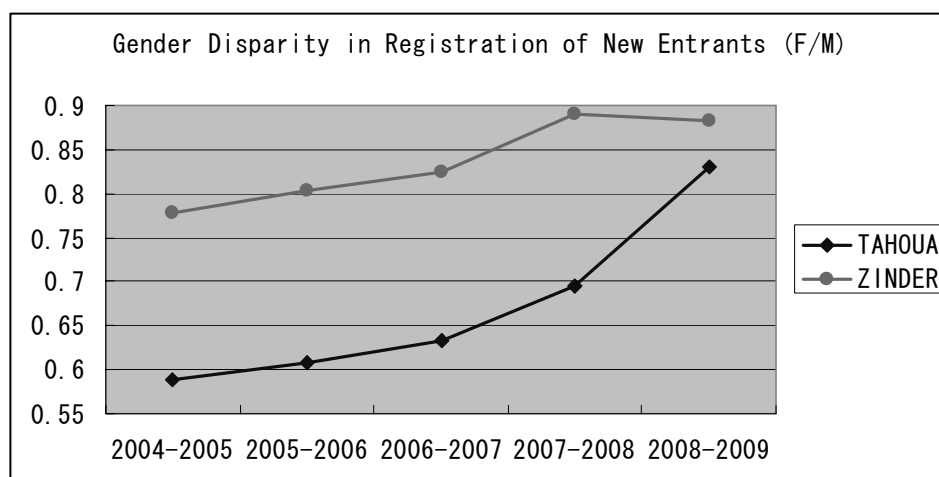
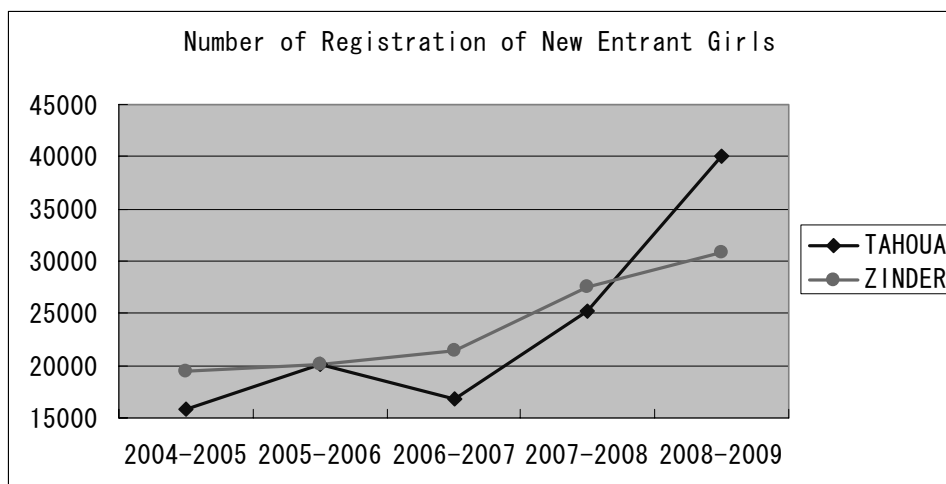
- ・ 23 のコミュニティ幼稚園が設置されたイレラ県では、初等教育入学者の男女比（女児数／男児数）が 0.77（2007-08 年度）から 0.95（2008-09 年度）に改善された。
- ・ コミュニティ幼稚園モデルに関する簡易 5 項目評価の結果、妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性のいずれも高いことが確認された。ただし、自立発展性に影響を与えるモニタリングについては効果的・効率的なシステムの構築には至っていない。

イ. フォーラム・アプローチ

タウア、ザンデルにおいて、フォーラム・アプローチに基づいたキャンペーンが実施され、以下のとおり目覚ましい成果をあげた。

(ア) 女子就学促進キャンペーン

- ・ ザンデルでは 2007 年 5 月から、タウアでは 2008 年 4 月から女子就学促進キャンペーンが実施され、下図のとおり女子入学登録者数が大幅に増加した。また、入学登録者における男女比率（女子数／男子数）についても、ザンデルは大きく改善された 2007-08 年度以降高い水準を維持しており、タウアも 2008-09 年度に目覚ましい改善が見られた。



(イ) 教育の質向上キャンペーン

- ・ 2008 年 1 月から教育の質向上キャンペーンが実施されたザンデールは、2007-08 年度の初等修了試験合格率が前年度から 13.2 ポイント改善され、全国 1 位となった。

	(a) 2006-2007				(b) 2007-2008 (*PROVISIONAL)				(b) - (a)	
	Present	Pass	%	Rank	Present	Pass	%	Rank	Pont	Rank
Agadez	4,676	2,608	55.8%	1	5,088	2,916	57.3%	2	+1.5	6
Diffa	2,768	1,404	50.7%	3	3,156	1,725	54.7%	4	+4.0	5
Dosso	23,720	11,791	49.7%	4	25,567	12,552	49.1%	7	-0.6	7
Maradi	29,279	11,895	40.6%	7	35,134	13,847	39.4%	8	-1.2	8
Niamey	16,673	8,088	48.5%	5	18,107	10,351	57.2%	3	+8.7	4
Tahoua	23,720	6,495	27.4%	8	26,054	12,946	49.7%	6	+21.3	1
Tillabéri	22,790	10,010	43.9%	6	22,242	11,948	53.7%	5	+9.8	3
Zinder	19,471	10,608	54.5%	2	24,471	16,569	67.7%	1	+13.2	2
TOTAL	143,097	62,899	44.0%		159,819	82,854	51.8%			

ウ. 視学官会議

- ・ ザンデール・タウアで開始された視学官会議を、国民教育省が 2009 年 1 月に全国において制度化した。

5. 目標達成状況

(1) プロジェクト目標：全国の小学校に機能する COGES を設置し、維持するための COGES 政策実施体制が強化される。

ア. 全国における民主的な COGES の設置

- ・ 新規対象 6 州において 6,577 校（計画の 97.08%）が民主的に COGES を設置し、COGES 設置に関する議事録を県視学官事務所に提出した。

イ. 学校活動計画策定率

- ・ COGES の機能度を測る指標となる学校活動計画策定について、2007-08 年度は全国で 6,632 校（計画の 66.41%）が県視学官事務所に学校活動計画を提出した。

	学校数	学校活動計画策定数	策定率	情報更新時期
Agadez	311	264	84.89%	March 2008
Diffa	425	330	77.65%	March 2008
Dosso	1,802	1,147	63.65%	March 2008
Maradi	1,902	1,093	57.47%	March 2008
Niamey	453	159	35.10%	March 2008
Tahoua	1,435	1,264	88.08%	February 2008
Tillabéri	1,834	723	60.58%	March 2008

Zinder	1,824	1,652	90.57%	February 2008
Total	9,986	6,632	66.41%	

ウ. その他 COGES の機能度に関する指標

- ・ ドッソにおいて実施したインタビュー調査の結果（サンプル数：8）による 2007-08 年度の COGES の機能度に関する指標は下表のとおり。フェーズ I 終了時のタウアにおける COGES 機能度と比較すると改善の余地が見られる。

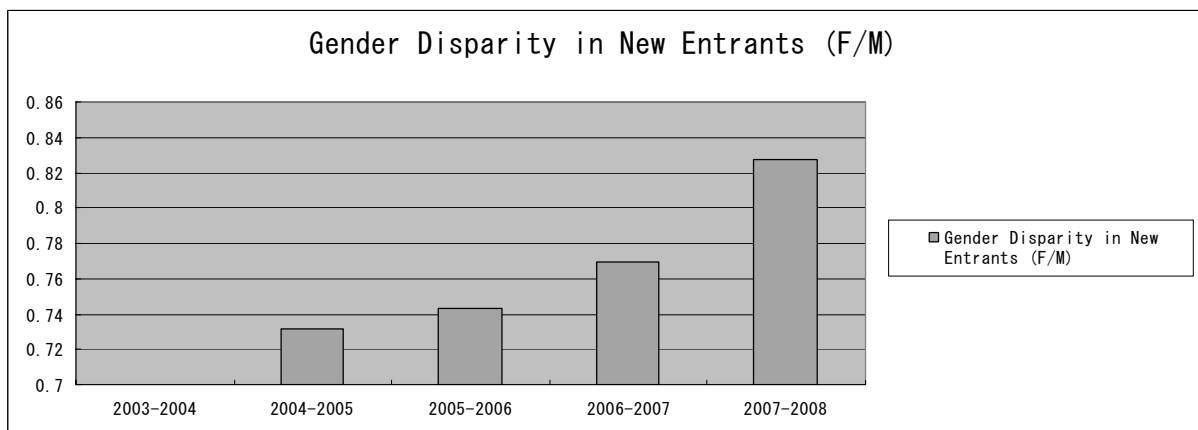
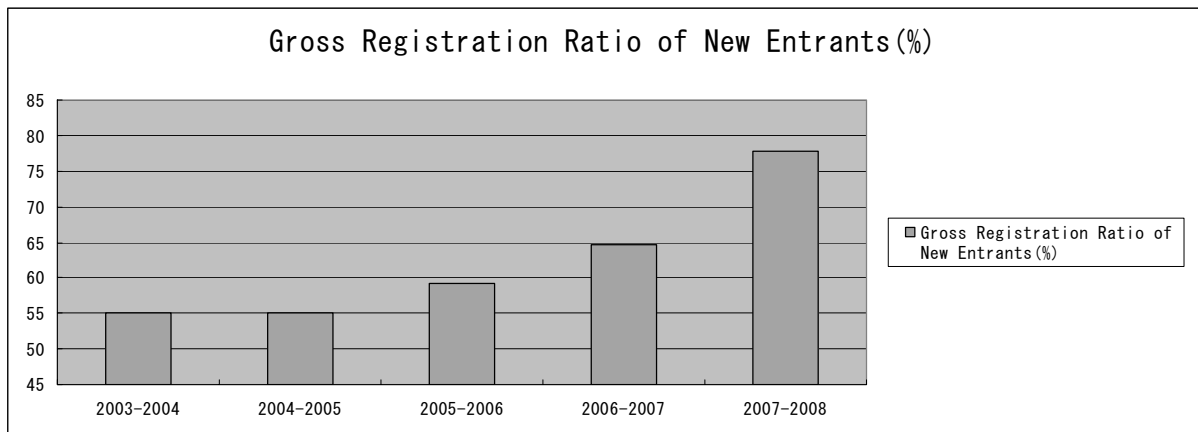
	計画された活動数	実施された活動数	事務局会合実施数	総会実施数	資源動員量
Result of the survey in Dosso	4.88	3.13	2.88	2.13	60,881Fcfa
<FOR REFERENCE> Tahoua in 2005-06 ¹	6.67	5.93	N/A	N/A	208,586Fcfa

(2) 上位目標：COGES による学校運営を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する。

- ・ フェーズ I が開始された 2004 年以降、国民教育省とドナーの協力の結果、ニジェールにおける基礎教育の質とアクセスに関する指標には、下表のとおり改善が見られる。
- ・ 国民教育省と JICA は、プロジェクトを通じた COGES の設置と機能化が教育指標の改善に大きく貢献しているという認識を共有した。



¹ フェーズ I 終了時評価調査報告書による。サンプル数は 1170。



6. 実施プロセス

(1) 促進要因

ア. COGES 担当官月例会議

- ・ COGES 担当官月例会議は COGES モニタリングのシステムとして機能しているだけでなく、COGES 担当官の能力強化にも貢献している。

イ. コミュニーションとの連携

- ・ コミューン長の COGES 連合設置研修への参加、コミュニティによる COGES 連合に対する経済的・物質的支援等、COGES 連合とコミュニティの連携は、COGES 連合の機能強化に貢献し、コミュニティレベルにおける教育開発を促進している。
- ウ. COGES 連合委員、COGES 委員の民主選挙による選出
- ・ 民主選挙による選出は、COGES 連合、COGES の透明性を確保するだけでなく、COGES 連合委員、COGES 委員が無報酬にもかかわらず喜んでその任務を果たすモチベーションとなっている。
- エ. COGES 担当官による技術支援
- ・ COGES 担当官が COGES 連合、COGES の問題解決に貢献した事例が複数報告され、COGES 担当官が COGES 連合、COGES の機能化に大きな役割を果たしていることが確認された。

(2) 阻害要因

ア. 見返り資金の運用開始の遅れ

- ・ 2008 年 2 月頃に見込まれていた見返り資金の運用開始が、2009 年 1 月まで遅れたことにより、COGES モニタリングシステムの構築に遅れが生じている。

イ. COGES 担当官用バイク供与の遅れ

- ・ 世銀の支援によって 2007 年 2 月頃に予定されていた COGES 担当官用のバイク供与が未だ実現していないことで、COGES 担当官によるモニタリングの実施が困難になっている。

ウ. アガデスにおける治安の悪化

- ・ 治安悪化によりアガデスにおけるプロジェクト活動実施が不可能になっている。

7. 5 項目評価

項目	結果	評価内容
妥当性	Very High	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地のニーズに基づいた学校運営改善はコミュニティと児童のニーズに合致するものである。 ・ 教育の地方分権化の一環として住民参画型の学校運営を促進することは教育開発計画 (PDDE) に明記されており、ニジェールの国家政策に合致するものである。 ・ 日本は、TICADIVにおいて学校運営改善モデルを西アフリカにおいて 10,000 校に拡大することを表明しており、日本の援助政策に合致している。 ・ 住民参画による教育開発は、政府のリソースが限られているニジェールにおいて適切なアプローチである。本プロジェクトの学校運営モデルの有効性はフェーズ I において確認されている。

有効性	High	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国のほぼすべての学校において COGES が民主的に設置された。COGES の機能度を表す指標となる学校活動計画提出率は 66%に留まっているが、モニタリング体制の強化による改善が期待され、プロジェクト目標である COGES の「全国普及」と「機能化」に着実な進捗が見られる。 ・ プロジェクト目標の指標に目標数値が設定されていないため、目標達成状況を具体的に評価することが困難となっている。 ・ モニタリング体制の構築に遅れが見られるものの、成果は概ね順調に発現しており、プロジェクト目標の達成に貢献することが期待される。
効率性	Medium	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動及び投入は概ね計画通り実施されたものの、見返り資金運用開始と COGES 担当官用バイク供与の遅延がモニタリング体制の構築に遅れをもたらした。 ・ COGES の全国普及に関する研修は世銀の財政的支援によって実施された。 ・ コミュニティ幼稚園の普及は UNICEF との連携に基づいて実施された。 ・ コミュニオンと COGES 連合の連携が COGES 連合設置に関する省令に規定されたことで、COGES 連合の活動にコミューンの積極的な支援が得られる事例が複数報告された。
インパクト	High	<ul style="list-style-type: none"> ・ フェーズ I 開始以降、ニジェールの教育指標には改善が見られる。国民教育省と JICA はプロジェクトを通じた COGES の全国普及と機能化がその大きな貢献要因になっているという認識を共有した。 ・ COGES が就学前教育、中等教育、保健分野等、初等教育以外の分野の開発に取り組んでいる事例が報告された。 ・ ニジェールにおいて有効性が実証された学校運営委員会モデルをもとに、セネガル、マリにおいても同様の学校運営改善プロジェクトが実施されている。ブルキナファソにおいてもプロジェクト実施に向けたパイロット事業を実施中である。これらの国に対して、プロジェクトがその経験を共有したり、プロジェクトスタッフが技術支援を行ったりする事例も出てきている。
自立発展性	Medium	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民参画型の学校運営を促進することは PDDE に明記されている。COGES、COGES 連合のモデルは国家レベルで公式化されており、政策的な自立発展性は高いと判断される。 ・ 中央レベルに COGES 推進室、州レベルに COGES 監督官、県レベルに COGES 担当官が配置されており、COGES 政策を持続的に推進する組織体制は整備されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ COGES 監督官、COGES 担当官は COGES の全国普及に関する研修を成功させ、研修実施能力を実証した。COGES 連合、COGES に対するモニタリング能力、技術支援能力については、COGES 担当官月例会議等を通じて強化が図られている。 ・ 特にタウア、ザンデルにおいて COGES 連合、COGES がある程度機能していることが確認された。ただし、COGES 担当官によるモニタリングが中断された期間には機能度の低下が見られ、適切なモニタリングの必要性が確認された。 ・ モニタリング経費は現在見返り資金から支出されているが、同資金の運用終了後の予算手当てについて今後検討していく必要がある。
--	---

8. 結論

COGES の全国普及と機能化を通じた教育改善は、ニジェールの国家政策及び裨益者となるコミュニティ、児童のニーズに合致しており、妥当性は非常に高い。活動と投入も概ね問題なく実施されており、COGES の全国普及はほぼ達成され、コミュニティ幼稚園やフォーラム・アプローチ、視学官会議といった教育改善につながるモデルの構築も進んでいる。ただし、見返り資金の運用開始及び COGES 担当官用バイク供与の遅延により、COGES モニタリング体制の構築に遅れが生じている。今後のプロジェクト活動の成功のためには、特にこれらの部分について国民教育省のさらなるコミットメントが必要である。

COGES の機能化のためには、COGES 担当官の役割が非常に重要であることが確認された。このプロジェクト目標達成に向けて、今後は COGES 担当官の能力強化を優先課題として取り組んでいくことが求められる。

9. 提言

プロジェクト活動のさらなる改善のために、今後とられるべき措置を提言として以下のとおり取りまとめた。

(1) COGES のさらなる機能強化（国民教育省とプロジェクトに対する提言）

COGES の機能強化の鍵となるのが COGES 担当官の能力強化である。COGES 担当官月例会議が COGES 担当官の能力強化に大きく貢献していることから、国民教育省が同会議の定期的な開催に必要な予算を支出すること、プロジェクトが同会議開催を技術的に支援することを提言する。

(2) COGES 担当官の選定基準の明確化（国民教育省に対する提言）

COGES の機能強化において COGES 担当官の果たす役割は非常に重要である。能力の高い COGES 担当官を確保するため、選定基準を明確に設定することを提言する。

(3) COGES 担当官用バイクの早期供与 (国民教育省に対する提言)

COGES の機能化に不可欠な COGES 担当官による十分なモニタリングを可能にするため、バイクが早期に供与されるよう必要な手続きの促進を提言する。

(4) 見返り資金の適切な運用 (国民教育省に対する提言)

モニタリングの適切な実施のためには、見返り資金の定期的な支出が不可欠である。適切な支出を保障するため、資金運用計画を策定し、関係省庁の承認を得ることを提言する。

(5) コミュニティ幼稚園のモニタリングに関するモデルの構築 (国民教育省とプロジェクトに対する提言)

プロジェクト活動を通じて、教育開発におけるコミュニティ幼稚園の有効性が実証されつつあるが、そのモニタリングシステムは十分とは言えない。幼稚園の運営面、教授面に関する効果的なモニタリングを可能にするため、国民教育省に就学前教育指導主事の増員を提言する。また、イレラ県におけるモニタリングシステム構築に関するパイロット事業の実施を、プロジェクトが技術的に支援することを提言する。

(6) フォーラム・アプローチの他州への拡大 (国民教育省とプロジェクトに対する提言)

タウア・ザンデルにおいて目覚ましい成果をあげたフォーラム・アプローチに基づくキャンペーンを、他州でも実施することでニジェル全体の教育開発が促進されることが期待される。国民教育省による州フォーラムの開催、キャンペーンの計画・実施をプロジェクトが技術的に支援することを提言する。

(7) 県視学官との関係強化 (国民教育省とプロジェクトに対する提言)

県レベルの教育開発の責任者である県視学官の能力強化は、プロジェクト活動の促進に大いに貢献する可能性を持つ。国民教育省とプロジェクトに、県視学官による COGES 政策の実施に関する経験共有を促進することを提言する。

(8) プロジェクトの効率的な運営 (プロジェクトに対する提言)

全国展開によって増大している活動に効率的に対応するため、プロジェクトチーム内の情報共有、業務分担、活動の優先順位付けを適切に行う取り組みを継続することを提言する。

(9) COGES に対する補助金制度導入への慎重な対応 (国民教育省に対する提言)

一部ドナーが COGES に対する補助金交付制度の拡大を提案しているが、COGES に補助金を有効活用する能力が備わっていなければ COGES の機能低下をもたらす危険性もある。国民

教育省が COGES の能力強化に取り組みつつ、補助金交付制度の本格実施には慎重に対応することを提言する。

(10) PDM の改訂

PDM の一部に現在の活動の優先順位を反映していない部分が生じている。またプロジェクト目標の指標を含め、具体的な数値目標が設定されていない指標がある。プロジェクトの進捗と目標達成状況を適切に評価できるよう、PDM に必要な改訂を加えることを提言する。

11. 団長所感

(1) プロジェクトの活動の優先事項とその戦略

現在のプロジェクトは、その多様な活動内容と対象地域の広域化で、活動キャパシティの臨界点に達し、活動の優先順位による選択と集中を行わなければならない時点に至っている。ニジェールの COGES 政策の成功の基礎は、機能する COGES を通した住民動員によるものであり、当然、COGES モニタリング支援部分に関し、プロジェクト支援の重点は、機能していない COGES の機能化と、すでに機能している COGES に対する機能維持支援に当てられなければならない。第一フェーズから COGES 機能化技術支援の戦略は、COGES 担当官の能力強化→COGES 連合のモニタリング・支援能力強化→COGES 能力強化（機能化）という構図であり、プロジェクトは、COGES 担当官を対象とし、COGES 及び COGES 連合に対するモニタリング能力開発を行い、同時に機能していない COGES 及び COGES 連合のための直接モニタリングも行ってきた。今後活動は、COGES 連合モニタリング（集会型モニタリング）の質向上を目的とした COGES 担当官指導能力強化を中心とし、機能しない COGES への直接モニタリングは、後述するような補完的な方法を導入すべきであろう。集会型のモニタリングの質の向上には、アセスメント能力の強化と問題解決能力強化が必要である。問題解決能力改善については、タウア、ザンデルにおける集会モニタリングによる COGES の機能化成功例の経験から成功例を分類、分析し、対応例の集積を行ったうえで、マニュアル等を作成し、利用することが有効であろう。

(2) 視学官、あるいは教育主事の COGES モニタリング能力強化

プロジェクト側から、COGES モニタリングの強化の一貫として、視学官の能力強化を行うべきとの提案があったが、これは非常に的を射た提案である。タウア、ザンデルの月例会議開催による視学官の COGES の機能化や教育開発に果たせる役割は計り知れない。この点に注目した国民教育省は、視学官会議を制度化した。実際にこの会議が行われていることは今回の現地調査で確認された。しかし、タウア、ザンデルでなされたような視学官がどのように学校を、特に COGES を効率的にモニタリングするかの点についての技術支援は他州ではなされておらず、視学官会議が制度化されても、視学官によるモニタリングと、プロジェクトが構築しつつあるモニタリングシステムとの補完、補強関係は成立

しない。現在、構築されつつあるモニタリングシステムの弱点は、COGES 担当官のモニタリングがほぼ、COGES 連合に限定されており、機能していない COGES に対する直接のモニタリング、支援があまりできないという点である。視学官のモニタリングは、教員に対する教科指導が主な役割であるが、学校訪問において同時に COGES へのアドバイス等ができるようになれば、プロジェクトが試行しているモニタリングシステムの弱点を補強でき、その効率性は飛躍的に向上する。プロジェクトとしては、視学官会議技術支援を通し、将来的にはこの二つのモニタリングを有機的に結びつける方向性を模索してほしい。有機的に結び付けるポイントとしては、まず、COGES の機能度に問題がある学校についての情報を、視学官が保持すること、COGES 連合から集まった COGES 担当官の情報が視学官に伝わる必要があるであろう。

(3) コミュニティ幼稚園支援

コミュニティ幼稚園は COGES による教育活動に分類されたプロジェクトの一部の活動であるが、今回の調査の中で、DAC5 項目に基づいてコミュニティ幼稚園の評価を行った結果、高い評価がなされた。国民教育省就学前局長、およびコミュニティ幼稚園での連携を行っている UNICEF からは、継続的な支援及び連携の要望がなされている。その成果の大きさ、持続性から鑑み、継続的な技術支援を行っていくことが望まれる。現在のプロジェクト体制からみれば、その支援が負担となれば、さらなる投入を考慮する必要もある。現在のモデルの課題としては、モニタリング体制にあり、新しいモニタリング体制構築のための試行を早い時期に開始することが望まれる。

(4) フォーラム・アプローチ

今回の調査では、タウア、ザンデルのフォーラム・アプローチによる女子の就学向上や成績向上キャンペーンの成果が知れ渡り、現地調査や合同調整委員会の機会に、フォーラム開催に向けた支援の要望が多くなされた。一方、プロジェクトでもタウア、ザンデル以外の州においても一定の支援を行っていく方向性にある。プロジェクトが支援を行っていく場合、フォーラム・アプローチ自体への技術移転だけではなく、アプローチを使ったキャンペーンのテーマの選択等についてのアドバイスを行うことが望まれる。フォーラム・アプローチを使ったキャンペーンの構図は、フォーラム開催を行い、その情報が正確に末端の各 COGES に伝われば、テーマに沿った活動が行われるというものであるが、その成功にはいくつかのポイントがある。それは、

- ア. 住民の教育に関する共通のニーズ
- イ. 国の教育開発政策
- ウ. 国際的な教育開発潮流

に沿っているかどうか重要であるが、成果が関係者に共有されるだけの指標があるかどうか重要である。タウア、ザンデルの今回のキャンペーンのテーマは生徒の残存とい

うことになりそうであるが、課題は、このテーマは短期的に成果を上げにくく、成果を共有する指標が国家的に共有されていないことである。

(5) 活動方法の合理化とプロジェクト組織の機能化

限られた人数で、多くの活動を行う場合には、活動の選択と集中という点はすでに述べたが、活動をある程度限定しても、活動方法の合理化を進めなければ、プロジェクトへの負担が超過し、活動の効率性は低下する。COGES 担当官会議へのモニタリングにしても、移動距離、移動時間、移動費用、人的負担などを考慮し、電話会議の再利用なども検討する必要がある。

また、プロジェクトの効率性を高めるために、プロジェクト組織自体のさらなる機能化も行う必要がある。その場合、機能化の視点から、もう一度プロジェクトの COGES 活性化アプローチを検証してみる必要がある。このアプローチのもっとも重要な点は、組織の透明性であり、様々なレベルでの透明性を確保するというのが、このアプローチの鍵となっている。民主選挙はその透明性の基盤であり、リーダーシップを生む源泉でもある。学校活動計画の策定プロセスは、住民集会における問題分析と解決策の討議と活動計画の承認を通して、その戦略、活動の共有が行われる。活動の評価は住民全体による情報共有を徹底する。これらのプロセスで獲得された透明性が COGES の機能性を支え、住民のモチベーションを高め、大きな住民動員を生んでいる。このような視点は、ほとんどの組織の機能度を考える場合当てはまり、プロジェクトの場合も例外ではない。再度、プロジェクトの組織としての機能度を以上の観点から検証することを推奨する。

(6) プロジェクト運営と本部からのプロジェクト支援

今回の現地調査では、3 校程度しか訪問できなかったが、COGES の情報共有の度合い、運営の透明性、委員のやる気やリーダーシップの高さを再認識させられた。なぜ COGES 委員がそして住民が、COGES の運営や教育改善活動のために無償で労働や金銭による貢献を行っているのかという問いに対し、COGES 委員や住民、教員は、一様に、「学校をよくするため」、「子どもたちにいい教育を受けさせたいから」、「子どもたちの未来のため」、「国の発展のため」という答えが返ってきた。彼らの答えは、現実の行動やその結果に裏付けされたものであり、決して、視察者に対する外交的な答えとは言えない。また、これらの言葉は、ニジェール国住民の質の高い教育に対するニーズの高さを象徴するものである。これらのニーズを実際の住民動員という形で、教育改善活動に変え、教育開発を進展させたプロジェクトのアプローチの適切さは、あらゆる角度から証明されつつある。しかし、その規模の大きさのために現在、プロジェクトは、様々な課題や問題点に直面しており、これらの問題に対処するためには、プロジェクト運営においては、より効率的で現実的な戦略を柔軟に実施していくことが必要である一方、本部も、プロジェクトの事情を考慮し、柔軟かつ迅速で、長期的な視点からのプロジェクト支援が必要であることも付け加えたい。

謝辞

最後に、劣悪な環境の中で、多大な業務をこなし、確実に成果を出している専門家及び現地スタッフの方々、見返り資金等の煩雑な手続き等の進展に象徴されるように、プロジェクトの進展を支えていただいている JICA ニジェール事務所の西本所長、金田職員、そして、機能しない組織の中でも、プロジェクトの進展を強力に支えている国民教育省の方々の多大な努力に敬意を表します。今回の調査においても、多忙ななか多大なる便宜をいただきました。今回の調査がプロジェクトの進展に役立つことがあれば、調査団としては、大きな喜びです。

ありがとうございました。

以上